



● 文書や写真の印刷

そのほかの使いかた

用紙のセット

お手入れ

困ったときには など



操作ガイド

PIXUS iX7000

使用説明書

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。将来いつでも使用できるように大切に保管してください。



かんたんスタートガイド



操作ガイド (本書)



活用ガイド (電子マニュアル)

付属のマニュアルについて

デスクトップの
アイコンを
ダブルクリック



かんたんスタートガイド

設置から使えるようになるまでの準備を説明しています。はじめにお読みください。



操作ガイド (本書)

本製品の基本的な機能・操作を説明しています。

WindowsやMacintoshのアプリケーションソフトから印刷する際の基本操作のほかに、インクタンクの交換方法、トラブルへの対処などを知りたいときにもお読みください。



活用ガイド (電子マニュアル)

一歩進んだ使いかたを説明した、パソコンの画面で見るマニュアルです。

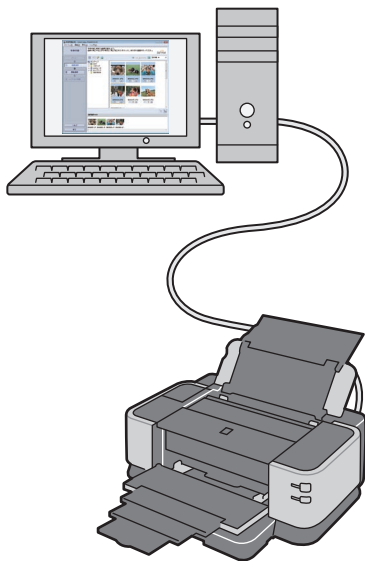
本製品をさらに使いこなすためにお読みください。

⇒「『活用ガイド』(電子マニュアル)について」(P.24)

このほかに、「設置の前に必ずお読みください」、「ネットワーク設置で困ったときには」などが付属しています。

本製品でできること

付属のソフトウェア Easy-PhotoPrint EX をご使用になれば...



写真印刷 ⇒ P.18



アルバム



名刺



カレンダー



レイアウト印刷

「活用ガイド」
(電子マニュアル) ←

目次

本製品について 3	インクの品質を保持する 65
各部の名称と役割 4	給紙ローラーをクリーニングする 66
前面 4	搬送ローラーをクリーニングする (定期ローラークリーニング) 68
背面 6	定期ローラークリーニングの操作 68
内部 7	クリーニングシートの収納と取り出し 72
文書や写真の印刷 9	メンテナンス画面を表示する 74
文書を印刷する (Windows) 10	プリンタードライバーの設定画面を表示する (Windows) 74
文書を印刷する (Macintosh) 13	Canon IJ Printer Utility画面を表示する (Macintosh) 74
Mac OS X v.10.5.xの場合 13	
Mac OS X v.10.4.xまたは Mac OS X v.10.3.9の場合 15	
写真を印刷する (Easy-PhotoPrint EXを使う) 18	困ったときには 77
Easy-PhotoPrint EXの機能を使う 21	エラーが発生したときは 78
そのほかの使いかた 23	電源が入らない 78
『活用ガイド』(電子マニュアル)について 24	プリンターのエラーランプが オレンジ色に点滅している 79
便利なソフトウェアについて 25	プリンターの電源ランプとエラーランプが 交互に点滅している 86
Solution Menuについて 25	プリンタードライバーがインストールできない 86
マイ プリンタについて 25	印刷速度が遅い / Hi-Speed USBとして動作 しない /  「さらに高速で実行できるデ バイス」などの警告文が画面に表示される 88
Easy-WebPrint EXについて 26	本製品が振動している / 本製品を使用していないのに動作音がする 88
用紙セットのしかた 27	印刷結果に満足できない 89
用紙をセットする 28	印刷が始まらない 96
用紙のセット位置について 28	印刷が中止されて印刷途中の用紙や 白紙が排出される 99
カセットに用紙をセットする 30	動作はするがインクが出ない 99
後トレイに用紙をセットする 33	プリントヘッドホルダーが 交換位置に移動しない 99
前トレイの手差し給紙口に用紙をセットする 37	用紙がうまく送られない 100
使用できる用紙について 38	 プリンタードライバーで選んだ 給紙箇所から用紙がうまく送られない 101
使用できない用紙について 41	用紙が詰まった 102
用紙の取り扱いについて 41	パソコンの画面にメッセージが表示されている 110
お手入れ 43	付録 115
インクタンクを交換する 44	仕様 116
カラー / ブラックインクタンクを交換する 44	原稿を印刷するときの注意事項 118
クリアインクタンクを交換する 48	お問い合わせの前に 119
インクの状態を確認する 51	使用済みインクカートリッジ回収のお願い 120
インクランプでインクの状態を確認する 51	ヒント集 121
パソコンの画面でインクの状態を確認する 52	
印刷にかすれやむらがあるときには 54	
ノズルチェックパターンを印刷する 55	
ノズルチェックパターンを確認する 57	
プリントヘッドをクリーニングする 58	
プリントヘッドを強力クリーニングする 60	
プリントヘッド位置を調整する 63	



Exif Printについて

本製品は、「Exif Print」に対応しています。

Exif Printは、デジタルカメラとプリンターの連携を強化した規格です。

Exif Print対応デジタルカメラと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいなプリント出力結果を得ることができます。

記載について

本書で使用しているマークについて説明します。本書では製品を安全にお使いいただくために、大切な記載事項には下記のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

警告 取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負うおそれのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意 取扱いを誤った場合に、傷害を負うおそれや物的損害が発生するおそれのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

重要 守っていただきたい重要事項が書かれています。製品の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、必ずお読みください。

参考 操作の参考になることや補足説明が書かれています。

Windows Windows独自の操作について記載しています。

Macintosh Macintosh独自の操作について記載しています。

本書ではWindows Vista operating system Ultimate Edition (以降、Windows Vista) またはMac OS X v.10.5.xをご使用の場合に表示される画面で説明しています。

ご使用のアプリケーションソフトによっては、操作が異なる場合があります。詳しい操作方法については、ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

商標について

- Microsoftは、Microsoft Corporationの登録商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- MacintoshおよびMacは米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- Photo Ragは、Hahnemühle FineArt GmbHの商標です。
- DCFは、(社)電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
- DCFロゴマークは、(社)電子情報技術産業協会の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。

お客様へのお願い

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期していますが、万一誤りや記載漏れなどにお気づきの点がございましたら、キヤノンお客様相談センターまでご連絡ください。
連絡先は、別紙の「サポートガイド」に記載しています。
- 本書はリサイクルに配慮して製本されています。本書が不要になったときは、回収・リサイクルに出してください。
- 本製品を運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

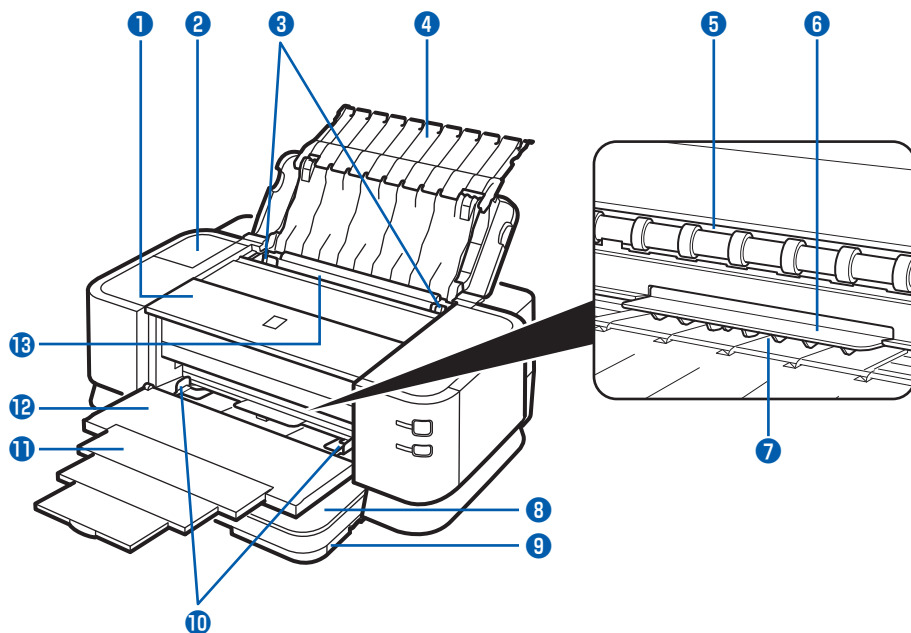
本製品について

ここでは、製品の各部名称とその機能について説明しています。

各部の名称と役割	P.4
前面	P.4
背面	P.6
内部	P.7

各部の名称と役割

前面



1 トップカバー

インクタンクを交換するときや紙づまりのときに開きます。

2 クリアインクタンクカバー

クリアインクタンクを交換するときを開きます。

3 用紙ガイド

後トレイから給紙するときに、動かして用紙の両端に合わせます。

4 用紙サポート

後トレイに用紙をセットするときに開きます。

5 排紙口

印刷された用紙が排出されます。

6 用紙おさえ

手差し給紙口にセットした普通紙が、正しく給紙されるように用紙を押さえます。また、排出された用紙が手差し給紙口の用紙と混ざらないようにします。

7 手差し給紙口

[給紙方法] で [手差し] を指定して、普通紙を給紙口の奥に突き当ててセットします。一度に同じサイズの普通紙を複数枚セットでき、自動的に1枚ずつ給紙されます。

8 カセット

普通紙をセットして、本体に差し込みます。一度に同じサイズの普通紙を複数枚セットでき、自動的に1枚ずつ給紙されます。
⇒P.30、P.38

9 クリーニングシートホルダー

定期ローラークリーニングを行うためのクリーニングシート（付属品）を収納できます。
⇒P.72

10 手差し用紙ガイド

前トレイの手差し給紙口から給紙するときに、動かして用紙の両端に合わせます。手差し給紙口を使用しないときは、前トレイの幅いっぱいを広げておいてください。

11 補助トレイ

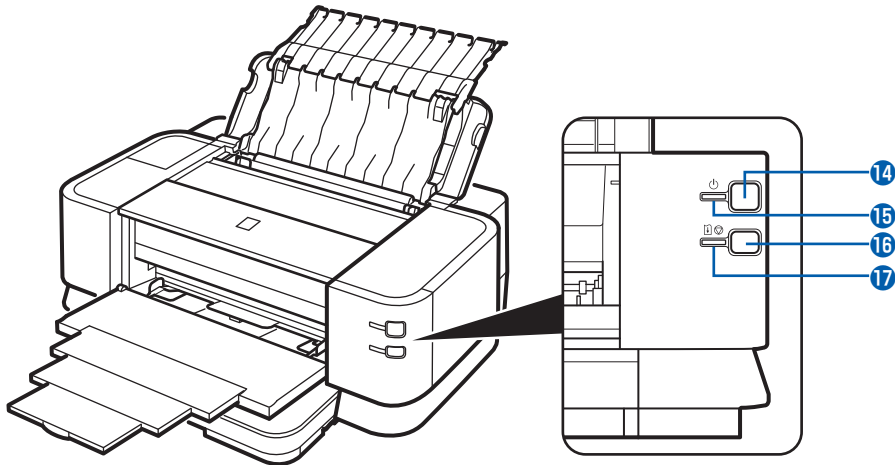
用紙を支えるため、手前に引き出します。印刷するときや手差し給紙口に用紙をセットするときに引き出してください。

12 前トレイ

印刷された用紙が排紙口から排出されます。印刷する前や手差し給紙口に用紙をセットする前に開いてください。
⇒P.37、P.38

13 後（うしろ）トレイ

本製品で使用できる普通紙以外の用紙をセットできます。一度に同じサイズ、種類の用紙を複数枚セットでき、自動的に1枚ずつ給紙されます。
⇒P.33、P.38

**14 電源ボタン**

電源を入れる／切るときに押します。

重要**電源プラグを抜くときは**

- 電源を切ったあと、必ず電源ランプが消灯していることを確認してから電源プラグを抜いてください。電源ランプが点灯／点滅しているときに電源プラグを抜くと、プリントヘッドが保護されないため、その後正しく印刷できなくなることがあります。

参考

- 電源を入れたときに、インクの品質を保持するために、インクをかき混ぜる動作が開始される場合があります（約10秒～2分）。詳しくは「いつもきれいな印刷を楽しむためには？」（P.127）を参照してください。

15 電源ランプ

電源を入れると、緑色に点滅後、点灯します。

16 リセットボタン

印刷を中止するときなどに押します。本製品のトラブルを解除してからこのボタンを押すと、エラーが解除されて印刷できるようになります。

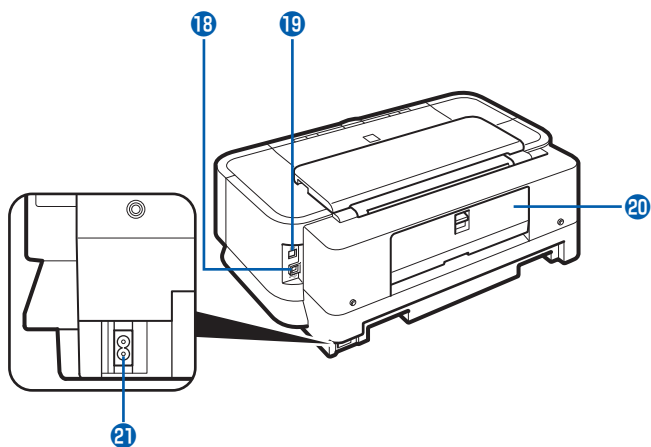
17 エラーランプ

用紙やインクがなくなったときなど、エラーが発生したときにオレンジ色に点灯または点滅します。

参考**電源ランプ／エラーランプの表示について**

- 電源ランプ／エラーランプの表示により、本製品の状態を確認できます。
 - 電源ランプが消灯：電源がオフです。
 - 電源ランプが緑色に点灯：印刷が可能です。
 - 電源ランプが緑色に点滅：準備動作中、または印刷中です。
 - エラーランプがオレンジ色に点滅：エラーが発生し、印刷できません。⇒P.79
 - 電源ランプ（緑色）とエラーランプ（オレンジ色）が交互に1回ずつ点滅：サービスを必要とするエラーが起きている可能性があります。⇒P.86

背面



18 USBケーブル接続部

USBケーブルでパソコンと接続するためのコネクタです。

重要

- 金属部分に触れないでください。
- 印刷しているときに、USBケーブルを抜き差ししないでください。

19 LANケーブル接続部

LANケーブルでネットワーク接続するためのコネクタです。

重要

- 金属部分に触れないでください。

参考

- LANケーブルを接続する前に、LANケーブル接続部のキャップを取り外してください。

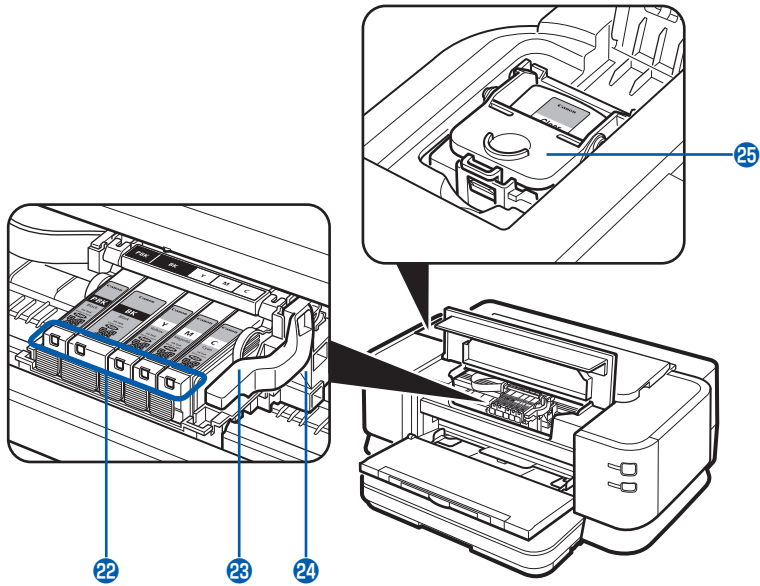
20 背面カバー

紙づまりのときに開き、つまった用紙を取り除きます。
⇒P.102

21 電源コード接続部

付属の電源コードを接続するためのコネクタです。

内部

**22 インクランプ**

赤色に点灯/点滅し、インクタンクの状態を知らせます。
⇒「インクの状態を確認する」(P.51)

23 プリントヘッド固定レバー

プリントヘッドを固定します。

重要

- プリントヘッドを取り付けたら、このレバーを上げないでください。

24 プリントヘッドホルダー

プリントヘッドを取り付けます。

25 クリアインクタンク固定カバー

クリアインクタンクを固定します。

参考

- プリントヘッドとインクタンクの取り付け方法は、『かんたんスタートガイド』を参照してください。

文書や写真の印刷

ここでは、文書や写真などを印刷する方法について説明しています。
付属のソフトウェア Easy-PhotoPrint EX（イージー・フォトプリント・
イーエックス）を使うと、デジタルカメラで撮った写真をかんたんな操作で
印刷することができます。

文書を印刷する（Windows） …………… P.10

文書を印刷する（Macintosh） …………… P.13

Mac OS X v.10.5.xの場合 …………… P.13

Mac OS X v.10.4.xまたはMac OS X v.10.3.9の場合…………… P.15

写真を印刷する（Easy-PhotoPrint EX を使う） …… P.18

Easy-PhotoPrint EXの機能を使う …………… P.21

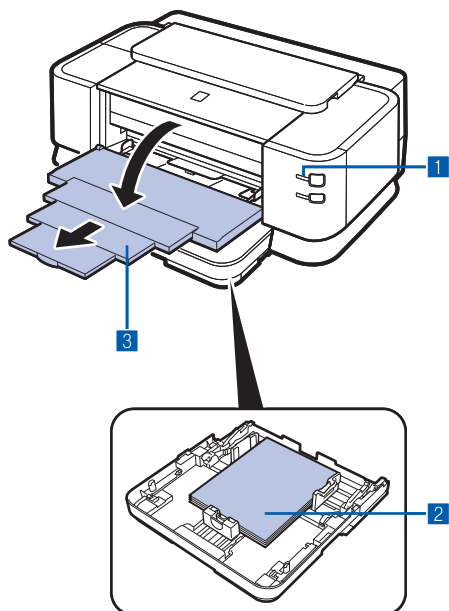
文書を印刷する (Windows)

本製品では、文字だけでなく写真やイラストを使った文書も、普通紙にきれいに印刷できます。ここでは、A4サイズの書類を普通紙に印刷する方法について説明します。詳しくは、『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

参考

- ご使用のアプリケーションソフトによっては、操作が異なる場合があります。詳しい操作方法については、ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
- 本書ではWindows Vista operating system Ultimate Edition（以降、Windows Vista）をご使用の場合に表示される画面を基本に説明します。

1 印刷の準備をする



1 本製品の電源が入っていることを確認する⇒P.5

2 用紙をセットする⇒P.28

ここでは、カセットにA4サイズの普通紙がセットされていることを確認します。

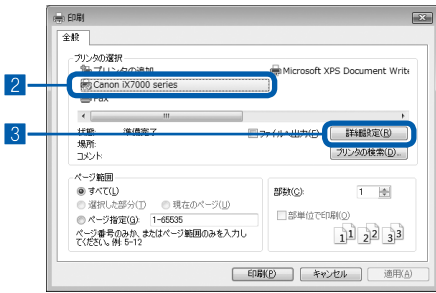
参考

- 普通紙はカセットまたは前トレイの手差し給紙口に、それ以外の写真用紙などは後トレイにセットします。

3 前トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを引き出す

2 アプリケーションソフトで原稿を作成(または表示)する

3 プリンタードライバーの設定画面を開く



1 アプリケーションソフトの【ファイル】メニューまたはツールバーから【印刷】を選ぶ
【印刷】ダイアログが表示されます。

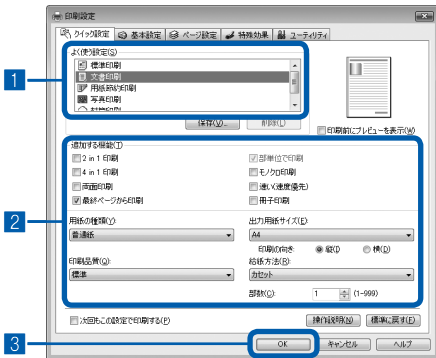
2 ご使用の製品名が表示されていることを確認する

参考

- 別の製品名が選ばれている場合は、ご使用の製品名をクリックしてください。

3 【詳細設定】(または【プロパティ】) ボタンをクリックする

4 印刷に必要な設定をする



1 【よく使う設定】で【文書印刷】を選ぶ

参考

- 【よく使う設定】で【文書印刷】、【写真印刷】といった印刷目的を選ぶと、選んだ目的により、【追加する機能】の項目に自動的にチェックマークが表示されます。また、印刷目的に適した用紙や品質などの設定が表示されます。
- 【部数】で2部以上の部数を指定すると、【部単位で印刷】にチェックマークが付いて表示されます。

2 表示された設定内容を確認する

ここでは、【用紙の種類】で【普通紙】、【印刷品質】で【標準】、【出力用紙サイズ】で【A4】、【給紙方法】で【カセット】が選ばれていることを確認してください。

参考

- 設定内容は変更することができます。ただし、【出力用紙サイズ】を変更した場合は、【ページ設定】シートの【用紙サイズ】の設定がアプリケーションソフトの設定と合っていることを確認してください。詳しくは「活用ガイド」(電子マニュアル)を参照してください。
- 普通紙を選ぶとカセットから給紙するメッセージが表示され、普通紙以外を選ぶと、後トレイから給紙するメッセージが表示されます。【OK】ボタンをクリックしてください。普通紙を前トレイの手差し給紙口から給紙する場合は、【給紙方法】で【手差し】を選びます。
- 用紙の種類を間違えると、給紙箇所が違ったり、正しい印刷品質で印刷されない場合があります。

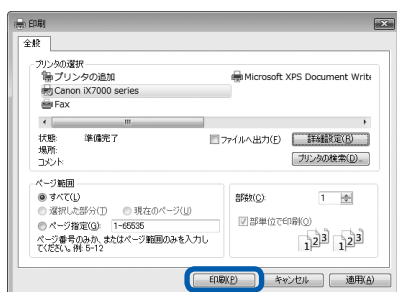
3 【OK】ボタンをクリックする

参 考

- プリンタードライバー機能の設定方法については、[ヘルプ] ボタンや [操作説明] ボタンをクリックして、ヘルプや『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。[操作説明] ボタンは、プリンタードライバーの [クイック設定] シート、[基本設定] シートおよび [ユーティリティ] シートに表示されます。ただし、電子マニュアル（取扱説明書）がパソコンにインストールされている必要があります。
- 変更した内容に名前を付けて [よく使う設定] に登録することもできます。詳しくは、『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
- [次回もこの設定で印刷する] にチェックマークを付けると、現在表示されている設定内容が次回以降の印刷にも適用されます。ただし、ご使用のアプリケーションソフトによっては、適用されない場合があります。
- [印刷前にプレビューを表示] にチェックマークを付けると、プレビュー画面で印刷結果を確認することができます。アプリケーションソフトによっては、表示されない場合があります。
- [基本設定] シートや [ページ設定] シートでは、詳細な印刷設定をすることができます。詳しくは、『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

5 印刷を開始する

[印刷]（または [OK]）ボタンをクリックすると、印刷が開始されます。



参 考

- 長形の封筒を指定した場合、印刷時にセット方法についてのメッセージが表示されます。
[今後、このメッセージを表示しない。] にチェックマークをつけると、次回からメッセージは表示されなくなります。封筒印刷時の設定については、「封筒をセットする」(P.35) を参照してください。
- 印刷中に本製品のリセットボタンを押すか、プリンター状態の確認画面の [印刷中止] ボタンをクリックすると、印刷を中止できます。印刷中止後は、白紙が排出されることがあります。
プリンター状態の確認画面は、タスクバー上の [Canon (ご使用の製品名)] をクリックして表示します。
- 罫線がずれたり、印刷結果が思わしくない場合は、「プリントヘッド位置を調整する」(P.63) を参照してプリントヘッドの位置調整を行ってください。

文書を印刷する (Macintosh)

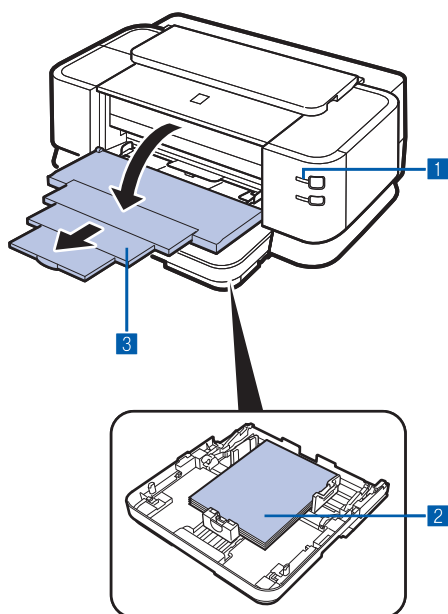
本製品では、文字だけでなく写真やイラストを使った文書も、普通紙にきれいに印刷できます。ここでは、A4サイズの書類を普通紙に印刷する方法について説明します。詳しくは、『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

参考

- ご使用のアプリケーションソフトによっては、操作が異なる場合があります。詳しい操作方法については、ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

Mac OS X v.10.5.xの場合

1 印刷の準備をする



1 本製品の電源が入っていることを確認する⇒P.5

2 用紙をセットする⇒P.28

ここでは、カセットにA4サイズの普通紙がセットされていることを確認します。

参考

- 普通紙はカセットまたは前トレイの手差し給紙口に、それ以外の写真用紙などは後トレイにセットします。

3 前トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを引き出す

2 アプリケーションソフトで原稿を作成(または表示)する

3 プリントダイアログを開く

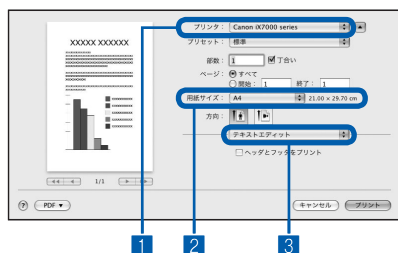
アプリケーションソフトの [ファイル] メニューから [プリント] を選ぶと、プリントダイアログが表示されます。

参考

- 以下の画面が表示された場合は、 ボタンをクリックしてください。



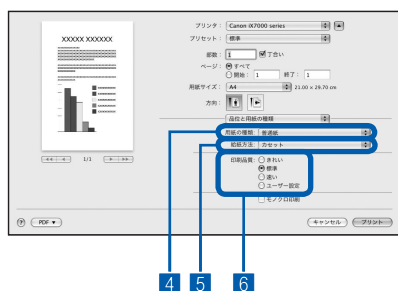
4 印刷に必要な設定をする



- 1 【プリンタ】 でご使用の製品名が表示されていることを確認する
- 2 【用紙サイズ】 でセットした用紙のサイズを選ぶ
ここでは、[A4] を選びます。
- 3 ポップアップメニューから【品位と用紙の種類】 を選ぶ
- 4 【用紙の種類】 でセットした用紙の種類を選ぶ
ここでは、[普通紙] を選びます。

参考

- 用紙の種類を間違えると、給紙箇所が違ったり、正しい印刷品質で印刷されない場合があります。



- 5 【給紙方法】 で【カセット】 が選ばれていることを確認する

参考

- 【用紙の種類】 で【普通紙】 を選ぶと、【給紙方法】 は【カセット】 に切り替わります。前トレイの手差し給紙口から給紙する場合は、【給紙方法】 で【手差し】 を選びます。
【用紙の種類】 で普通紙以外を選ぶと、【給紙方法】 は【後トレイ】 に切り替わります。

- 6 【印刷品質】 で印刷品質を選ぶ
ここでは、【標準】 を選びます。

参考

- 印刷品質については、『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

参考

- プリンタードライバー機能の設定方法については、プリントダイアログの【品位と用紙の種類】、【カラーオプション】、【フチなし全面印刷】、または【両面印刷ととじしろ】の(?) ボタンをクリックしてください。
- 左側に表示されるプレビュー画面で印刷結果を確認することができます。アプリケーションソフトによっては、表示されない場合があります。

5 印刷を開始する

[プリント] ボタンをクリックすると、印刷が開始されます。

参考

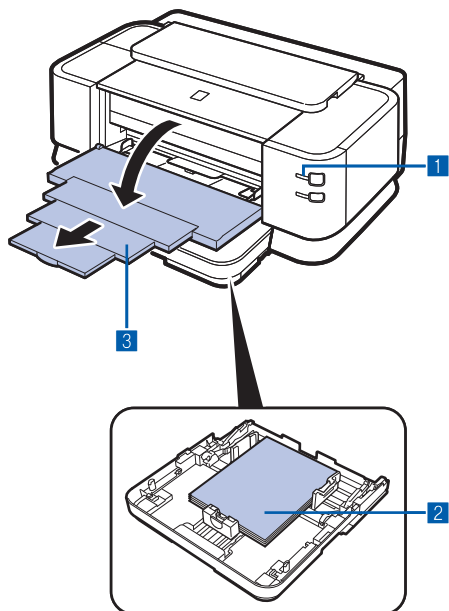
- Dock内にあるプリンターのアイコンをクリックすると、印刷状況を確認するダイアログが表示されます。
- 印刷状況のリストで文書を選んで [削除] をクリックすると、その文書の印刷を中止できます。 [保留] をクリックすると、その文書の印刷を一時停止できます。また、 [プリンタを一時停止] をクリックすると、リストにあるすべての印刷を一時停止できます。印刷中止後は、白紙が排出されることがあります。
- 罫線がずれたり、印刷結果が思わしくない場合は、「プリントヘッド位置を調整する」(P.63) を参照してプリントヘッドの位置調整を行ってください。

Mac OS X v.10.4.xまたはMac OS X v.10.3.9の場合

参考

- ここではMac OS X v.10.4.xをご使用の場合に表示される画面を基本に説明しています。

1 印刷の準備をする



1 本製品の電源が入っていることを確認する⇒P.5

2 用紙をセットする⇒P.28

ここでは、カセットにA4サイズの普通紙がセットされていることを確認します。

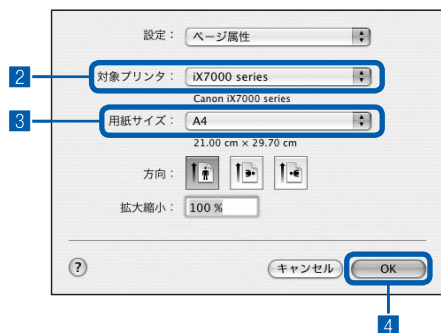
参考

- 普通紙はカセットまたは前トレイの手差し給紙口に、それ以外の写真用紙などは後トレイにセットします。

3 前トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを引き出す

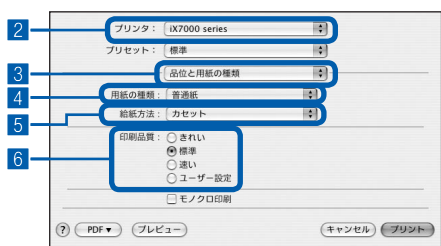
2 アプリケーションソフトで原稿を作成(または表示)する

3 用紙サイズを設定する



- 1 アプリケーションソフトの【ファイル】メニューから【ページ設定】を選ぶ
ページ設定ダイアログが表示されます。
- 2 【対象プリンタ】でご利用の製品名が表示されていることを確認する
- 3 【用紙サイズ】でセットした用紙のサイズを選ぶ
ここでは、【A4】を選びます。
- 4 【OK】ボタンをクリックする

4 印刷に必要な設定をする



- 1 アプリケーションソフトの【ファイル】メニューから【プリント】を選ぶ
プリントダイアログが表示されます。
- 2 【プリンタ】でご利用の製品名が表示されていることを確認する
- 3 ポップアップメニューから【品位と用紙の種類】を選ぶ
- 4 【用紙の種類】でセットした用紙の種類を選ぶ
ここでは、【普通紙】を選びます。

参考

- 用紙の種類を間違えると、給紙箇所が違ったり、正しい印刷品質で印刷されない場合があります。

- 5 【給紙方法】で【カセット】が選ばれていることを確認する

参考

- 【用紙の種類】で【普通紙】を選ぶと、【給紙方法】は【カセット】に切り替わります。前トレイの手差し給紙口から給紙する場合は、【給紙方法】で【手差し】を選びます。
【用紙の種類】で普通紙以外を選ぶと、【給紙方法】は【後トレイ】に切り替わります。

- 6 【印刷品質】で印刷品質を選ぶ
ここでは、【標準】を選びます。

参考

- 印刷品質については、『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

参考

- プリンタードライバー機能の設定方法については、プリントダイアログの【品位と用紙の種類】、【カラーオプション】、【特殊効果】、【フチなし全面印刷】、または【両面印刷とじしる】の(?)ボタンをクリックしてください。
- 【プレビュー】ボタンをクリックすると、プレビュー画面で印刷結果を確認することができます。アプリケーションソフトによっては、表示されない場合があります。

5 印刷を開始する

[プリント] ボタンをクリックすると、印刷が開始されます。

参 考

- Dock内にあるプリンターのアイコンをクリックすると、印刷状況を確認するダイアログが表示されます。
 - 印刷状況のリストで文書を選んで [削除] をクリックすると、その文書の印刷を中止できます。[保留] をクリックすると、その文書の印刷を一時停止できます。また、[ジョブを停止] をクリックすると、リストにあるすべての印刷を一時停止できます。印刷中止後は、白紙が排出されることがあります。
 - 罫線がずれたり、印刷結果が思わしくない場合は、「プリントヘッド位置を調整する」(P.63) を参照してプリントヘッドの位置調整を行ってください。
-

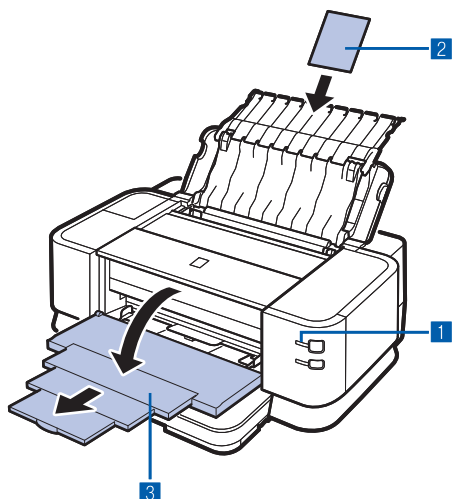
写真を印刷する (Easy-PhotoPrint EXを使う)

付属のソフトウェアEasy-PhotoPrint EX (イージー・フォトプリント・イーエックス) を使って、パソコンに保存されている画像データを印刷することができます。
ここでは、L判サイズの写真用紙に、画像をフチなしで印刷する方法について説明します。詳しくは、『活用ガイド』(電子マニュアル) を参照してください。

参考

- Windowsの画面を例に説明していますが、Macintoshでも操作方法は同じです。
- Easy-PhotoPrint EXをインストールしていなかったり、削除した場合は、『セットアップCD-ROM』で [選んでインストール] から [Easy-PhotoPrint EX] を選んでインストールします。

1 印刷の準備をする



1 本製品の電源が入っていることを確認する⇒P.5

2 用紙をセットする⇒P.28

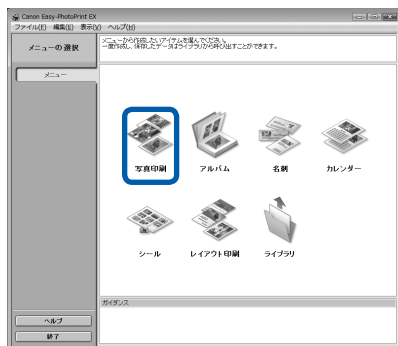
ここでは、L判サイズの写真用紙を後トレイにセットします。

参考

- 普通紙はカセットまたは前トレイの手差し給紙口に、それ以外の写真用紙などは後トレイにセットします。

3 前トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを引き出す

2 Easy-PhotoPrint EXを起動し、[写真印刷]を選ぶ



1 Easy-PhotoPrint EXを起動する

Windows



デスクトップのアイコン  をダブルクリックする

Macintosh



[移動] メニューから [アプリケーション] → [Canon Utilities] → [Easy-PhotoPrint EX] の順に選び、[Easy-PhotoPrint EX] をダブルクリックする

参考

Windows

- Solution Menu (ソリューション・メニュー) から起動するときは、デスクトップ上の  をダブルクリックして Solution Menu を表示し、 をクリックします。⇒P.25
- [スタート] メニューから起動するときは、[スタート] メニューから [すべてのプログラム] または [プログラム] → [Canon Utilities] → [Easy-PhotoPrint EX] → [Easy-PhotoPrint EX] の順に選びます。

Macintosh

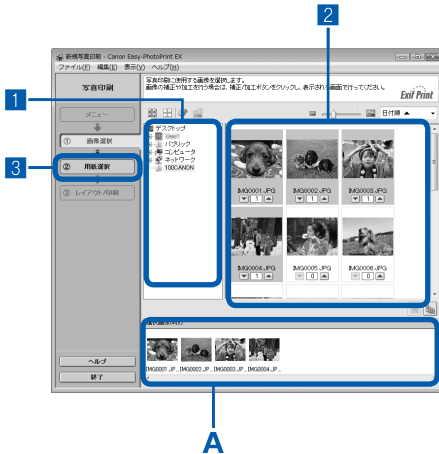
- Solution Menu (ソリューション・メニュー) から起動するときは、Dock 内にある  をクリックして Solution Menu を表示し、 をクリックします。⇒P.25

2 [写真印刷] をクリックする

参考

- [写真印刷] のほかにも、[アルバム] や [カレンダー] などの印刷もできます。[シール] は本製品では対応していません。⇒「Easy-PhotoPrint EXの機能を使う」(P.21)

3 印刷する写真を選ぶ




1 画像が保存されているフォルダーを選ぶ

2 印刷する画像をクリックする

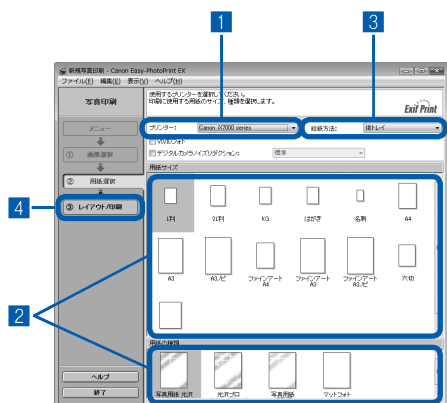
枚数が [1] と表示され、[選択画像] エリア (A) に選んだ画像が表示されます。複数の画像を同時に選ぶことができます。

参考

- 同じ画像を2枚以上印刷したい場合は、▲ボタンをクリックして枚数を変更します。
- 選んだ画像を取り消すには、[選択画像] エリアで取り消したい画像をクリックしてから  ボタンをクリックします。▼ボタンで枚数を [0] にしても取り消すことができます。
- 選んだ画像の補正や加工を行うこともできます。⇒「Easy-PhotoPrint EXの機能を使う」(P.21)

3 [用紙選択] をクリックする

4 用紙を選ぶ



1 【プリンター】にご使用の製品名が表示されていることを確認する

2 【用紙サイズ】と【用紙の種類】で、印刷したい用紙を選ぶ

ここでは、【用紙サイズ】で[L判]、【用紙の種類】でセットした写真用紙の種類を選びます。

参考

- 用紙の種類を間違えると、給紙箇所が違ったり、正しい印刷品質で印刷されない場合があります。

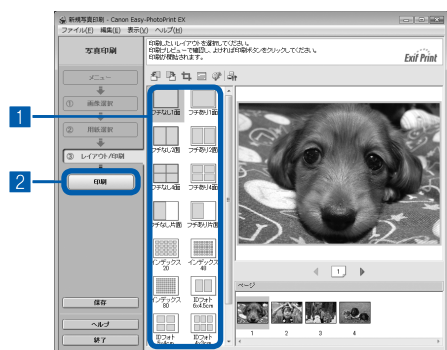
3 【給紙方法】で【後トレイ】が選ばれていることを確認する

参考

- 【用紙の種類】で【普通紙】を選ぶと、【給紙方法】は【カセット】に切り替わります。普通紙を前トレイの手差し給紙口から給紙する場合は、【給紙方法】で【手差し】を選びます。

4 【レイアウト/印刷】をクリックする

5 レイアウトを選び、印刷する



1 写真のレイアウトを選ぶ

ここでは【フチなし1面】を選びます。

選んだレイアウトでプレビューが表示され、印刷結果が確認できます。

参考

- 写真の向きを変更したり、一部分だけを切り抜いて（トリミング）印刷したりすることができます。操作方法については、『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

2 【印刷】をクリックする

参考

Windows

- 印刷中に本製品のリセットボタンを押すか、プリンター状態の確認画面の【印刷中止】ボタンをクリックすると、印刷を中止できます。印刷中止後は、白紙が排出されることがあります。プリンター状態の確認画面は、タスクバー上の【Canon（ご使用の製品名）】をクリックして表示します。

Macintosh

- Dock内にあるプリンターのアイコンをクリックすると、印刷状況を確認するダイアログが表示されます。
- 印刷状況のリストで文書を選んで【削除】をクリックすると、その文書の印刷を中止できます。【保留】をクリックすると、その文書の印刷を一時停止できます。また、【プリンタを一時停止】（または【ジョブを停止】）をクリックすると、リストにあるすべての印刷を一時停止できます。印刷中止後は、白紙が排出されることがあります。

Easy-PhotoPrint EX の機能を使う

Easy-PhotoPrint EX で使える便利な機能の一部を紹介しています。詳しくは、『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

いろいろなオリジナルアイテムを作成する

撮った写真を活用してアルバムやカレンダーなどを作成することができます。



[アルバム]



[名刺]



[カレンダー]



[レイアウト印刷]

画像を補正する

画像に対して自動または手動で、赤目補正や顔くっきり補正、美肌加工、明るさ、コントラストなどの調整や補正／加工を行うことができます。



[明るさ]

そのほかの使いかた

ここでは、操作の手助けとなる『活用ガイド』（電子マニュアル）の見かたや、本製品で使用できる便利なソフトウェアについて説明しています。

『活用ガイド』（電子マニュアル）について P.24

便利なソフトウェアについて P.25

Solution Menuについて P.25

マイ プリンタについて P.25

Easy-WebPrint EXについて P.26

『活用ガイド』(電子マニュアル)について

付属のCD-ROM『セットアップCD-ROM』には、パソコンの画面で見る取扱説明書(電子マニュアル)の『活用ガイド』が収録されています。

『活用ガイド』では、本書には記載されていない使いかたや各種設定のしかた、トラブルが起きたときの対処方法、付属のアプリケーションソフトの使いかたについて説明しています。

本製品の機能を十分に知ってご活用いただくために、『活用ガイド』をご利用ください。

参考

- ・『活用ガイド』をインストールしていなかったり、削除した場合は、『セットアップCD-ROM』で[選んでインストール]から[電子マニュアル(取扱説明書)]を選んでインストールします。

『活用ガイド』を表示するには

デスクトップ上のアイコンをダブルクリックする

『活用ガイド』の画面では次のようなことができます。

- ・『活用ガイド』をまとめて印刷したり、特定の章や項目だけを印刷したりできます。
- ・よく見るページを「マイマニュアル」として登録しておくことができます。

参考

- ・『活用ガイド』は、Solution Menu (ソリューション・メニュー) から表示することもできます。⇒P.25

※画面はWindows Vistaのものであります。

目次やキーワードから検索して見たいページを表示できます。



目的にあった機能についての操作や説明を表示します。

電子マニュアルの使いかたやお手入れ、本製品の設定を変更する方法など、いろいろな説明を表示します。


便利なソフトウェアについて

本製品では、Solution Menu (ソリューション・メニュー)、マイ プリンタ、Easy-WebPrint EX (イージー・ウェブプリント・イーエックス) などの便利なソフトウェアをご使用いただけます。

Solution Menuについて

Solution Menuは、本製品に付属のアプリケーションソフトを起動したり、操作方法の説明を表示できるソフトウェアです。

Windows

デスクトップ上のアイコン  をダブルクリックする

Macintosh

Dock内にあるアイコン  をクリックする

※画面はWindows Vistaのものであります。



使いたい機能のボタンをクリックします。
↓
起動後は、タイトルバーのボタンをクリックしてサイズを変更できます。



参考

- Solution Menuをインストールしていなかったり、削除した場合は、『セットアップCD-ROM』で「選んでインストール」から「Solution Menu」を選んでインストールします。

Windows

- [スタート]メニューから表示するときは、[スタート]メニューから「すべてのプログラム」または「プログラム」→「Canon Utilities」→「Solution Menu」→「Solution Menu」の順に選びます。

Macintosh


- メニューバーから表示するときは、[移動]メニューから「アプリケーション」→「Canon Utilities」→「Solution Menu」の順に選び、「Solution Menu」をダブルクリックします。

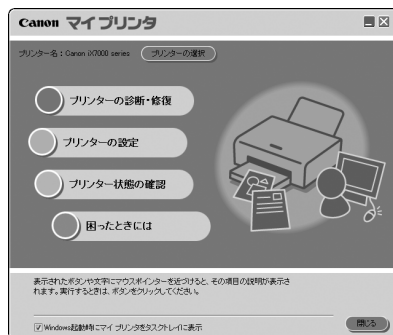
マイ プリンタについて

マイ プリンタは、プリンタードライバーの設定画面を表示したり、操作に困ったときの対処方法について知ることのできるソフトウェアです。

マイ プリンタはMacintoshではご使用になれません。

Windows

デスクトップ上のアイコン  をダブルクリックする



参考

- マイ プリントは Solution Menu または タスクバー から も表示することができます。
- マイ プリントをインストールしていなかったり、削除した場合は、『セットアップCD-ROM』で [選んでインストール] から [マイ プリント] を選んでインストールします。
- [スタート] メニューから表示するときは、[スタート] メニューから [すべてのプログラム] または [プログラム] → [Canon Utilities] → [マイ プリント] → [マイ プリント] の順に選びます。

Easy-WebPrint EXについて

Easy-WebPrint EXは、Internet Explorerに表示されたウェブページをかたんに印刷できるソフトウェアです。

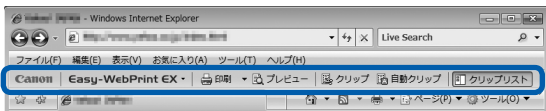
ウェブページの端が切れないように用紙の幅に合わせて自動的に縮小して印刷したり、プレビューでページを選んで印刷することが可能です。

Easy-WebPrint EXはWindows 2000およびMacintoshではご使用になれません。

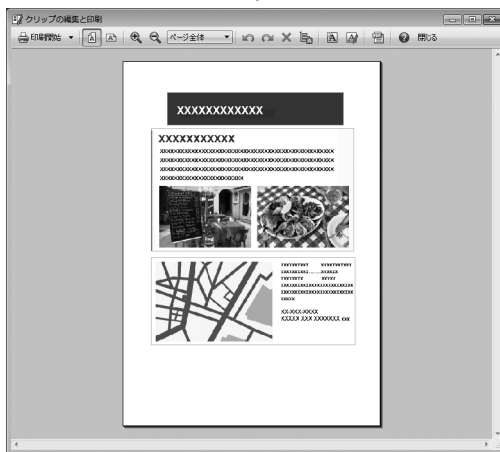
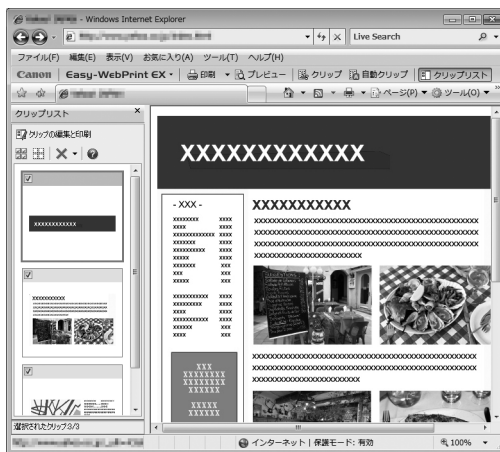
重要


- 他人の著作物を権利者に無断で複製・編集などすることは、個人的または家庭内、その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合をのぞき、違法となります。
- また、人物の写真などを複製・編集などする場合には肖像権が問題になることがあります。

Easy-WebPrint EXをインストールすると、Easy-WebPrint EXツールバーがInternet Explorerに組み込まれます。Internet Explorerの実行中は、このツールバーをいつでも使用することができます。



たとえば、クリップ機能を使うと、いろいろなウェブページから必要な部分を切り取り、編集して印刷することができます。



ウェブページの印刷方法については、 ボタンをクリックして、ヘルプを参照してください。

参考

Easy-WebPrint EXのインストールについて

- Easy-WebPrint EXをインストールしていないと、デスクトップのタスクバーにEasy-WebPrint EXのインストールの案内が表示される場合があります。インストールするときは、案内表示をクリックし、画面の指示にしたがってください。
- 『セットアップCD-ROM』で [選んでインストール] から [Easy-WebPrint EX] を選んで、インストールすることもできます。
- Easy-WebPrint EXをインストールするには、Internet Explorer 7以上がインストールされていて、インターネットに接続されている必要があります。

用紙セットのしかた

ここでは、本製品で使用できる用紙の種類と、印刷する用紙をカセット、後トレイ、または前トレイの手差し給紙口にセットする方法について説明しています。

用紙をセットする	P.28
用紙のセット位置について	P.28
カセットに用紙をセットする	P.30
後トレイに用紙をセットする	P.33
前トレイの手差し給紙口に用紙をセットする	P.37
使用できる用紙について	P.38
使用できない用紙について	P.41
用紙の取り扱いについて	P.41

用紙をセットする

用紙のセット位置について

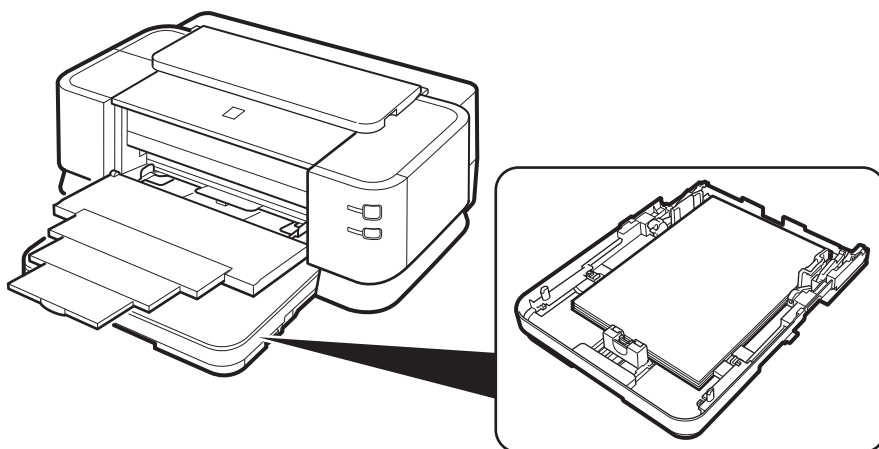
用紙は、カセット、後トレイ、前トレイの手差し給紙口の3箇所にセットすることができます。
用紙の種類によって、セットできる位置が異なります。
⇒「使用できる用紙について」(P.38)

参考

- 印刷する際は、用紙の種類を正しく設定してください。用紙の種類を間違えると、給紙箇所が違ったり、正しい印刷品質で印刷されない場合があります。
それぞれの給紙箇所への用紙のセット方法については、「カセットに用紙をセットする」(P.30)、「後トレイに用紙をセットする」(P.33)、「前トレイの手差し給紙口に用紙をセットする」(P.37)を参照してください。

普通紙はカセットにセットします

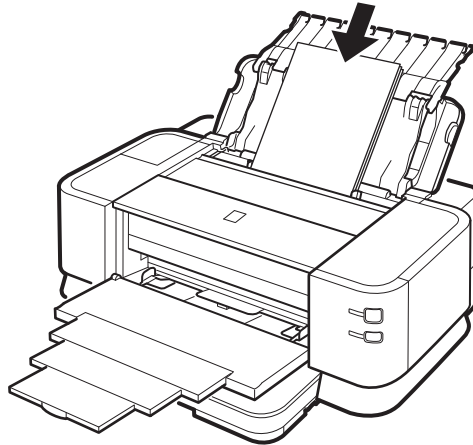
普通紙に印刷するときは、カセットにセットします。
印刷するときにプリンタードライバーの印刷設定で、[用紙の種類]を[普通紙]に設定してください。[給紙方法]で[カセット]が表示されていない場合は、[カセット]に設定してください。



写真用紙やはがきは後トレイにセットします

写真用紙やはがきに印刷するときは、後トレイにセットします。

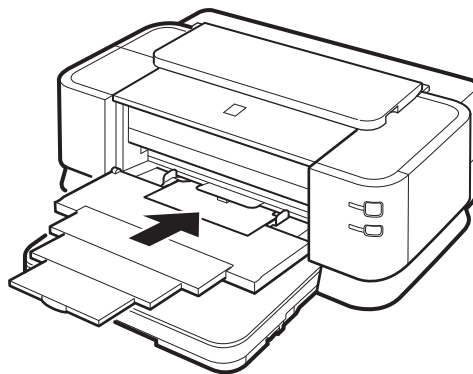
印刷するときにプリンタードライバーの印刷設定で、[用紙の種類] を普通紙以外の写真用紙やはがきに設定してください。



普通紙は前トレイの手差し給紙口にもセットできます

カセットにセットした用紙はそのままで、別の普通紙を前トレイの手差し給紙口にセットできます。

印刷するときにプリンタードライバーの印刷設定で、[用紙の種類] を [普通紙]、[給紙方法] を [手差し] に設定してください。



カセットに用紙をセットする

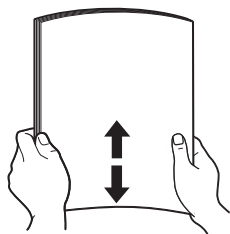
カセットには、普通紙のみセットできます。

参考

- カセットには、A3、B4、A4、B5、A5、レター、リーガル、11×17 (Tabloid)、六切、四切などの普通紙のみセットできます。
- 写真を印刷するときは、キヤノン純正の写真専用紙のご使用をお勧めします。キヤノン純正紙については、「使用できる用紙について」(P.38)を参照してください。
- 複写機などで使用される一般的なコピー用紙やキヤノン普通紙・ホワイトSW-101が使用できます。用紙の両面に印刷する場合は、キヤノン普通紙・ホワイト 両面厚口SW-201がお勧めです。本製品で使用できる用紙サイズ、重さについては、「使用できる用紙について」(P.38)を参照してください。

1 用紙の準備をする

セットする用紙をそろえます。用紙に反りがあるときは、反りを直してください。

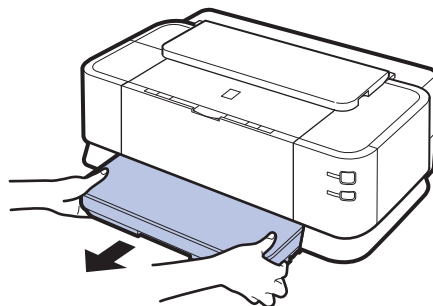


参考

- 用紙の端をきれいにそろえてからセットしてください。用紙の端をそろえずにセットすると、紙づまりの原因となることがあります。
- 用紙に反りがあるときは、逆向きに曲げて反りを直してから（表面が波状にならないように）セットしてください。反りの直しかたについては、「困ったときには」の「印刷面が汚れる／こすれる」(P.92)を参照してください。

2 カセットの準備をする

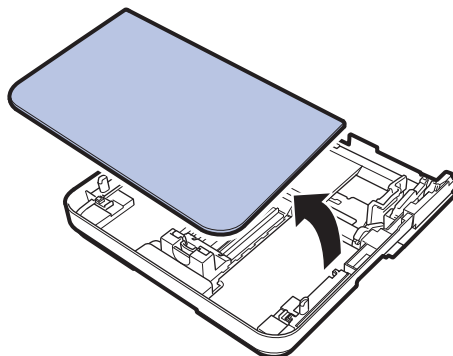
- 1 両手でカセットを止まる位置までゆっくり引き出し、手前を少し持ち上げて引き出す



参考

- 前トレイの手差し給紙口に用紙がセットされていないことを確認して、カセットを引き出してください。

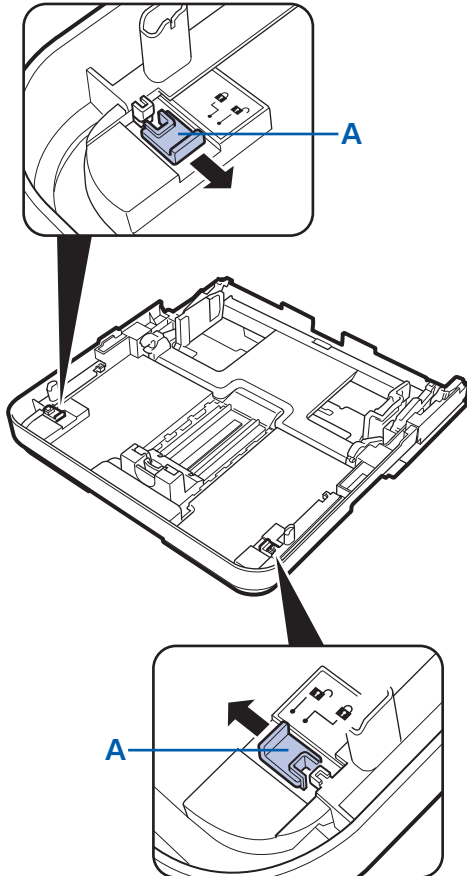
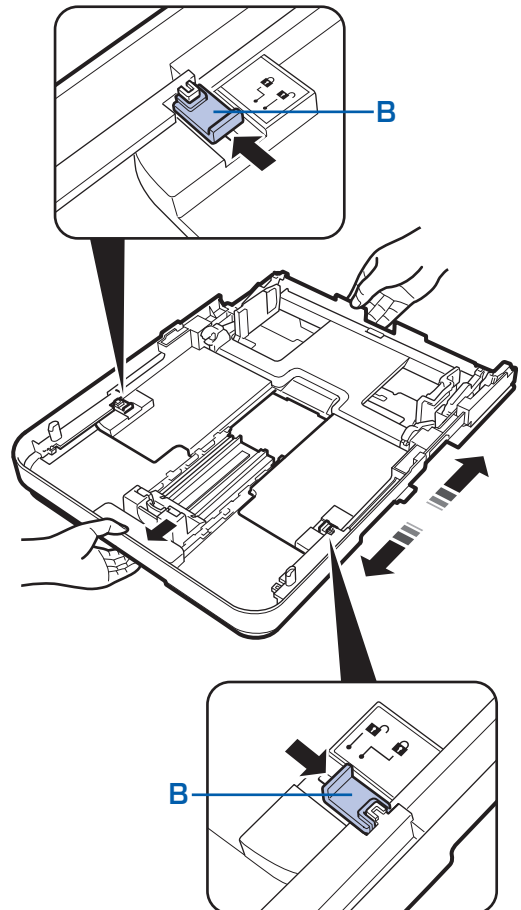
- 2 カセットのカバーを取り外す



3 カセットの左右のロック (A) をはずす

参考

- A4、B5、A5、レター、六切の用紙をセットするときは、手順**3**、**4**の操作は不要です。

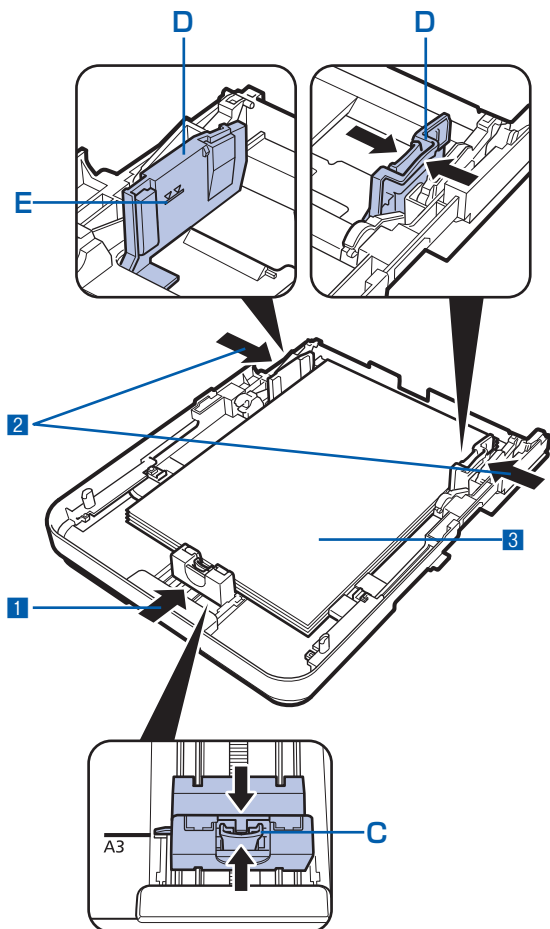
**4** カセットを引き伸ばし、左右のロック (B) をかける

3 用紙をセットする

- 1 手前側の用紙ガイド (C) をつまんで動かし、用紙サイズのマーク位置に合わせる
用紙ガイド (C) が用紙サイズのマーク位置に合うと止まります。
- 2 左右の用紙ガイド (D) をつまんで動かし、用紙サイズのマーク位置に合わせる
用紙ガイド (D) が用紙サイズのマーク位置に合うと止まります。
- 3 印刷したい面を下にして、印刷開始位置が奥になるように、カセットに用紙をセットする

参考

- (E) の線を超えないようにセットしてください。



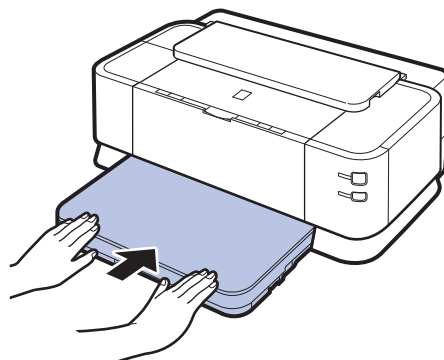
参考

- 非定型の用紙をセットするときは、用紙をセットしてから用紙ガイドを動かして用紙にぴったり合わせてください。

4 カセットのカバーを取り付ける

5 カセットを本体に差し込む

奥に突き当たるまでまっすぐ押し込んでください。



参考

- カセットが正しく差し込まれていないと、エラーが発生し、印刷できなくなります。カセットが奥まで差し込まれていることを確認してください。

6 前トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを引き出す

参考

用紙をセットしたら

- プリンタードライバーで [用紙の種類] を [普通紙] に、[出力用紙サイズ] ([用紙サイズ]) をセットした用紙のサイズに合わせて設定します。[給紙方法] で [カセット] が表示されていない場合は、[カセット] に設定します。
Windowsの場合
⇒ 「文書を印刷する (Windows)」 (P.10)
Macintoshの場合
⇒ 「文書を印刷する (Macintosh)」 (P.13)

後トレイに用紙をセットする

写真用紙やはがき、封筒など、普通紙以外の用紙は後トレイにセットします。

参考

- 後トレイには、A3ノビ、A3、B4、A4、B5、A5、レター、リーガル、KG、US 4×8、US 5×7、11×17 (Tabloid)、はがき、往復はがき、L判、2L判、ワイド、六切、四切、名刺などの用紙や封筒をセットできます。
- 後トレイから印刷する場合は、自動両面印刷はできません。

写真用紙／はがきをセットする

重要

- 普通紙をL判、2L判、KGサイズ、名刺、はがきの大きさに切って試し印刷すると、紙づまりの原因になります。

●はがきに印刷するときの注意

重要

- 写真付きはがきやステッカーが貼ってあるはがきには印刷できません。
- 往復はがきに印刷するときは、ご使用のアプリケーションソフトおよびプリンタードライバーで用紙サイズを必ず「往復はがき」に設定してください。
- 往復はがきにフチなし全面印刷はできません。
- 往復はがきは折り曲げないでください。折り目がつくと、正しく給紙できず印字ずれや紙づまりの原因になります。
- はがきには、クリアインクが塗布されません。このため、印字が薄くなる場合があります。

参考

- はがきの両面に1面ずつ印刷するときは、きれいに印刷するために、通信面を印刷したあとにあて名面を印刷することをお勧めします。このとき、通信面の先端がめくれたり傷がついたりする場合は、あて名面から印刷すると状態が改善することがあります。
- はがきを持つときは、できるだけ端を持ち、インクが乾くまで印刷面に触らないでください。
- 写真を印刷するときは、キヤノン純正の写真専用紙のご使用をお勧めします。キヤノン純正紙については、「使用できる用紙について」(P.38)を参照してください。

はがきをセットする場合

- はがきに印刷する場合は、[用紙の種類]ではがきに対応した種類を設定します。往復はがきに印刷する場合は、必ず[用紙サイズ]で、[往復はがき]を設定します。印刷を実行すると、設定にしたがった印刷ガイドが表示されますので、ガイドにしたがって、はがきをセットしてください。
- 用紙ガイドを強く突き当てすぎないようにしてください。うまく給紙されない場合があります。

1 用紙の準備をする⇒P.30

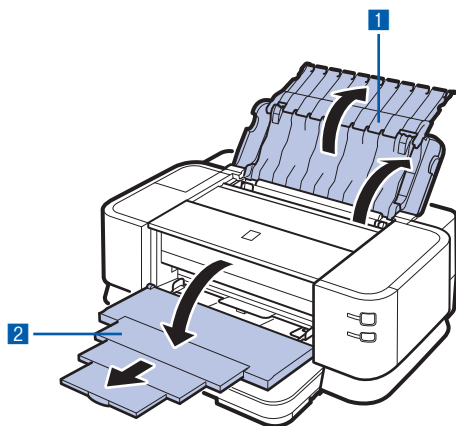
セットする用紙をそろえます。用紙に反りがあるときは、反りを直してください。

参考

- キヤノン写真用紙・絹目調をご使用の場合は、用紙が反っていてもそのままセットして使用してください。丸めると用紙の表面にひび割れが発生し、印刷品質が低下する場合があります。

2 用紙をセットする

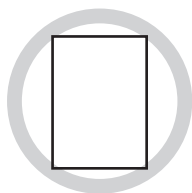
- 1 用紙サポートを開く
- 2 前トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを引き出す



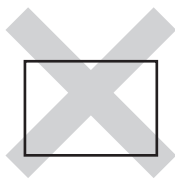
- 3 用紙ガイド (A) を広げ、用紙の印刷する面を表にして、後トレイの中央にセットする

重要

- 用紙（往復はがきを除く）は縦方向 (B) にセットしてください。横方向 (C) にセットすると紙づまりの原因となります。



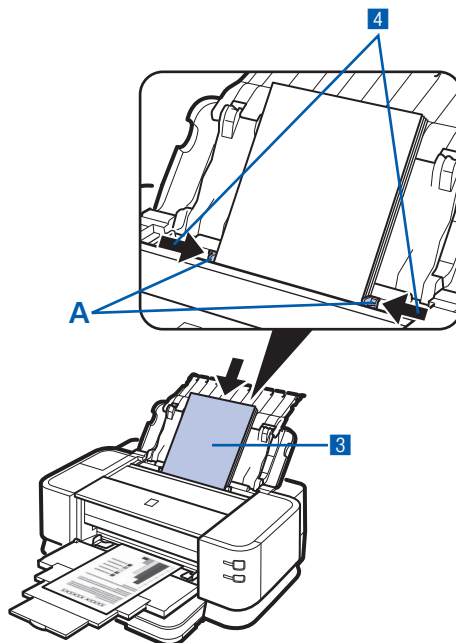
B



C

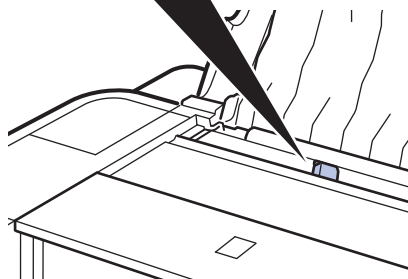
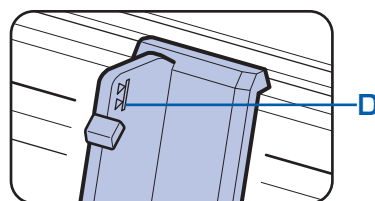
- 4 用紙ガイド (A) を動かし、用紙の両端に合わせる

用紙ガイドを強く突き当てすぎないようにしてください。うまく給紙されない場合があります。



参考

- 用紙は (D) の線を越えないようにセットしてください。



参考

用紙をセットしたら

- プリンタードライバーで [用紙の種類] と [出力用紙サイズ] ([用紙サイズ]) をセットした用紙に合わせて設定します。

Windowsの場合

⇒ 「文書を印刷する (Windows)」 (P.10)

Macintoshの場合

⇒ 「文書を印刷する (Macintosh)」 (P.13)

封筒をセットする

一般の長形3号/4号の封筒と、洋形4号/6号の封筒に印刷できます。

プリンタードライバーで適切に設定することにより、あて名は封筒の向きに合わせて、自動的に回転して印刷されます。

重要

- 次のような封筒は紙づまりや故障の原因になるため使用できません。
 - 角形封筒
 - 型押しやコーティングなどの加工された封筒
 - ふたが二重 (またはシール) になっている封筒
 - ふた部分の乾燥糊が湿って、粘着性が出てしまった封筒
- Macintosh をご使用の場合は、長形3号/4号の封筒は印刷できません。
- 封筒には、クリアインクが塗布されません。このため、印字が薄くなる場合があります。

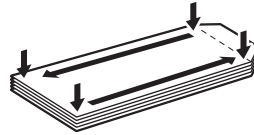
参考

- Windows をご使用の場合、長形封筒の印刷時にセット方法についてのメッセージが表示されます。[今後、このメッセージを表示しない。] にチェックマークをつけると、次回からメッセージは表示されなくなります。

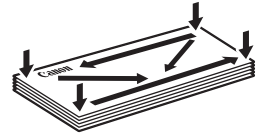
1 封筒の準備をする

- 封筒の四隅と縁を押して平らにします。

• 長形封筒



• 洋形封筒

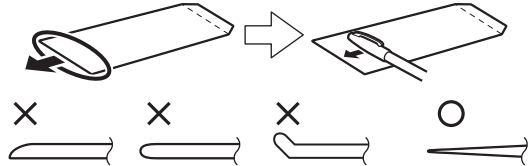


- 封筒が反っている場合は、両手で対角線上の端を持って、逆方向に軽く曲げます。



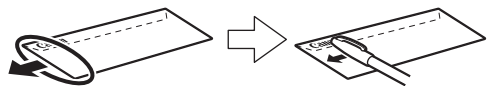
- 封筒のふた部分が折れ曲がっている場合は平らにします。
- 挿入方向の先端部をペンで押して平らに伸ばします。

• 長形封筒



上の図は、封筒の先端部の断面図です。

• 洋形封筒



重要

- 平らになっていなかったり、端がそろっていなかったりすると、紙づまりの原因になることがあります。反りやふくらみが3mmを超えないようにしてください。

2 封筒をセットする

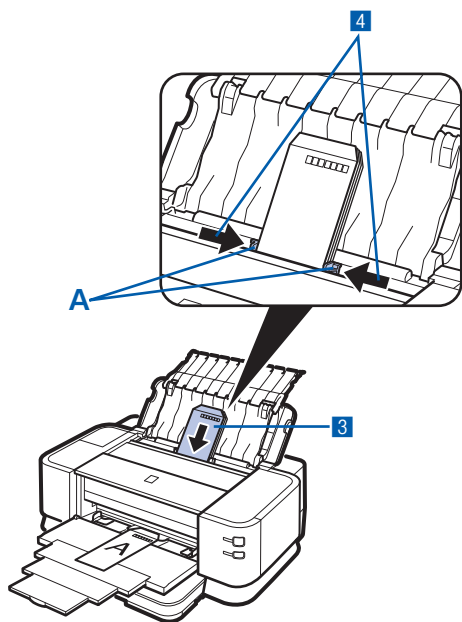
1 用紙サポートを開く⇒P.34

2 前トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを引き出す⇒P.34

3 用紙ガイド (A) を広げ、封筒の印刷する面を表にして、後トレイの中央にセットする
一度に10枚までセットできます。

4 用紙ガイド (A) を動かし、封筒の両端に合わせる

用紙ガイドを強く突き当てすぎないようにしてください。うまく給紙されない場合があります。

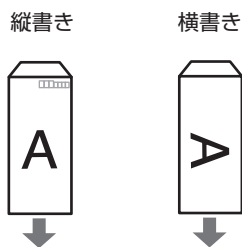


3 プリンタードライバーで用紙の設定をする

プリンタードライバーの設定画面を開き、以下の設定を行ってください。

• **長形封筒 (Windowsのみ)**

セットのしかた：

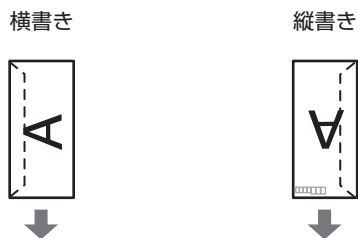


ふたを折りたたまずに上に向け、縦置きでセットする

- [よく使う設定] : [封筒印刷]
- [封筒サイズの設定] 画面 : [長形3号]、[長形4号]
- [印刷の向き] : [縦] (縦書きの場合)
[横] (横書きの場合)

• **洋形封筒**

セットのしかた：



ふたを左側にし、折りたたんだ面を裏にして、縦置きでセットする

郵便番号欄を下に向け、ふたを折りたたんだ面を裏にして、縦置きでセットする

Windows

- [よく使う設定] : [封筒印刷]
- [封筒サイズの設定] 画面 : [洋形4号]、[洋形6号]
- [印刷の向き] : [横] (横書きの場合)
[縦] (縦書きの場合)

Macintosh

- [用紙の種類] : [封筒]
- [用紙のサイズ] : [洋形4号]、[洋形6号]
- [方向] : [横] (横書きの場合)
[縦] (縦書きの場合)

重要

- 封筒のサイズや印刷の向きを正しく選ばないと、上下逆さまに印刷されたり、90度回転して印刷されたりします。

参考

- Windowsをご使用の場合、印刷結果が上下逆さまになるときは、プリンタードライバーの設定画面を開き、[よく使う設定] で [封筒印刷] を選び、[追加する機能] で [180度回転] にチェックマークを付けてください。
- プリンタードライバーの設定については、以下を参照してください。
Windowsの場合
⇒ 「文書を印刷する (Windows)」 (P.10)
Macintoshの場合
⇒ 「文書を印刷する (Macintosh)」 (P.13)

前トレイの手差し給紙口に用紙をセットする

前トレイの手差し給紙口には普通紙のみセットできます。

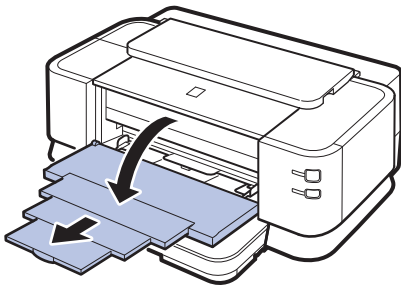
参考

- 前トレイの手差し給紙口には、A3、B4、A4、B5、レター、リーガル、11×17 (Tabloid)、六切、四切などの普通紙のみセットできます。
- 写真を印刷するときは、キヤノン純正の写真専用紙のご使用をお勧めします。キヤノン純正紙については、「使用できる用紙について」(P.38)を参照してください。
- 複写機などで使用される一般的なコピー用紙やキヤノン普通紙・ホワイトSW-101が使用できます。用紙の両面に印刷する場合は、キヤノン普通紙・ホワイト 両面厚口SW-201がお勧めです。本製品で使用できる用紙サイズ、重さについては、「使用できる用紙について」(P.38)を参照してください。

1 用紙の準備をする⇒P.30

セットする用紙をそろえます。用紙に反りがあるときは、反りを直してください。

2 前トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを引き出す

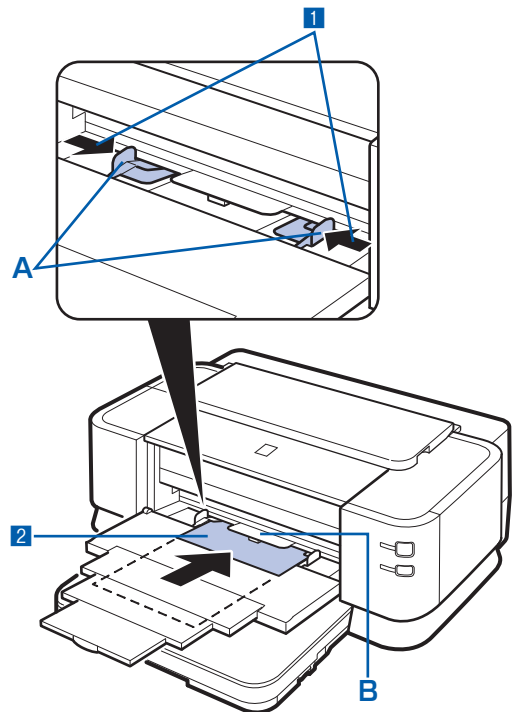


3 用紙をセットする

- 手差し用紙ガイド (A) を動かし、用紙サイズのマーク位置に合わせる
- 用紙の印刷する面を下にして、手差し給紙口に、まっすぐ奥に突き当たるまで挿入する用紙は10枚までセットできます。

参考

- カセットが正しく差し込まれていることを確認してください。
- 用紙は用紙おさえ (B) の下にある手差し給紙口に挿入してください。
- セットした用紙のサイズと指標が一致していることを確認してください。
- 用紙に反りがあるときは、逆向きに曲げて反りを直してから（表面が波状にならないように）セットしてください。反りの直しかたについては、「困ったときには」の「印刷面が汚れる／こすれる」(P.92)を参照してください。



参考

用紙をセットしたら

- プリンタードライバーで「[用紙の種類]」を「普通紙」に、「[出力用紙サイズ]」(「[用紙サイズ]」)をセットした用紙のサイズに合わせて設定し、「[給紙方法]」を「手差し」に設定します。
Windowsの場合
⇒「文書を印刷する (Windows)」(P.10)
Macintoshの場合
⇒「文書を印刷する (Macintosh)」(P.13)

印刷が終わったら

- 手差し給紙口を使用しないときは、手差し用紙ガイドを前トレイの幅いっぱいまで広げておいてください。

使用できる用紙について


最適な印刷結果を得るために、印刷に適した用紙をお選びください。キヤノンでは、写真や文書のための用紙はもちろん、名刺やはがきなど、印刷の楽しさを広げるさまざまな種類の用紙をご用意しています。大切な写真の印刷には、キヤノン純正紙のご使用をお勧めします。


種類

市販の用紙

用紙の名称<型番>*1	給紙の最大積載枚数			排紙の最大積載枚数	プリンタードライバーの設定 [用紙の種類]
	カセット	後トレイ	前トレイ (手差し)		
普通紙 (再生紙を含む)*2	約250枚	使用できません	10枚	約50枚	普通紙
はがき/年賀はがき	使用できません*3	40枚	使用できません*3	40枚	通信面：はがき あて名面：すべてのはがき/はがき
インクジェットはがき/ インクジェット紙年賀はがき		40枚		40枚	通信面：インクジェットはがき あて名面：すべてのはがき/はがき
往復はがき*2		40枚		*4	通信面・あて名面：はがき
封筒		10枚			封筒

キヤノン純正紙

用紙の名称<型番>*1	給紙の最大積載枚数			排紙の最大積載枚数	プリンタードライバーの設定 [用紙の種類]
	カセット	後トレイ	前トレイ (手差し)		
書類の印刷に 					
カラー普通紙 <LC-301>	約220枚	使用できません	10枚	約50枚	普通紙
キヤノン普通紙・ホワイト <SW-101>	約220枚			約50枚	普通紙
キヤノン普通紙・ホワイト 両面厚口 <SW-201>	約100枚		7枚	約50枚	普通紙
写真の印刷に 					
キヤノン写真用紙・光沢 プロ [プラチナグレード] <PT-101>*5	使用できません*3	A3ノビ、 四切：1枚 A3、A4、 2L判、六 切：10枚 L判、はが き、KG ：20枚	使用できません*3	*4	光沢プロ プラチナグレード
キヤノン写真用紙・光沢ゴールド <GL-101>*5					写真用紙 光沢ゴールド
キヤノン写真用紙・絹目調 <SG-201>*5					写真用紙 絹目調
マットフォトペーパー <MP-101>					マットフォトペーパー
ファインアートペーパー・ "Photo Rag" <FA-PR1>*6					1枚

用紙の名称<型番>*1	給紙の最大積載枚数			排紙の最大積載枚数	プリンタードライバーの設定 【用紙の種類】
	カセット	後トレイ	前トレイ (手差し)		
オリジナルグッズ作りに 					
両面マット名刺用紙 <MM-101>*7	使用できません*3	20枚	使用できません*3	*4	写真用紙 光沢

- *1 <型番>のあるものは、キヤノン純正紙です。用紙の裏表や使用上の注意については、各用紙の取扱説明書を参照してください。また、種類によって取り扱っているサイズが異なります。詳しくは、キヤノン ピクサスホームページ canon.jp/pixus をご覧ください。
- *2 用紙の種類やご使用の環境（高温・多湿や低温・低湿の場合）によっては、正常に紙送りできない場合があります。この場合は、セットする枚数を半分に以下に減らしてください。（再生紙は古紙配合率100%の再生紙が使用できます。）
- *3 カセットおよび前トレイの手差し給紙口から給紙した場合、故障の原因になることがありますので、必ず後トレイにセットしてください。
- *4 にじみや変色を防ぐため、続けて印刷するときは、先に印刷した用紙を前トレイから取り出すことをお勧めします。
- *5 用紙を重ねてセットすると、用紙を引き込む際に印刷面に跡が付いたり、用紙がうまく送られない場合があります。その場合は、用紙を1枚ずつセットしてください。
- *6 ファインアートペーパー・“Photo Rag”をご使用の場合は、印刷方向に対して、用紙の上下端35mmは印刷されません。アート紙専用の用紙サイズを選択すると、上下端35mmには印刷しないように制限がかかります。印刷を行う前に印刷内容をプレビュー画面に表示させて印刷範囲を確認することをお勧めします。プレビューについて、詳しくは『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
- また、ファインアートペーパーをご使用になる場合は『活用ガイド』（電子マニュアル）の「役立つ情報」の「アート紙に印刷する前に」を参照してください。
- キヤノン純正紙は最適な印刷品質を得られるように製造・管理されています。キヤノン純正紙のご使用をお勧めします。
- *7 テキストデータを印刷する場合、データは名刺サイズ（55mm×91mm）で作成し、上下左右の余白を5mm程度に設定してください。

キヤノン純正紙以外の特殊な用紙

画材紙の風合いをもつ用紙を使うことができます。

セットのしかた

後トレイに、1枚ずつセットします。

プリンタードライバーの設定と給紙箇所

【用紙の種類】	【用紙サイズ】	【給紙方法】
他社ファインアート紙	ファインアートXX*1	後トレイ*2

- *1 用紙サイズを [ファインアート レター]、[ファインアート A4]、[ファインアート A3]、[ファインアート A3ノビ] から選んでください。印刷できる範囲については、『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
- *2 重さ200g/m²以下の用紙のみ。

参 考

- キヤノン純正紙以外の用紙を使う場合は、他社製対応用紙を使うとよりきれいな印刷結果を得ることができます。以下のサイトで、他社製対応用紙を紹介しています。
インターネットへの接続料金はおお客様のご負担となりますので、ご注意ください。
⇒ canon.jp/pixus
他社製対応用紙の情報は、不定期に更新されます。また、他社製対応用紙の仕様は予告なく変更されることがあります。

サイズ

使用できる用紙サイズは、以下のとおりです。

参考

- カセットにセットできる用紙サイズは、以下のとおりです。
A3、B4、A4、B5、A5、レター、リーガル、11×17 (Tabloid)、六切、四切
- 後トレイにセットできる用紙サイズは、以下のとおりです。
A3ノビ、A3、B4、A4、B5、A5、レター、リーガル、KG、US 4×8、US 5×7、11×17 (Tabloid)、はがき、往復はがき、L判、2L判、ワイド、六切、四切、名刺、長形3号、長形4号、洋形4号、洋形6号
- 前トレイの手差し給紙口にセットできる用紙サイズは、以下のとおりです。
A3、B4、A4、B5、レター、リーガル、11×17 (Tabloid)、六切、四切
- Macintoshをご使用の場合、長形3号／4号の封筒は使用できません。

定型：

- | | |
|---|--------------------------------------|
| • レター 8.5 x 11 [レター] (215.9×279.4mm) | • リーガル (215.9×355.6mm) |
| • 11 x 17 [Tabloid] (279.4×431.8mm) | • A5 (148.0×210.0mm) |
| • A4 (210.0×297.0mm) | • A3 (297.0×420.0mm) |
| • A3ノビ (329.0×483.0mm) | • B5 [B5 (JIS)] (182.0×257.0mm) |
| • B4 [B4 (JIS)] (257.0×364.0mm) | • KG (101.6×152.4mm) |
| • US 4 x 8 (101.6×203.2mm) | • US 5 x 7 (127.0×177.8mm) |
| • 六切 (203.2×254.0mm) | • 四切 (254.0×304.8mm) |
| • L判 (89.0×127.0mm) | • 2L判 (127.0×178.0mm) |
| • はがき (100.0×148.0mm) | • 往復はがき (200.0×148.0mm) |
| • US Comm. Env. #10 [#10封筒] (104.6×241.3mm) | • EUR DL Env. [DL封筒] (110.0×220.0mm) |
| • 長形3号 (120.0×235.0mm) | • 長形4号 (90.0×205.0mm) |
| • 洋形4号 (105.0×235.0mm) | • 洋形6号 (98.0×190.0mm) |
| • ワイド101.6 x 180.6mm [ワイド] (101.6×180.6mm) | • 名刺 (55.0×91.0mm) |
| • ファインアート A4 (210.0×297.0mm) | • ファインアート レター (215.9×279.4mm) |
| • ファインアート A3 (297.0×420.0mm) | • ファインアート A3ノビ (329.0×483.0mm) |

* [] 内はMacintoshでの表示です。

非定型：

以下の範囲内で用紙サイズを設定することもできます。

- 最小サイズ：148.0mm×210.0mm (カセット)
55.0mm×91.0mm (後トレイ)
148.0mm×254.0mm (手差し給紙口)
- 最大サイズ：297.0mm×431.8mm (カセット／手差し給紙口)
329.0mm×584.2mm (後トレイ)

重さ

64～105g/m² (キヤノン純正紙以外の用紙)

この範囲外の重さの用紙 (キヤノン純正紙以外) は、紙づまりの原因となりますので使用しないでください。

* 他社製のアート紙などの場合は、重さ200g/m²まで後トレイでご使用いただけます。

詳しくは、「キヤノン純正紙以外の特殊な用紙」(P.39)を参照してください。

フチなし全面印刷に対応した用紙について

リーガル／A5／B5サイズの用紙と普通紙、往復はがき、封筒にはフチなし全面印刷できません。

使用できない用紙について

以下の用紙は使用しないでください。きれいに印刷できないだけでなく、紙づまりや故障の原因になります。

- 折れている／反りのある／しわが付いている用紙
- 濡れている用紙
- 薄すぎる用紙（重さ64g/m²未満）
- 厚すぎる用紙（キヤノン純正紙以外の用紙で重さ105g/m²を超えるもの）
 - * ただし他社製のアート紙などの場合は、重さ200g/m²まで後トレイでご使用いただけます。詳しくは、「キヤノン純正紙以外の特殊な用紙」(P.39)を参照してください。
- はがきより薄い紙、普通紙やメモ用紙を裁断した用紙（はがき／L判など、A5サイズより小さい用紙に印刷する場合）
- 絵はがき
- 一度折り曲げた往復はがき
- 写真付きはがきやステッカーを貼ったはがき
- 角型封筒
- ふたが二重になっている封筒
- ふたがシールになっている封筒
- 型押しやコーティングなどの加工された封筒
- ふた部分の乾燥糊が湿って、粘着性が出てしまった封筒
- 穴のあいている用紙
- 長方形以外の形状の用紙
- ステープルや粘着剤などでとじている用紙
- 粘着剤の付いた用紙
- 表面にラメなどが付いている用紙
- 以下のキヤノン純正紙には印刷できません。
キヤノン写真用紙・光沢プロフェッショナルPR-201、キヤノン写真用紙・光沢GP-501、キヤノン写真
はがき・光沢KH-301、プロフェッショナルフォトはがきPH-101、高品位専用紙HR-101S、Tシャツ
転写紙TR-301、ピクサスブチシールPS-101、ピクサスブチシール・フリーカットPS-201、フォト
シールセットPSHRS、および片面光沢名刺 KM-101

用紙の取り扱いについて

- すべての用紙は、こすったり、傷をつけたりしないように丁寧に扱ってください。
- できるだけ用紙の端を持ち、印刷面に触れないようにしてください。手についた汗や油分が印刷面に付くと、印刷品質が低下する場合があります。
- 印刷後は、インクが十分に乾いてから取り扱ってください。また乾いたあとも、できるだけ印刷した面に触れないよう丁寧に扱ってください。顔料インクの特性上、こすったり、引っかいたりすると、インクがはがれる場合があります。
- 用紙は印刷する直前に、印刷する枚数だけをパッケージから取り出して使用してください。
- 反りを防ぐため、使用しない用紙は用紙が入っていたパッケージに入れ、水平に置いて保管してください。また、高温・多湿・直射日光を避けて保管してください。

お手入れ

ここでは、インクがなくなったときのインクタンクの交換方法、印刷がかすれたときのクリーニングの方法、用紙がうまく送られない場合の対処方法などについて説明します。

インクタンクを交換する P.44

- カラー／ブラックインクタンクを交換する..... P.44
- クリアインクタンクを交換する..... P.48

インクの状態を確認する P.51

- インクランプでインクの状態を確認する..... P.51
- パソコンの画面でインクの状態を確認する..... P.52

印刷にかすれやむらがあるときには P.54

- ノズルチェックパターンを印刷する..... P.55
- ノズルチェックパターンを確認する..... P.57
- プリントヘッドをクリーニングする..... P.58
- プリントヘッドを強力クリーニングする..... P.60
- プリントヘッド位置を調整する..... P.63

インクの品質を保持する P.65

給紙ローラーをクリーニングする P.66

搬送ローラーをクリーニングする（定期ローラークリーニング） ... P.68

- 定期ローラークリーニングの操作..... P.68
- クリーニングシートの収納と取り出し..... P.72

メンテナンス画面を表示する P.74

- プリンタードライバーの設定画面を表示する（Windows） P.74
- Canon IJ Printer Utility画面を表示する（Macintosh） P.74

インクタンクを交換する

ここでは、印刷中にインクがなくなった場合のインクタンクの交換手順について説明します。

参考

- インクがなくなるなどのエラーが発生すると、エラーランプがオレンジ色に点滅してお知らせします。エラーの点滅回数を確認してから、「困ったときには」の「プリンターのエラーランプがオレンジ色に点滅している」(P.79)を参照してエラーの対処をしてください。
- 本製品で使用できるインクタンクの番号については、本書の裏表紙を参照してください。
- インクが残っているのに印刷がかすれたり、白すじが入る場合は、「印刷にかすれやむらがあるときには」(P.54)を参照してください。

カラー／ブラックインクタンクを交換する

印刷中にカラーまたはブラックのインクがなくなると、エラーランプがオレンジ色に4回点滅し、パソコンの画面にエラーメッセージが表示されます。

なくなったインクを確認し、次の手順でインクタンクを交換します。

重要

インクの取り扱いについて

- インクタンクに穴を開けるなどの改造や分解をすると、インクが漏れ、本製品の故障の原因となることがあります。改造・分解はお勧めしません。
- インクの詰め替えなどによる非純正インクのご使用は、印刷品質の低下やプリントヘッドの故障の原因となることがあります。安全上問題はありませんが、まれに、純正品にないインク成分によるとみられるプリントヘッド部分の発熱・発煙事例*も報告されています。キヤノン純正インクのご使用をお勧めします。
(*すべての非純正インクについて上記事例が報告されているものではありません。)
- 非純正インクタンクまたは非純正インクのご使用に起因する不具合への対応については、保守契約期間内または保証期間内であっても有償となります。
- インクタンクの交換はすみやかに、インクタンクを取り外した状態で放置しないでください。
- 交換用インクタンクは新品のものを装着してください。インクを消耗しているものを装着すると、ノズルがつまる原因になります。また、インク交換時期を正しくお知らせできません。
- 最適な印刷品質を保つため、インクタンクは梱包箱に記載されている「取付期限」までに本製品に取り付けてください。また、開封後6ヶ月以内に使い切るようにしてください(本製品に取り付けた年月日を、控えておくことをお勧めします)。

参考

- 黒のみの文章を印刷するときにも、ブラック以外のインクが使われることがあります。また、本製品の性能を維持するために行うクリーニングや強力クリーニングでも、各色のインクが使われます。インクがなくなった場合は、すみやかに新しいインクタンクに交換してください。

1 電源が入っていることを確認し、前トレイをゆっくり手前に開く

2 トップカバーを開く

プリントヘッドホルダーが交換位置に移動します。

⚠ 注意

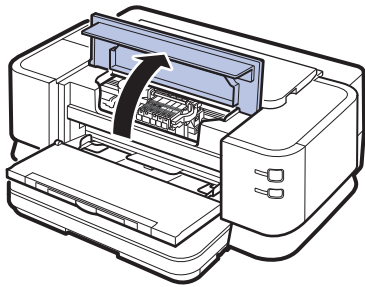
- プリントヘッドホルダーが動いている間はプリントヘッドホルダーを手で止めたり、無理に動かしたりしないでください。プリントヘッドホルダーの動きが止まるまでは、手を触れないでください。

重要

- トップカバー上には物を置かないでください。トップカバーを開けた際、物が後トレイに落ち、故障の原因になります。
- 本体内部の金属部分やその他の部分に触れないでください。
- トップカバーを10分以上開けたままにすると、プリントヘッドホルダーが右側へ移動します。その場合は、いったんトップカバーを閉じ、再度開けてください。

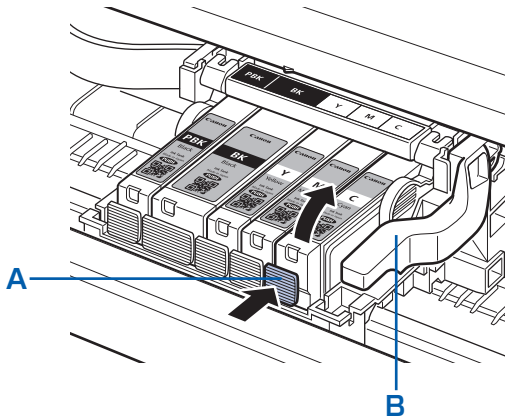
参考

- プリントヘッドが交換位置に移動するときに動作音がしますが、正常な動作です。



3 インクランプの点滅が速いインクタンクを取り外す

インクタンクの固定つまみ (A) を押し、インクタンクを上を持ち上げて外します。プリントヘッドの固定レバー (B) には触れないようにしてください。



重 要

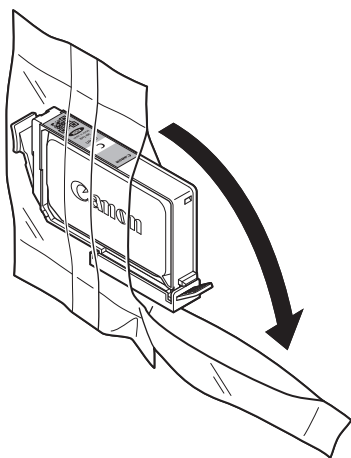
- 衣服や周囲を汚さないよう、インクタンクの取り扱いには注意してください。
- 空になったインクタンクは地域の条例にしたがって処分してください。
また、キヤノンでは使用済みインクタンクの回収を推進しています。詳しくは「使用済みインクカートリッジ回収のお願い」(P.120)を参照してください。

参 考

- 一度に複数のインクタンクを外さず、必ず1つずつ交換してください。
- インクランプの点滅速度については、「インクの状態を確認する」(P.51)を参照してください。

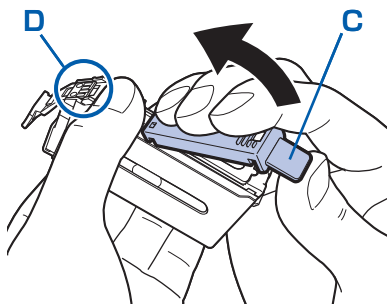
4 インクタンクを準備する

1 新しいインクタンクを袋から出す



2 インクタンクの底部にあるオレンジ色の保護キャップ (C) を図のように取り外す

指にインクが付着しないように、キャップを押さえながら取り外してください。
取り外した保護キャップは捨ててください。



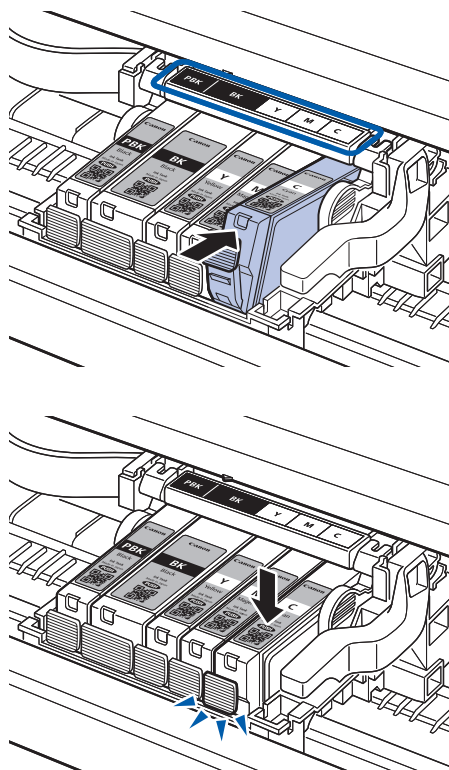
重 要

- インクタンクの基板部分 (D) には触らないでください。正常に動作/印刷できなくなるおそれがあります。

重 要

- インクタンクを振るとインクが飛び散り、手やまわりのものを汚すおそれがあります。インクタンクの取り扱いには注意してください。
- インクが飛び出すことがありますので、インクタンクの側面は強く押さないでください。
- 取り外した保護キャップに付いているインクで、手やまわりのものを汚すおそれがあります。ご注意ください。
- 取り外した保護キャップは、再装着しないでください。地域の条例にしたがって処分してください。
- 保護キャップを取り外したあと、インク出口に手を触れないでください。インクが正しく供給されなくなる場合があります。

5 インクタンクを取り付ける



- 1** 新しいインクタンクをプリントヘッドに向かって斜めに差し込む
ラベルに合わせて取り付けます。

- 2** インクタンク上面の **PUSH** 部分を「カチッ」と音がするまでしっかり押して、インクタンクを固定する
取り付けたら、インクランプが赤く点灯したことを確認してください。

重要

- インクタンクの取り付け位置を間違えると印刷できません。プリントヘッドホルダーに付いているラベルに合わせ、インクタンクを正しい位置に取り付けてください。
- ひとつでもセットされていないインクタンクがあると印刷できません。必ずすべてのインクタンクをセットしてください。

6 トップカバーを閉じる

本製品が自動的にインクをかき混ぜます。

電源ランプが点滅から点灯に変わり、動作音がしなくなるまでお待ちください（最長で2分程度かかります）。

本製品の動作中（電源ランプが緑色に点滅中）は、トップカバーを開けないでください。

参考

- トップカバーを閉じたあとにエラーランプがオレンジ色に点滅した場合は、「プリンターのエラーランプがオレンジ色に点滅している」（P.79）を参照してください。
- 次回印刷を開始すると、自動的にプリントヘッドのクリーニングが開始されます。クリーニング中は電源ランプが緑色に点滅しますので、終了するまでほかの操作を行わないでください。
- 罫線がずれて印刷されるなど、プリントヘッドの位置ずれが確認されたときには、プリントヘッドの位置を調整します。⇒P.63
- 印刷準備中に動作音がすることがありますが、正常な動作です。

クリアインクタンクを交換する

印刷中にクリアインクがなくなると、エラーランプがオレンジ色に4回点滅し、パソコンの画面にエラーメッセージが表示されます。

クリアインクタンクのインクがなくなったときは、次の手順でインクタンクを交換します。

重要

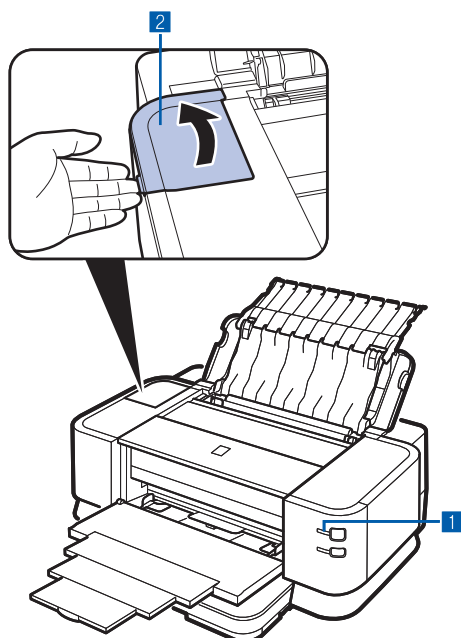
インクの取り扱いについて

- クリアインクがなくなると、普通紙に印刷できなくなります。
- 最適な印刷品質を保つため、キヤノン製の指定クリアインクタンクのご使用をお勧めします。また、インクのための詰め替えはお勧めできません。
- クリアインクタンクの交換はすみやかにを行い、クリアインクタンクを取り外した状態で放置しないでください。なお、クリアインクタンクが取り付けられていない状態ではプリンターは動作しません。
- クリアインクタンクは必ずインクなしのメッセージが表示されてから交換してください。空になる前に交換すると、インク交換時期を正しくお知らせできません。
- 交換用クリアインクタンクは新品のものを装着してください。インクを消耗しているものを装着すると、故障の原因となります。また、インク交換時期を正しくお知らせできません。
- 最適な印刷品質を保つため、クリアインクタンクは梱包箱に記載されている「取付期限」までに本製品に取り付けてください。また、開封後6ヶ月以内に使い切るようにしてください（本製品に取り付けた年月日を、控えておくことをお勧めします）。

参考

- クリアインクがなくなった場合でも、後トレイに写真用紙など、普通紙以外の用紙をセットして印刷することができます。

1 クリアインクタンクカバーを開く



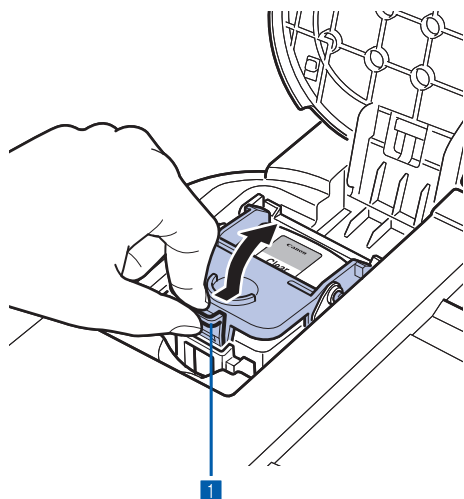
1 本製品の電源が入っていることを確認する

重要

- クリアインクタンクを交換するときは、必ず本製品の電源を入れてください。電源が切れている状態で交換すると、実際のインク残量と残量検知表示が一致しくなくなります。

2 クリアインクタンクカバーを開く

2 クリアインクタンクを取り外す



1 クリアインクタンクの固定つまみを押し、クリアインクタンク固定カバーを開ける

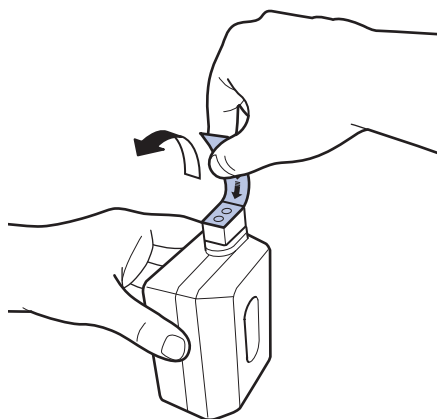
2 クリアインクタンクを取り出す

重要

- インクをこぼしたり、衣服や周囲を汚さないよう、インクタンクの取り扱いには注意してください。
- 空になったインクタンクは地域の条例にしたがって処分してください。また、キヤノンでは使用済みインクタンクの回収を推進しています。詳しくは「使用済みインクカートリッジ回収のお願い」(P.120)を参照してください。

3 クリアインクタンクを準備する

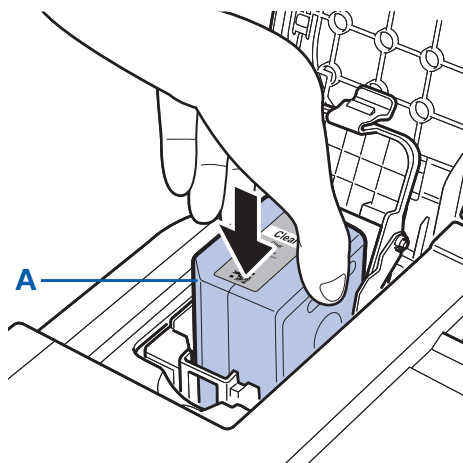
新しいクリアインクタンクのオレンジ色のテープを矢印の方向に引いて保護フィルムをはがします。



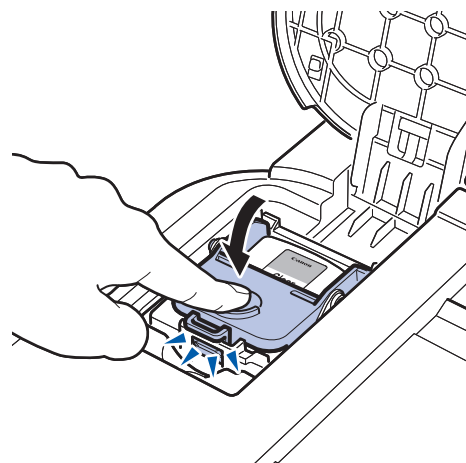
重要

- クリアインクタンクを振るとインクが飛び散り、手やまわりのものを汚すおそれがあります。インクタンクの取り扱いには注意してください。
- インクが飛び出すことがありますので、クリアインクタンクの側面は強く押さないでください。
- クリアインクは透明ですが、取り外した保護フィルムについているインクで、手やまわりのものを汚すおそれがあります。ご注意ください。
- 保護フィルムを取り除いたあと、インク出口に手を触れないでください。インクが正しく供給されなくなる場合があります。

4 クリアインクタンクを取り付ける



- 1 クリアインクタンクをまっすぐに差し込む
斜めの角 (A) が左手前になるようにセットします。



- 2 クリアインクタンク固定カバーを閉じ、「カチッ」という音がするまでしっかり押して、インクタンクを固定する
中央のへこみをしっかりと押します。

5 クリアインクタンクカバーをゆっくり閉じる

印刷の準備ができるまで、約2分間印刷はできません。

インクの状態を確認する

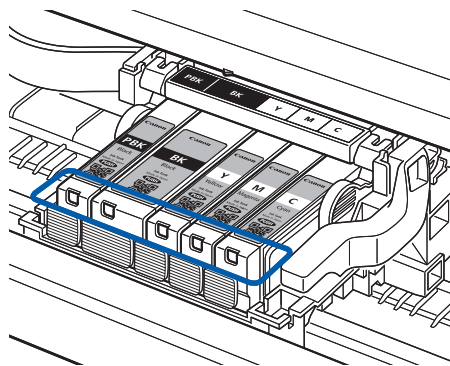
インクの状態は、インクランプやパソコンの画面で確認することができます。

インクランプでインクの状態を確認する

ここではカラー／ブラックインクの状態をインクランプで確認する方法を説明します。

参考

- クリアインクはインクランプでの確認はできません。パソコンで確認してください。⇒P.52



- 1 電源が入っていることを確認し、前トレイをゆっくり手前に開く
- 2 トップカバーを開く
- 3 インクランプの状態を確認する
インクランプの状態を確認したら、トップカバーを閉じてください。

点灯

インクタンクは正しく取り付けられていて、印刷するのに十分なインクが残っています。

点滅

- ゆっくり点滅（約3秒間隔）



インクが少なくなっています。新しいインクタンクをご用意ください。

- はやく点滅（約1秒間隔）



インクタンクが間違った位置に取り付けられているか、インクがなくなっています。プリントヘッドホルダーに付いているラベルのとおり正しい位置に取り付けられているか確認してください。取り付け位置が正しいのにインクランプが点滅している場合は、エラーが発生し、印刷できない状態です。本製品のエラーランプをご確認ください。⇒P.79

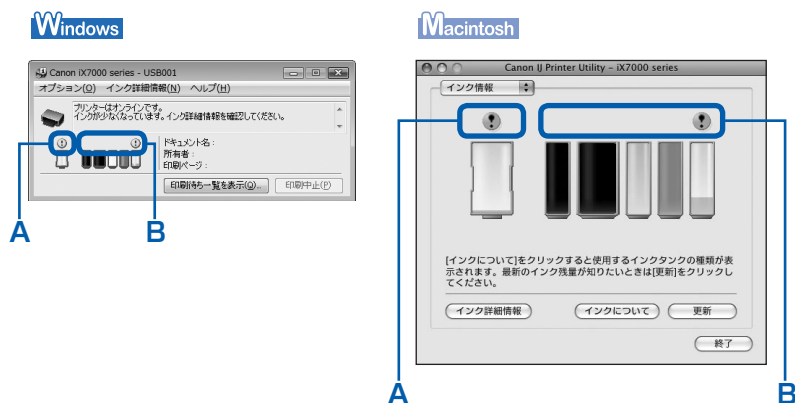
消灯

インクタンクがしっかり取り付けられていないか、インク残量検知機能を無効にしています。インクタンクがしっかり取り付けられていない場合は、インクタンクの **PUSH** の部分を「カチッ」と音がするまでしっかり押してください。しっかりセットできない場合は、インクタンクの底部にあるオレンジ色の保護キャップが外れているか確認してください。

インクタンクを取り付け直してもインクランプが点灯しない場合は、エラーが発生し、印刷できない状態です。本製品のエラーランプをご確認ください。⇒P.79

パソコンの画面でインクの状態を確認する

ここではカラー／ブラック／クリアインクの状態をパソコンで確認する方法を説明します。Windowsをご使用の場合はプリンター状態の確認画面、Macintoshをご使用の場合はCanon IJ Printer Utility (キヤノン・アイジェイ・プリンター・ユーティリティ) でインクの状態を確認できます。



クリアインク：マーク (A) を確認し、マークが表示されていない場合は、印刷するのに十分なインクが残っています。❗が表示されている場合は、クリアインクが少なくなっています。新しいインクタンクをご用意ください。

カラー／ブラックインク：マーク (B) を確認し、マークが表示されていない場合は、印刷するのに十分なインクが残っています。❗が表示されているインクが少なくなっています。新しいインクタンクをご用意ください。

重要

- クリアインクが完全になくなると、普通紙に印刷できなくなります。

参考

- 印刷中にメッセージが表示される場合があります。メッセージの内容を確認して必要な対処を行ってください。
- クリアインクがなくなった場合でも、後トレイに写真用紙など、普通紙以外の用紙をセットして印刷することができます。

確認画面の表示方法は以下のとおりです。

Windows

1 プリンタードライバーの設定画面を開く⇒P.74

2 [ユーティリティ] タブの [プリンター状態の確認] ボタンをクリックする

[インク詳細情報] メニューをクリックすると、インク情報を確認することができます。

参考

- 印刷中の場合は、タスクバー上の [Canon (ご使用の製品名)] をクリックして表示させることもできます。
-

Macintosh

1 Canon IJ Printer Utility を開く⇒P.74

2 ポップアップメニューから [インク情報] を選ぶ

[インク詳細情報] ボタンをクリックすると、インク情報を確認することができます。

印刷にかすれやむらがあるときには

印刷結果がかすれたり、色が正しく印刷されないときは、プリントヘッドのノズルが目づまりしている可能性があります。以下の手順に沿って、ノズルチェックパターンを印刷してノズルの状態を確認し、プリントヘッドのクリーニングを行います。

また、罫線がずれるなど印刷結果が思わしくないときは、プリントヘッドの位置調整を行うと状態が改善することがあります。

重要

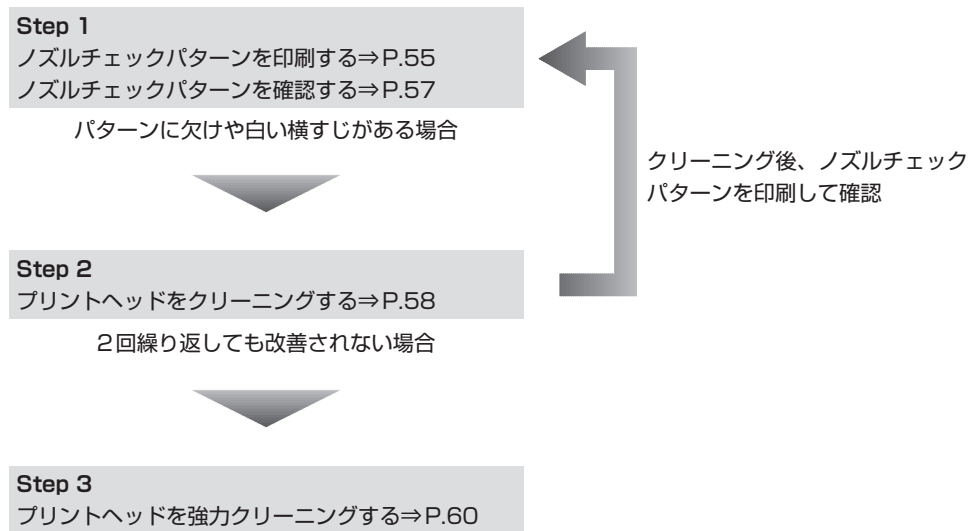
- プリントヘッドやインクタンクを洗浄したり、拭いたりしないでください。プリントヘッドやインクタンクの故障の原因になります。

参考

お手入れを行う前に

- トップカバーを開け、インクランプが赤く点灯していることを確認してください。点滅または消灯しているインクランプがある場合は、「インクの状態を確認する」(P.51)を参照して、必要な操作を行ってください。
- 印刷結果にむらがある場合は、プリンタードライバーからインク品質保持を行うと改善される場合があります。⇒P.65
- プリンタードライバーの印刷品質を上げることで、印刷結果が改善される場合があります。詳しくは『活用ガイド』(電子マニュアル)を参照してください。

印刷がかすれている、むらがある場合：



参考

- Step 3までの操作を行っても症状が改善されない場合は、電源を切って24時間以上経過したあとに、もう一度強力クリーニングを行ってください。それでも改善されない場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。お客様相談センターまたは修理受付窓口にて修理をご依頼ください。⇒P.119

罫線がずれるなど印刷に均一感がない場合：

プリントヘッド位置を調整する⇒P.63

ノズルチェックパターンを印刷する

プリントヘッドのノズルからインクが正しく出ているかを確認するために、ノズルチェックパターンを印刷します。

用意するもの：A4サイズの普通紙1枚

参考

- インク残量が少ないとノズルチェックパターンが正しく印刷されません。インク残量が少ない場合はインクタンクを交換してください。⇒P.44

パソコンを使わずにノズルチェックパターンを印刷する

- ノズルチェックパターンは、本製品のリセットボタンを押して印刷することもできます。

- 電源が入っていることを確認し、カセットにA4サイズの普通紙が1枚以上セットされていることを確認する
- 前トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを引き出す
- リセットボタンを押し続け、電源ランプが緑色に2回点滅したときに離す
ノズルチェックパターンが印刷されます。
印刷が終了するまでほかの操作を行わないでください。
ノズルチェックパターンを確認して、必要な対処をしてください。⇒P.57

Windows

- 電源が入っていることを確認する
- カセットにA4サイズの普通紙が1枚以上セットされていることを確認する

重要

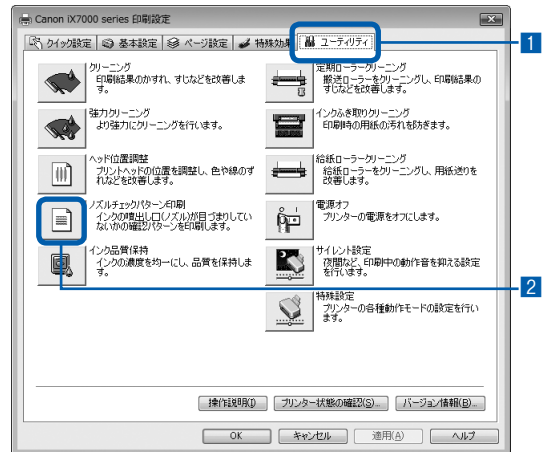
- 前トレイからはノズルチェックパターンの印刷はできません。必ずカセットに用紙をセットしてください。

- 前トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを引き出す

- プリンタードライバーの設定画面を開く⇒P.74

5 ノズルチェックパターンを印刷する

- 【ユーティリティ】タブをクリックする
- 【ノズルチェックパターン印刷】をクリックする



- 表示されたメッセージを確認して、【確認パターン印刷】ボタンをクリックする
ノズルチェックパターンが印刷されます。
印刷が終了するまでほかの操作を行わないでください。

参考

- 【確認事項】ボタンをクリックすると、ノズルチェックパターンを印刷する前の確認事項が表示されます。

- ノズルチェックパターンを確認する
⇒P.57

Macintosh

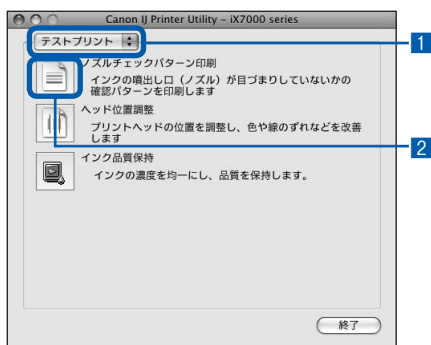
- 1 電源が入っていることを確認する
- 2 カセットにA4サイズの普通紙が1枚以上セットされていることを確認する

重要

- 前トレイからはノズルチェックパターンの印刷はできません。必ずカセットに用紙をセットしてください。

- 3 前トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを引き出す
- 4 Canon IJ Printer Utility(キヤノン・アイジェイ・プリンター・ユーティリティ)を開く⇒P.74
- 5 ノズルチェックパターンを印刷する

- 1 ポップアップメニューから【テストプリント】を選ぶ
- 2 【ノズルチェックパターン印刷】をクリックする



- 3 表示されたメッセージを確認して、【確認パターン印刷】 ボタンをクリックする
ノズルチェックパターンが印刷されます。
印刷が終了するまでほかの操作を行わないでください。

参考

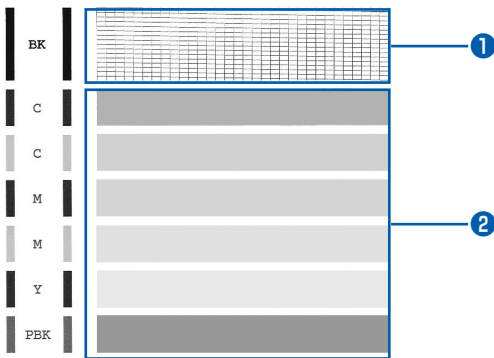
- 【確認事項】 ボタンをクリックすると、ノズルチェックパターンを印刷する前の確認事項が表示されます。

- 6 ノズルチェックパターンを確認する
⇒P.57

ノズルチェックパターンを確認する

ノズルチェックパターンを確認し、必要な場合はクリーニングを行います。

- ①のパターンに欠けがないか、②のパターンに白い横すじが入っていないかを確認する



①部分に欠けがある場合

ブラック (BK) インクタンクのクリーニングが必要



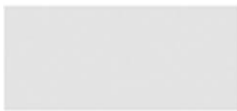
(欠けがない場合)
⇒クリーニング不要



(欠けがある場合)
⇒クリーニングが必要

②部分に白い横すじがある場合

カラー (C、M、Y、PBK) インクタンクのクリーニングが必要



(白い横すじがない場合)
⇒クリーニング不要



(白い横すじがある場合)
⇒クリーニングが必要

①部分に欠けがあり、②部分にも白い横すじがある場合

全色一括のインクタンクのクリーニングが必要

2 必要な対処をとる

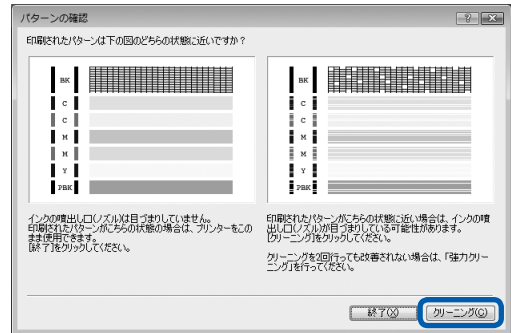
クリーニングが不要な場合

[パターンの確認] ダイアログで [終了] ボタンをクリックしてノズルチェックパターンの確認を終了します。

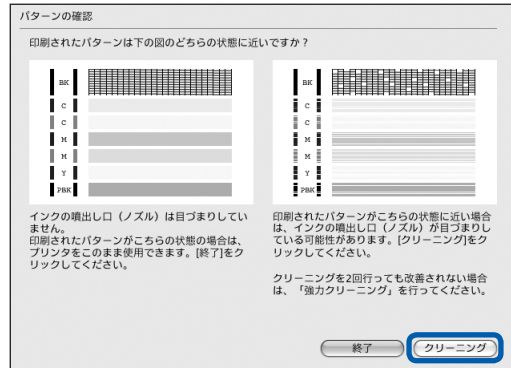
クリーニングが必要な場合

- 1 [クリーニング] ボタンをクリックする

Windows



Macintosh



2 カセットにA4サイズの普通紙が1枚以上セットされていることを確認する

以降は、次の「プリントヘッドをクリーニングする」(Windowsの場合はP.58、Macintoshの場合はP.59) の手順5の③に進んでください。

参考

- 巻末の「ヒント集」にノズルチェックパターンの良い例、悪い例がカラーで掲載されています。そちらもあわせて参照してください。

プリントヘッドをクリーニングする

ノズルチェックパターンに欠けや白い横すじがある場合は、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。ノズルのつまりを解消し、プリントヘッドを良好な状態にします。インクを消耗しますので、クリーニングは必要な場合のみ行ってください。

用意するもの：A4サイズの普通紙1枚

参考

パソコンを使わずにクリーニングする

• プリントヘッドを全色一括でクリーニングするときは、本製品のリセットボタンを押して行うこともできます。

- 1 電源が入っていることを確認する
- 2 リセットボタンを押し続け、電源ランプが緑色に1回点滅したときに離す
プリントヘッドのクリーニングが開始されます。電源ランプが点滅したあと緑色に点灯すると、クリーニングが終了します。クリーニングが終わったら、ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの状態を確認してください。⇒P.55

Windows

ノズルチェックパターンを印刷したあとに表示される「パターンの確認」ダイアログ（⇒P.57）で「クリーニング」ボタンをクリックした場合は、プリントヘッドのクリーニングが開始されます。カセットにA4サイズの普通紙が1枚以上セットされていることを確認して、手順5の3から行ってください。

1 電源が入っていることを確認する

2 カセットにA4サイズの普通紙が1枚以上セットされていることを確認する

重要

- 前トレイからは、クリーニング終了後にノズルチェックパターンの印刷はできません。必ずカセットに用紙をセットしてください。

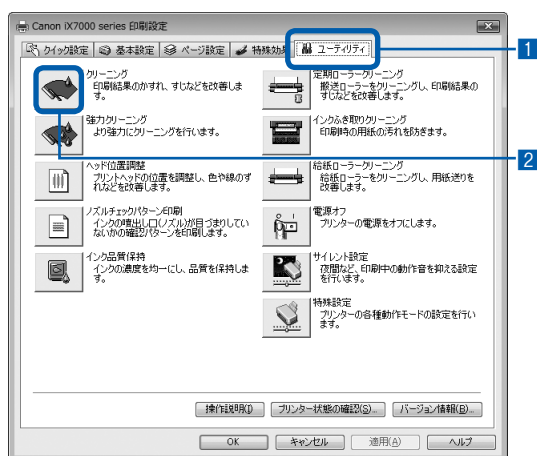
3 前トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを引き出す

4 プリンタードライバーの設定画面を開く⇒P.74

5 プリントヘッドをクリーニングする

1 [ユーティリティ] タブをクリックする

2 [クリーニング] をクリックする



3 クリーニングするインクのグループを選ぶ

参考

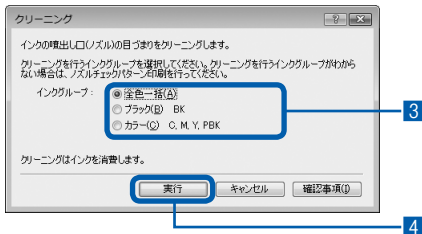
- ブラックインクには、BKとPBKの2種類のインクがあります。ノズルチェックパターンを確認し、BKの部分に欠けがある場合は「ブラック」、PBKの部分に白いすじがある場合は「カラー」を選んでください。
ノズルチェックパターンについては、「ノズルチェックパターンを確認する」（P.57）を参照してください。

4 [実行] ボタンをクリックする

電源ランプが緑色に点滅するとプリントヘッドのクリーニングが開始されます。クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。終了まで約1分かかります。

参考

- [確認事項] ボタンをクリックすると、クリーニングを行う前の確認事項が表示されます。

**5 表示されたメッセージを確認して、[確認パターン印刷] ボタンをクリックする**

ノズルチェックパターンが印刷されます。ノズルチェックパターンの印刷が終了するまで、ほかの操作を行わないでください。

6 ノズルチェックパターンを確認する ⇒P.57**参考**

- クリーニングを2回繰り返しても改善されないときは、強力クリーニングを行ってください。⇒P.60

Macintosh

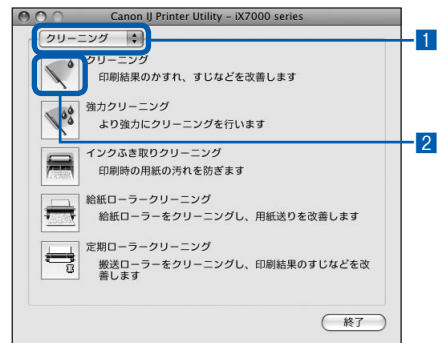
ノズルチェックパターンを印刷したあとに表示される [パターンの確認] ダイアログ (⇒P.57) で [クリーニング] ボタンをクリックした場合は、プリントヘッドのクリーニングが開始されます。カセットにA4サイズの普通紙が1枚以上セットされていることを確認して、手順5の**3**から行ってください。

1 電源が入っていることを確認する**2 カセットにA4サイズの普通紙が1枚以上セットされていることを確認する****重要**

- 前トレイからは、クリーニング終了後にノズルチェックパターンの印刷はできません。必ずカセットに用紙をセットしてください。

3 前トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを引き出す**4 Canon IJ Printer Utilityを開く ⇒P.74****5 プリントヘッドをクリーニングする**

- 1** ポップアップメニューに [クリーニング] が表示されていることを確認する
- 2** [クリーニング] をクリックする



3 クリーニングするインクのグループを選ぶ

参考

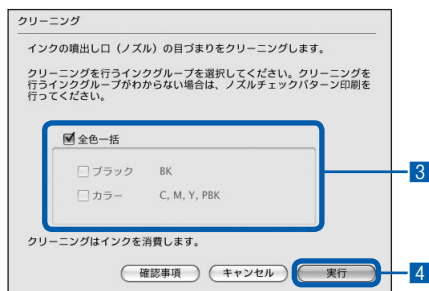
- ブラックインクには、BKとPBKの2種類のインクがあります。ノズルチェックパターンを確認し、BKの部分に欠けがある場合は「ブラック」、PBKの部分に白いすじがある場合は「カラー」を選んでください。
ノズルチェックパターンについては、「ノズルチェックパターンを確認する」(P.57)を参照してください。

4 [実行] ボタンをクリックする

電源ランプが緑色に点滅するとプリントヘッドのクリーニングが開始されます。クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。終了まで約1分かかります。

参考

- [確認事項] ボタンをクリックすると、クリーニングを行う前の確認事項が表示されます。



5 表示されたメッセージを確認して、[確認パターン印刷] ボタンをクリックする

ノズルチェックパターンが印刷されます。ノズルチェックパターンの印刷が終了するまで、ほかの操作を行わないでください。

6 ノズルチェックパターンを確認する ⇒P.57

参考

- クリーニングを2回繰り返しても改善されないときは、強力クリーニングを行ってください。⇒P.60

プリントヘッドを強力クリーニングする

プリントヘッドのクリーニングを行っても効果がない場合は、強力クリーニングを行ってください。強力クリーニングは、通常のクリーニングよりインクを消耗しますので、必要な場合のみ行ってください。

用意するもの：A4サイズの普通紙1枚

Windows

1 電源が入っていることを確認する

2 カセットにA4サイズの普通紙が1枚以上セットされていることを確認する

重要

- 前トレイからは、クリーニング終了後にノズルチェックパターンの印刷はできません。必ずカセットに用紙をセットしてください。

3 前トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを引き出す

4 プリンタードライバーの設定画面を開く⇒P.74

5 プリントヘッドを強力クリーニングする

- 1 [ユーティリティ] タブをクリックする
- 2 [強力クリーニング] をクリックする



- 3 強力クリーニングするインクのグループを選ぶ

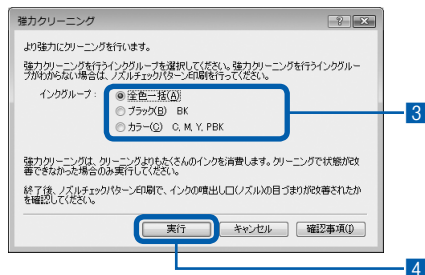
参考

- ブラックインクには、BKとPBKの2種類のインクがあります。ノズルチェックパターンを確認し、BKの部分に欠けがある場合は[ブラック]、PBKの部分に白いすじがある場合は[カラー]を選んでください。
ノズルチェックパターンについては、「ノズルチェックパターンを確認する」(P.57)を参照してください。

- 4 [実行] ボタンをクリックする

参考

- [確認事項] ボタンをクリックすると、強力クリーニングを行う前の確認事項が表示されます。



- 5 表示されたメッセージを確認して、[OK] ボタンをクリックする

電源ランプが緑色に点滅するとプリントヘッドの強力クリーニングが開始されます。強力クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。終了まで約2分かかります。

- 6 表示されたメッセージを確認して、[確認パターン印刷] ボタンをクリックする

ノズルチェックパターンが印刷されます。ノズルチェックパターンの印刷が終了するまで、ほかの操作を行わないでください。

- 6 ノズルチェックパターンを確認する
⇒P.57の手順1

特定の色だけが印刷されない場合は、そのインクタンクを交換します。インクタンクの交換については、「カラー/ブラックインクタンクを交換する」(P.44)を参照してください。

改善されない場合は、トップカバーを開け、インクタンクにインクが残っていることを確認し、本製品の電源を切って24時間以上経過したあとに、もう一度強力クリーニングを行います。

それでも改善されない場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。お客様相談センターまたは修理受付窓口へ修理をご依頼ください。
⇒P.119

Macintosh

- 1 電源が入っていることを確認する

- 2 カセットにA4サイズの普通紙が1枚以上セットされていることを確認する

重要

- 前トレイからは、クリーニング終了後にノズルチェックパターンの印刷はできません。必ずカセットに用紙をセットしてください。

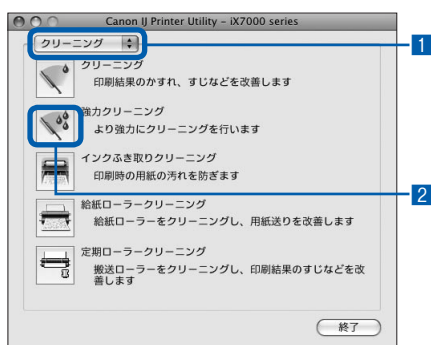
3 前トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを引き出す

4 Canon IJ Printer Utility を開く ⇒P.74

5 プリントヘッドを強力クリーニングする

1 ポップアップメニューに [クリーニング] が表示されていることを確認する

2 [強力クリーニング] をクリックする



3 強力クリーニングするインクのグループを選ぶ

参考

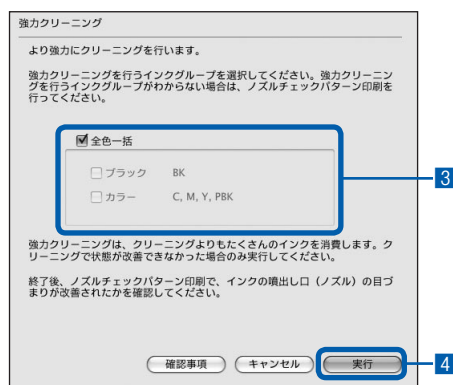
- ブラックインクには、BKとPBKの2種類のインクがあります。ノズルチェックパターンを確認し、BKの部分に欠けがある場合は [ブラック]、PBKの部分に白いすじがある場合は [カラー] を選んでください。
ノズルチェックパターンについては、「ノズルチェックパターンを確認する」(P.57) を参照してください。

4 [実行] ボタンをクリックする

電源ランプが緑色に点滅するとプリントヘッドの強力クリーニングが開始されます。強力クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。終了まで約2分かかります。

参考

- [確認事項] ボタンをクリックすると、強力クリーニングを行う前の確認事項が表示されます。



5 表示されたメッセージを確認して、[確認パターン印刷] ボタンをクリックする ノズルチェックパターンが印刷されます。 ノズルチェックパターンの印刷が終了するまで、ほかの操作を行わないでください。

6 ノズルチェックパターンを確認して、[パターンの確認] ダイアログで [終了] ボタンをクリックする ⇒P.57の手順 1

特定の色だけが印刷されない場合は、そのインクタンクを交換します。インクタンクの交換については、「カラー／ブラックインクタンクを交換する」(P.44) を参照してください。

改善されない場合は、トップカバーを開け、インクタンクにインクが残っていることを確認し、本製品の電源を切って24時間以上経過したあとに、もう一度強力クリーニングを行います。

それでも改善されない場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。
⇒P.119

プリントヘッド位置を調整する

罫線がずれるなど、印刷結果に均一感が見られないときには、プリントヘッド位置を調整します。

用意するもの：A4サイズの普通紙2枚

参考

- インク残量が少ないとプリントヘッド位置調整パターンが正しく印刷されません。インク残量が少ない場合はインクタンクを交換してください。⇒ P.44
- プリントヘッド位置調整パターンは黒と青で印刷されます。

パソコンを使わずに調整する

- プリントヘッド位置の調整は、本製品のリセットボタンを押して行うこともできます。

- 電源が入っていることを確認し、カセットにA4サイズの普通紙が2枚以上セットされていることを確認する
- 前トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを引き出す
- リセットボタンを押し続け、電源ランプが緑色に4回点滅したときに離す
プリントヘッド位置調整パターンが印刷され、ヘッド位置が自動的に調整されます。印刷が終了するまでほかの操作を行わないでください。

Windows

- 電源が入っていることを確認する
- カセットにA4サイズの普通紙が2枚以上セットされていることを確認する

重要

- 前トレイからはプリントヘッドの位置調整はできません。必ずカセットに用紙をセットしてください。

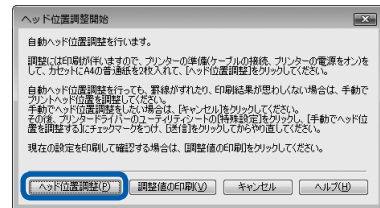
- 前トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを引き出す
- プリンタードライバーの設定画面を開く⇒P.74

5 プリントヘッド位置を調整する

- [ユーティリティ] タブをクリックする
- [ヘッド位置調整] をクリックする



- 表示されたメッセージを確認して、[ヘッド位置調整] ボタンをクリックする



プリントヘッド位置調整パターンが印刷され、ヘッド位置が自動的に調整されます。印刷が終了するまでほかの操作を行わないでください。印刷が終了するまでに約6分かかります。

参考

- 自動調整が正しく行えなかった場合は、エラーランプが点滅します。「プリンターのエラーランプがオレンジ色に点滅している」の「11回 自動ヘッド位置調整に失敗した」(P.82)を参照してください。
- 記載の手順でヘッド位置調整を行っても印刷結果が思わしくない場合は、『活用ガイド』(電子マニュアル)を参照して、手動ヘッド位置調整を行ってください。
- [調整値の印刷] を選ぶと、現在の設定を印刷して確認することができます。

Macintosh

1 電源が入っていることを確認する

2 カセットにA4サイズの普通紙が2枚以上セットされていることを確認する

重要

- 前トレイからはプリントヘッドの位置調整はできません。必ずカセットに用紙をセットしてください。

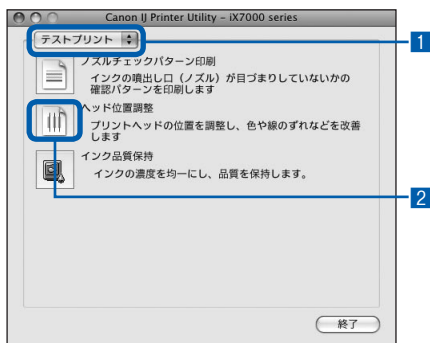
3 前トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを引き出す

4 Canon IJ Printer Utility を開く ⇒ P.74

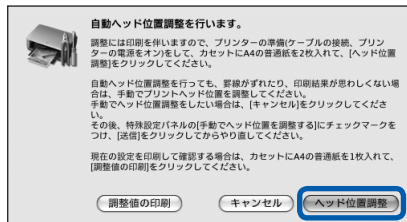
5 プリントヘッド位置を調整する

1 ポップアップメニューから [テストプリント] を選ぶ

2 [ヘッド位置調整] をクリックする



3 表示されたメッセージを確認して、[ヘッド位置調整] ボタンをクリックする



プリントヘッド位置調整パターンが印刷され、ヘッド位置が自動的に調整されます。印刷が終了するまでほかの操作を行わないでください。印刷が終了するまでに約6分かかります。

参考

- 自動調整が正しく行えなかった場合は、エラーランプが点滅します。「プリンターのエラーランプがオレンジ色に点滅している」の「1」回「自動ヘッド位置調整に失敗した」(P.82)を参照してください。
- 記載の手順でヘッド位置調整を行っても印刷結果が思わしくない場合は、『活用ガイド』(電子マニュアル)を参照して、手動ヘッド位置調整を行ってください。
- [調整値の印刷] を選ぶと、現在の設定を印刷して確認することができます。

インクの品質を保持する

本製品は、インクの濃度を均一に保つため、定期的に自動でインクをかき混ぜる設定になっています。

ただし、自動でインクをかき混ぜる設定をオフにした場合や、印刷結果を見て、インクの濃度にむらがある場合は、以下の操作にしたがって、手動でインクをかき混ぜてください。

参考

- 自動でインクをかき混ぜる設定をオフにする操作については、『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

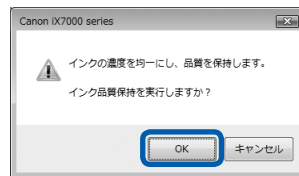
Windows

- 1 電源が入っていることを確認する
- 2 プリンタードライバーの設定画面を開く⇒P.74
- 3 インクをかき混ぜる

- 1 [ユーティリティ] タブをクリックする
- 2 [インク品質保持] をクリックする



- 3 表示されたメッセージを確認して、[OK] ボタンをクリックする



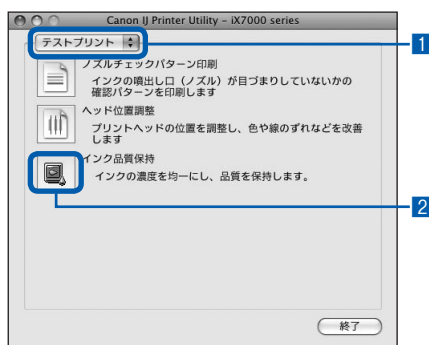
約10秒～2分間本製品が振動し、インクをかき混ぜます。

本製品の動作中（電源ランプが緑色に点滅中）は、トップカバーを開けないでください。

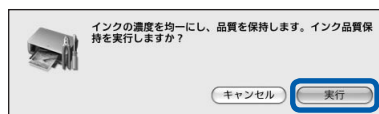
Macintosh

- 1 電源が入っていることを確認する
- 2 Canon IJ Printer Utilityを開く⇒P.74
- 3 インクをかき混ぜる

- 1 ポップアップメニューから [テストプリント] を選ぶ
- 2 [インク品質保持] をクリックする



- 3 表示されたメッセージを確認して、[実行] ボタンをクリックする



約10秒～2分間本製品が振動し、インクをかき混ぜます。

本製品の動作中（電源ランプが緑色に点滅中）は、トップカバーを開けないでください。

給紙ローラーをクリーニングする

給紙ローラーに紙粉や汚れがつくと、用紙がうまく送られないことがあります。そのような場合は、給紙ローラーのクリーニングを行います。給紙ローラーのクリーニングは給紙ローラーが磨耗しますので、必要な場合のみ行ってください。

用意するもの：A4サイズの普通紙3枚

Windows

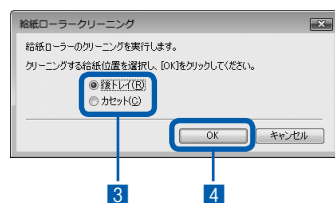
- 1 電源が入っていることを確認する
- 2 前トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを引き出す
- 3 プリンタードライバーの設定画面を開く⇒P.74
- 4 給紙ローラークリーニングを選ぶ

- 1 [ユーティリティ] タブをクリックする
- 2 [給紙ローラークリーニング] をクリックする



- 3 クリーニングする給紙箇所（[後トレイ] または [カセット]）を選ぶ

- 4 [OK] ボタンをクリックする



- 5 用紙を使用せずに給紙ローラーをクリーニングする

- 1 メッセージにしたがって手順4の3で選んだ給紙箇所にセットされている用紙をすべて取り除く
- 2 [OK] ボタンをクリックする
給紙ローラーが回転してクリーニングが開始されます。

- 6 用紙を使用して給紙ローラーをクリーニングする

- 1 給紙ローラーの回転が停止したことを確認し、メッセージにしたがって手順4の3で選んだ給紙箇所に、A4サイズの普通紙を3枚セットする

参考

- ・前トレイからはクリーニング用の給紙はできません。必ずカセットが後トレイに用紙をセットしてください。

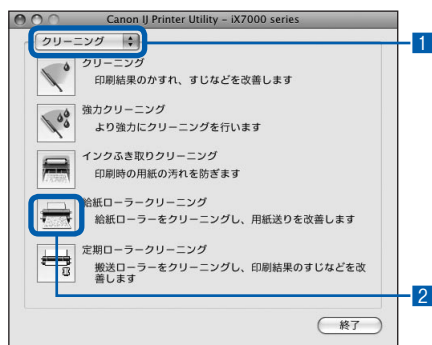
- 2 [OK] ボタンをクリックする
クリーニングが開始されます。用紙が排出されるとクリーニングが終了します。給紙ローラークリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。
- 3 完了のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックする

上記の操作を行っても改善されない場合は、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。⇒P.119

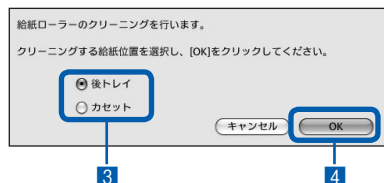
Macintosh

- 1 電源が入っていることを確認する
- 2 前トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを引き出す
- 3 Canon IJ Printer Utilityを開く
⇒P.74
- 4 給紙ローラークリーニングを選ぶ

- 1 ポップアップメニューに【クリーニング】が表示されていることを確認する
- 2 【給紙ローラークリーニング】をクリックする



- 3 クリーニングする給紙箇所（[後トレイ] または [カセット]）を選ぶ
- 4 【OK】 ボタンをクリックする



5 用紙を使用せずに給紙ローラーをクリーニングする

- 1 メッセージにしたがって手順4の3で選んだ給紙箇所にセットされている用紙をすべて取り除く
- 2 【実行】 ボタンをクリックする
給紙ローラーが回転してクリーニングが開始されます。

6 用紙を使用して給紙ローラーをクリーニングする

- 1 給紙ローラーの回転が停止したことを確認し、メッセージにしたがって手順4の3で選んだ給紙箇所に、A4サイズの普通紙を3枚セットする

参考

- 前トレイからはクリーニング用の給紙はできません。必ずカセットが後トレイに用紙をセットしてください。

- 2 【実行】 ボタンをクリックする
クリーニングが開始されます。用紙が排出されるとクリーニングが終了します。給紙ローラークリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。

上記の操作を行っても改善されない場合は、お客様相談センターまたは修理受付窓口にて修理をご依頼ください。⇒P.119

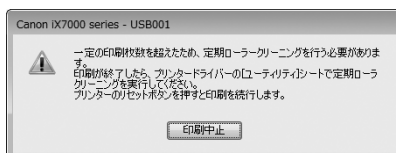
搬送ローラーをクリーニングする(定期ローラークリーニング)

以下のメッセージが表示された場合は、なるべく早く定期ローラークリーニングを行い、搬送ローラーをクリーニングしてください。

用意するもの：クリーニングシート（本製品に付属）1枚

重要

- メッセージ画面が表示されるまでは、定期ローラークリーニングを行う必要はありません。



参考

- 搬送ローラーの清掃を知らせるメッセージが表示された後も印刷は行えますが、搬送ローラーが汚れていると、印刷した用紙が汚れたり、印刷結果に問題が出る場合があります。なるべく早く定期ローラークリーニングを行うことをお勧めします。
- クリーニングシートはカセットの下に収納できます。詳しくは「クリーニングシートの収納と取り出し」(P.72)を参照してください。

定期ローラークリーニングの操作

重要

- 定期ローラークリーニングは、後トレイから専用のクリーニングシートを給紙して行います。
- 定期ローラークリーニング中はほかの操作をしないでください。

Windows

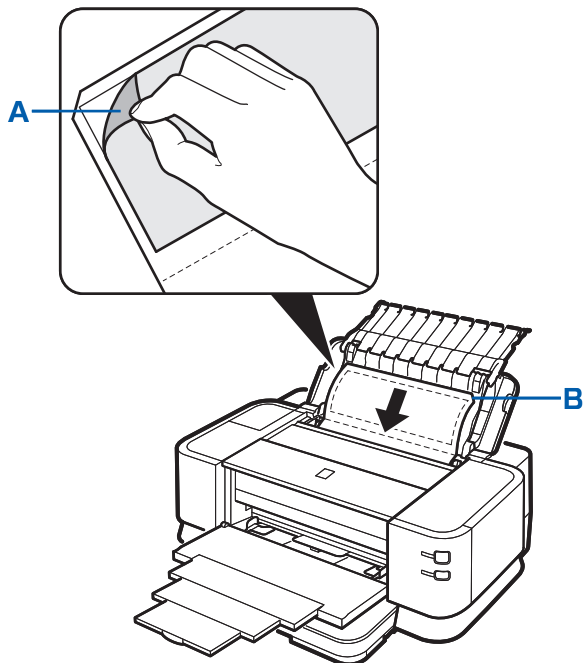
- 1 電源が入っていることを確認し、後トレイにセットされている用紙を取り除く
- 2 クリーニングシートを用意する ⇒ P.72
クリーニングシートを1枚取り出します。
- 3 前トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを引き出す

参考

- 前トレイ上に用紙がある場合は取り除いてください。

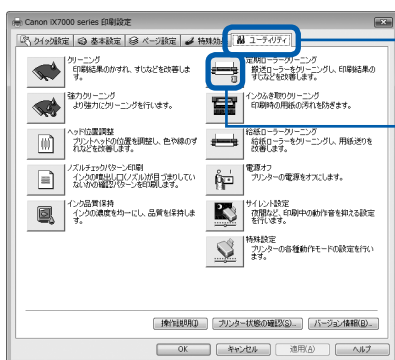
4 クリーニングシートの保護テープ(A)をはがし、粘着面が裏になるように後トレイにセットする

切り欠き (B) が右上になるようにセットしてください。

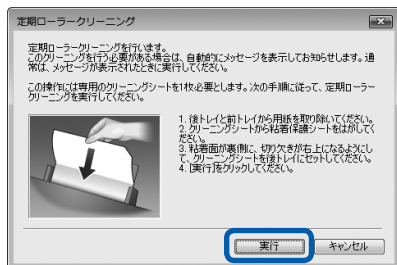


5 プリンタードライバーの設定画面を開く ⇒ P.74

6 定期ローラークリーニングを行う



- 1 [ユーティリティ] タブをクリックする
- 2 [定期ローラークリーニング] をクリックする



3 【実行】 をクリックする

重要

- 使用済みのクリーニングシートはすぐに捨ててください。排出されたクリーニングシートには、汚れが付着していますので衣服や周囲を汚さないよう、取り扱いには十分に注意してください。

Macintosh

1 電源が入っていることを確認し、後トレイにセットされている用紙を取り除く

2 クリーニングシートを用意する ⇒ P.72

クリーニングシートを1枚取り出します。

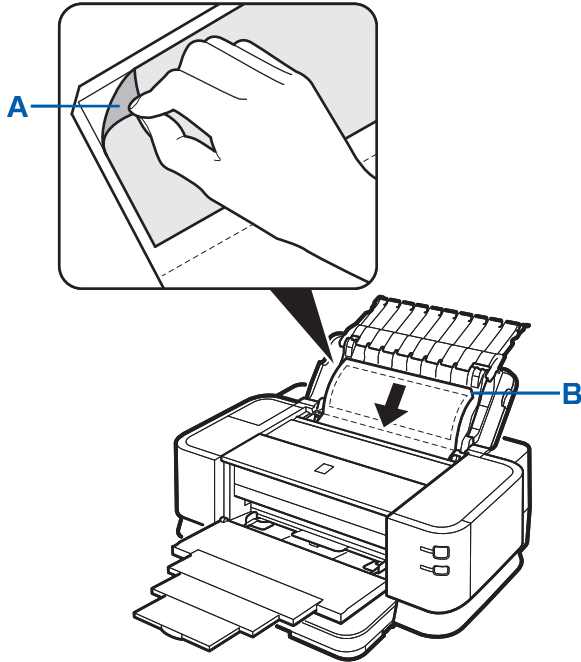
3 前トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを引き出す

参考

- 前トレイ上に印刷した用紙がある場合は取り除いてください。

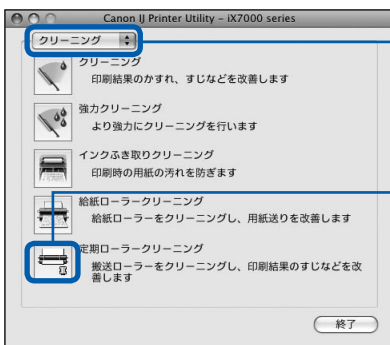
4 クリーニングシートの保護テープ(A)をはがし、粘着面が裏になるように後トレイにセットする

切り欠き (B) が右上になるようにセットしてください。



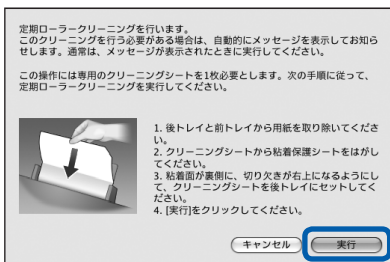
5 Canon IJ Printer Utility を開く ⇒ P.74

6 定期ローラークリーニングを行う



1 ポップアップメニューに [クリーニング] が表示されていることを確認する

2 [定期ローラークリーニング] をクリックする



3 [実行] をクリックする

重要

- 使用済みのクリーニングシートはすぐに捨ててください。排出されたクリーニングシートには、汚れが付着していますので衣服や周囲を汚さないよう、取り扱いには十分に注意してください。

クリーニングシートの収納と取り出し

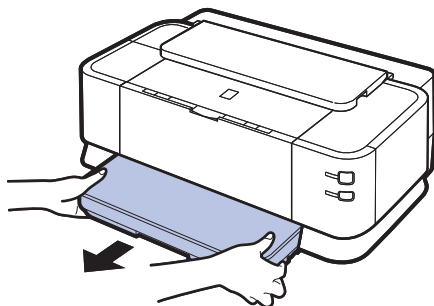
クリーニングシートは、本製品に5枚付属しています。
このクリーニングシートは、カセットの下にパッケージごと収納しておくことができます。

参考

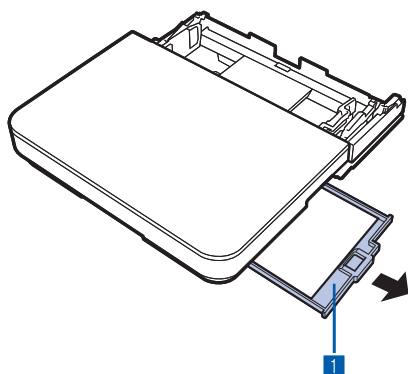
- クリーニングシートがなくなった場合は、お客様相談センターにお問い合わせください。⇒P.119

1 カセットを取り外す

両手でカセットを止まる位置までゆっくり引き出し、手前を少し持ち上げて取り外します。



2 クリーニングシートの収納／取り出しを行う



- 1 カセットからクリーニングシートホルダーを引き出す
- 2 クリーニングシートの収納／取り出しを行う

参考

- クリーニングシートは、ご購入時はカセットに収納されていません。
- 使用しないクリーニングシートは、シートの入っているパッケージに戻し、密封して収納してください。

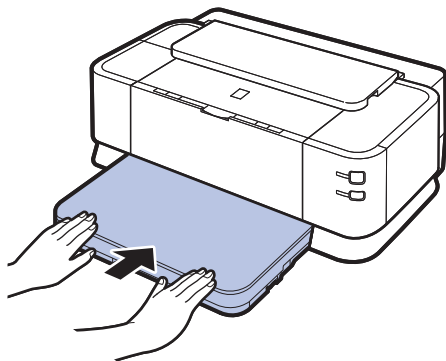
- 3 クリーニングシートホルダーを閉じる

3 カセットを本体に差し込む

奥に突き当たるまでまっすぐ押し込んでください。

参 考

- カセットが正しく差し込まれていないと、エラーが発生し、印刷できなくなります。カセットが奥まで差し込まれていることを確認してください。



メンテナンス画面を表示する

本製品のメンテナンス操作は、プリンタードライバの設定画面（Windows）やCanon IJ Printer Utility画面（Macintosh）を表示して行います。

プリンタードライバの設定画面を表示する（Windows）

参考

- 本製品の電源が入っており、本製品とパソコンが接続されていることを確認してください。

1 [コントロール パネル]から[ハードウェアとサウンド]の[プリンタ]を選ぶ

Windows XPをご使用の場合

[コントロール パネル] から [プリンタとその他のハードウェア] → [プリンタとFAX] の順に選びます。

Windows 2000をご使用の場合

[コントロール パネル] から [プリンタ] をダブルクリックします。

2 [Canon（ご使用の製品名）]アイコンを右クリックし、[印刷設定]を選ぶ

プリンタードライバの設定画面が表示されます。

参考

- プリンタードライバの設定画面は、ご使用のアプリケーションソフトやデスクトップ上のマイ プリンタから開くこともできます。
⇒『活用ガイド』（電子マニュアル）



Canon IJ Printer Utility 画面を表示する（Macintosh）

参考

- 本製品の電源が入っており、本製品とパソコンが接続されていることを確認してください。

Mac OS X v.10.5.xをご使用の場合

1 [システム環境設定]を開き、[プリントとファクス]を選ぶ

2 [プリンタ]からご使用の製品名を選び、[プリントキューを開く]をクリックする

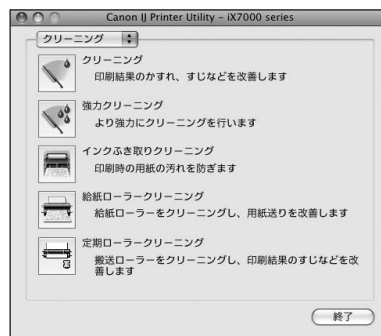
プリンタのジョブ一覧が表示されます。

3 [ユーティリティ]をクリックする

プリンタリストダイアログが表示されます。

4 [製品]からご使用の製品名を選び、[メンテナンス]ボタンをクリックする

Canon IJ Printer Utilityが起動します。



参 考**Mac OS X v.10.4.xまたはMac OS X v.10.3.9をご使用の場合**

- Canon IJ Printer Utilityの表示方法は以下のとおりです。

- 1 [移動] メニューから [アプリケーション] を選ぶ
- 2 [ユーティリティ] フォルダー→ [プリンタ設定ユーティリティ] の順にダブルクリックしてプリンタリストを開く
- 3 [名前] から本製品を選んで [ユーティリティ] をクリックする
- 4 [製品] から本製品を選んで [メンテナンス] ボタンをクリックする

Canon IJ Printer Utilityが起動します。



詳しくは『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

困ったときには

本製品を使用中にトラブルが発生したときは、ここでの対処方法を参照してください。

ここでは発生しやすいトラブルを中心に説明しています。該当するトラブルが見つからないときには、『活用ガイド』（電子マニュアル）をあわせて参照してください。

⇒ 『活用ガイド』（電子マニュアル）について』（P.24）

- エラーが発生したときは P.78
- 電源が入らない P.78
- プリンターのエラーランプがオレンジ色に点滅している P.79
- プリンターの電源ランプとエラーランプが交互に点滅している P.86
- プリンタードライバーがインストールできない P.86
- 印刷速度が遅い／Hi-Speed USBとして動作しない／ 「さらに高速で実行できるデバイス」などの警告文が画面に表示される P.88
- 本製品が振動している／本製品を使用していないのに動作音がする ... P.88
- 印刷結果に満足できない P.89
- 印刷が始まらない P.96
- 印刷が中止されて印刷途中の用紙や白紙が排出される P.99
- 動作はするがインクが出ない P.99
- プrintヘッドホルダーが交換位置に移動しない P.99
- 用紙がうまく送られない P.100
-  プリンタードライバーで選んだ給紙箇所から用紙がうまく送られない P.101
- 用紙がつまった P.102
- パソコンの画面にメッセージが表示されている P.110

エラーが発生したときは

印刷中に用紙がなくなったり、紙づまりなどのトラブルが発生すると、自動的にトラブルの対処方法を示すエラーメッセージが表示されます。この場合は、表示された対処方法にしたがって操作してください。

Windows



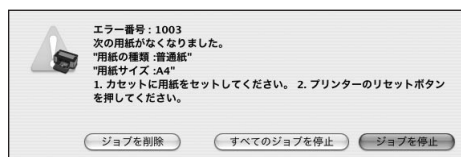
Macintosh

Mac OS X v.10.5.x をご使用の場合



Mac OS X v.10.4.x または

Mac OS X v.10.3.9 をご使用の場合



電源が入らない

チェック 1 電源ボタンを押してみてください

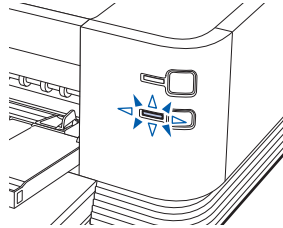
チェック 2 本製品と電源コードがしっかりと接続されているかを確認し、電源を入れ直してください

チェック 3 電源プラグをコンセントから抜き、10分以上たってから、電源プラグをコンセントにつないで本製品の電源を入れ直してください

それでも回復しない場合は、お客様相談センターまたは修理受付窓口にて修理をご依頼ください。
⇒「お問い合わせの前に」(P. 119)

プリンターのエラーランプがオレンジ色に点滅している

本製品にエラーが起きると、エラーランプ（オレンジ色）が点滅します。エラーランプの点滅回数を確認し、エラーの対処をしてください。



この点滅回数を数える

エラーランプ
(オレンジ色)



繰り返す

参考

電源ランプが点滅しているときは

- 本製品を使用していないのに電源ランプが点滅している場合は、内部でインクをかき混ぜています。約10秒～2分ほどかかります。
⇒「本製品が振動している／本製品を使用していないのに動作音がする」(P.88)

点滅状態／原因	対処方法
<p>2回 用紙がない／給紙できない</p>	<p>後トレイまたはカセット、前トレイの手差し給紙口に用紙をセットして、本製品のリセットボタンを押してください。</p> <p>参 考</p> <ul style="list-style-type: none"> • 普通紙に印刷するときは、カセットまたは前トレイの手差し給紙口に用紙をセットしてください。セット方法については、「用紙をセットする」(P.28)を参照してください。
<p>3回 前トレイが閉じている／前トレイの手差し給紙口に用紙が残っている／紙づまり</p>	<p>前トレイが閉じている場合は、前トレイを開いてください。印刷を再開します。カセット給紙印刷時に前トレイの手差し給紙口に用紙がセットされている場合は、前トレイから用紙を取り除いて、本製品のリセットボタンを押してください。</p> <p>前トレイを開いてもエラーが解除されない場合、前トレイが開いている場合、または前トレイから用紙を取り除いてもエラーが解除されない場合は、用紙がつまっている可能性があります。つまった用紙を取り除き、用紙を正しくセットして本製品のリセットボタンを押してください。</p> <p>⇒「用紙がつまった」(P.102)</p>
<p>4回 インクタンクが正しくセットされていない／クリアインクタンクが空になった／インクがなくなった可能性がある</p>	<ul style="list-style-type: none"> • インクタンクが正しくセットされていません（インクランプが消灯しています）。正しいインクタンクをセットしてください。 • クリアインクタンクが空になりました。クリアインクタンクを新しいものに交換することをお勧めします。 ⇒「インクタンクを交換する」(P.44) 印刷が終了していない場合は、本製品のリセットボタンを押すと、印刷を続けることができます。印刷が終了したらクリアインクタンクを交換することをお勧めします。 クリアインクが完全になくなると、普通紙の印刷ができなくなります。 • インクがなくなった可能性があります（インクランプが点滅しています）。印刷途中の場合は、一旦印刷を中止し、その後インクタンクを交換してから再度印刷することをお勧めします。 ⇒「インクタンクを交換する」(P.44) 印刷が終了していない場合は、インクタンクを取り付けたまま本製品のリセットボタンを押すと、印刷を続けることができます。印刷が終了したらインクタンクを交換することをお勧めします。インク切れの状態でも印刷を続けると、故障の原因となるおそれがあります。 <p>参 考</p> <ul style="list-style-type: none"> • 複数のインクランプが点滅している場合は、「インクの状態を確認する」(P.51)を参照して、インクタンクの状態を確認してください。

点滅状態／原因	対処方法
5回 プリントヘッドが取り付けられていない／プリントヘッドの不良	<p>『かんたんスタートガイド』の説明にしたがってプリントヘッドを取り付けてください。</p> <p>プリントヘッドが取り付けられている場合は、プリントヘッドをいったん取り外し、取り付け直してください。</p> <p>それでもエラーが解決されないときには、プリントヘッドが故障している可能性もあります。お客様相談センターまたは修理受付窓口にて修理をご依頼ください。</p> <p>⇒「お問い合わせの前に」(P.119)</p>
6回 前トレイの手差し給紙口に用紙が正しくセットされていない	<p>用紙を正しい位置にセットし直して、本製品のリセットボタンを押してください。</p>
7回 インクタンクが正しい位置にセットされていない	<ul style="list-style-type: none"> 正しい位置にセットされていないインクタンクがあります（インクランプが点滅しています）。 同じ色のインクタンクが複数セットされています（インクランプが点滅しています）。 <p>各色のインクタンクの取り付け位置に、正しいインクタンクがセットされていることを確認してください。</p> <p>⇒「インクタンクを交換する」(P.44)</p>
8回 インク吸収体が満杯になりそう	<p>インク吸収体が満杯に近づいています。</p> <p>本製品は、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。</p> <p>この状態になった場合、本製品のリセットボタンを押すと、エラーを解除して印刷が再開できます。満杯になると、印刷できなくなり、インク吸収体の交換が必要になります。お早めに修理受付窓口へ交換をご依頼ください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。</p> <p>⇒「お問い合わせの前に」(P.119)</p>
10回 正しくカセットが正しく装着されていない／両面印刷ができない	<ul style="list-style-type: none"> カセットから印刷するときは、カセットを正しくセットし直して、本製品のリセットボタンを押してください。 自動両面印刷をしている場合、用紙サイズが自動両面印刷に対応していない可能性があります。対応している用紙サイズは、A3／リーガル／11 x 17 (Tabloid)／B4／A4／レター／四切／六切／B5／A5です。本製品にセットした用紙サイズが正しいか確認してください。本製品のリセットボタンを押すと印刷中の用紙を排紙して、次の用紙の表面から印刷を再開します。エラーが起きたときの裏面のデータは印刷されませんのでご注意ください。

点滅状態／原因	対処方法
<p>11回 自動ヘッド位置調整に失敗した／搬送ローラーが汚れている／用紙サイズの設定が印刷する用紙の幅と合っていない</p>	<p>自動ヘッド位置調整をしていた場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ノズルが目づまりしています。 本製品のリセットボタンを押してエラーを解除し、ノズルチェックパターンを印刷してプリントヘッドの状態を確認してください。 ⇒「ノズルチェックパターンを印刷する」(P.55) A4サイズ以外の用紙がセットされています。 本製品のリセットボタンを押してエラーを解除し、A4サイズの普通紙2枚をカセットにセットしてください。自動でヘッド位置調整を行う場合は、必ずカセットに用紙をセットしてください。 本製品の排紙口内に強い光が当たっています。 本製品のリセットボタンを押してエラーを解除し、排紙口内に光が当たらないように調整してください。 <p>上記の対策をとったあと、再度ヘッド位置調整を行ってもエラーが解決されないときには、本製品のリセットボタンを押してエラーを解除したあと、手動でヘッド位置調整を行ってください。 ⇒『活用ガイド』(電子マニュアル)の「手動でプリントヘッド位置を調整する」</p> <p>カセットから給紙していた場合：</p> <p>搬送部のクリーニングの時期になると、印刷中に本製品のエラーランプが11回点滅します。 本製品のリセットボタンを押すと、印刷を続行します。 印刷が終了したら定期ローラークリーニングを行うことをお勧めします。定期ローラークリーニングを行わないと、印刷品質に影響が出るおそれがあります。 ⇒「搬送ローラーをクリーニングする(定期ローラークリーニング)」(P.68)</p> <p>ノズルチェックパターンの印刷／手動ヘッド位置調整をしていた場合：</p> <p>A4サイズ以外の用紙がセットされています。 本製品のリセットボタンを押してエラーを解除し、カセットにA4サイズの普通紙をセットしてから、操作をやり直してください。</p> <p>通常の印刷をしていた場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> 本製品のリセットボタンを押してエラーを解除してください。次に、プリンタードライバーの「ページ設定」シート(Windows)またはページ設定ダイアログ(Macintosh)で「用紙サイズ」の設定を確認し、設定と同じサイズの用紙をセットしてから、印刷し直してください。 設定と同じサイズの用紙をセットしていても、このエラーが発生する場合は、プリンタードライバーで用紙の幅を検知しない設定にしてください。 * 印刷後は「用紙の幅を検知する」のチェックマークを付け、「送信」ボタンをクリックしてください。 <p>Windows</p> <p>「ユーティリティ」シートの「特殊設定」で「用紙の幅を検知する」のチェックマークを外し、「送信」ボタンをクリックしてください。</p> <p>Macintosh</p> <p>Canon IJ Printer Utility (キヤノン・アイジェイ・プリンター・ユーティリティ)の「特殊設定」で「用紙の幅を検知する」のチェックマークを外し、「送信」ボタンをクリックしてください。</p>

点滅状態／原因	対処方法
<p>12回 印刷中にインクタンクを交換した</p>	<p>本製品のリセットボタンを押してエラーを解除してください。印刷が再開されます。</p>
<p>14回 インクタンクが認識できない</p>	<p>本製品がサポートできないインクタンクが取り付けられています（インクランプが消灯しています）。正しいインクタンクを取り付けてください。 ⇒「インクタンクを交換する」(P.44)</p>
<p>15回 インクタンクが認識できない</p>	<p>インクタンクにエラーが発生しました（インクランプが消灯しています）。インクタンクを交換してください。 ⇒「インクタンクを交換する」(P.44)</p>
<p>16回 クリアインクタンクが取り付けられていない／クリアインクがない</p>	<ul style="list-style-type: none"> • クリアインクタンクが取り付けられていません。クリアインクタンクを正しく取り付けてください。 ⇒「インクタンクを交換する」(P.44) • クリアインクがない状態で普通紙の印刷を続けると、印刷品位が著しく低下し、本製品に損傷を与えるおそれがあります。このため、クリアインクタンクを取り付けるまでは普通紙の印刷はできません。 • クリアインクがなくなりました。クリアインクタンクを新しいものに交換してください。 ⇒「インクタンクを交換する」(P.44) • クリアインクがない状態で普通紙の印刷を続けると、印刷品位が著しく低下し、本製品に損傷を与えるおそれがあります。このため、新しいクリアインクタンクに交換するまでは普通紙の印刷はできません。 <p>参 考</p> <ul style="list-style-type: none"> • クリアインクがなくなっても、後トレイから普通紙以外の用紙に印刷することができます。

点滅状態／原因	対処方法
<p>17回 インクがない／インクなしを検知した</p>	<ul style="list-style-type: none"> • BK（ブラックインク）の場合： インクがなくなりました（インクランプが点滅しています）。 印刷途中の場合は、一旦印刷を中止し、その後インクタンクを交換してから再度印刷を開始してください。このまま印刷を続けると本製品に損傷を与えるおそれがあります。 ⇒「インクタンクを交換する」(P.44) 印刷を続けるにはインク残量検知機能を無効にする必要があります。本製品のリセットボタンを5秒以上押してから離してください。 この操作を行うと、インク残量検知機能を無効にしたことを履歴に残します。インク切れの状態です印刷を続けたことが原因の故障についてはキヤノンは責任を負えない場合があります。 <hr/> <p>参 考</p> <ul style="list-style-type: none"> • インク残量検知機能を無効にすると、プリンター状態の確認画面（Windows）またはCanon IJ Printer Utility（Macintosh）でインクの残量が正しく表示されません。 ⇒「インクの状態を確認する」(P.51) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> • PBK（ブラックインク）、Y/M/C（カラーインク）の場合： インクなしを検知しました（インクランプが点滅しています）。 印刷途中の場合は、一旦印刷を中止し、その後インクタンクを交換してから再度印刷を開始してください。 ⇒「インクタンクを交換する」(P.44) インクが混ざるなどの印字不良を防ぐために、インクタンク内のインク残量が品質保持に必要な量を下回るとエラーランプをオレンジ色に17回点滅して印刷を停止する設計になっています。

点減状態／原因	対処方法
<p>18回 インクなしを検知した</p>	<ul style="list-style-type: none"> • BK（ブラックインク）の場合： <p>インクなしを検知しました（インクランプが点減しています）。一旦印刷を中止し、その後インクタンクを交換してから再度印刷を開始してください。</p> <p>⇒「インクタンクを交換する」(P.44)</p> <p>一度空になったインクタンクが取り付けられています。</p> <p>インク切れの状態でも印刷を続けると、本製品に損傷を与えるおそれがあります。</p> <p>印刷を続けるにはインク残量検知機能を無効にする必要があります。無効にする場合は、本製品のリセットボタンを5秒以上押してから離してください。</p> <p>この操作を行うと、インク残量検知機能を無効にしたことを履歴に残します。印刷の続行またはインクの補充が原因の故障についてはキャノンは責任を負いかねます。</p> <hr/> <p>参 考</p> <ul style="list-style-type: none"> • インク残量検知機能を無効にすると、プリンター状態の確認画面（Windows）またはCanon IJ Printer Utility（Macintosh）でインクの残量が正しく表示されません。 <p>⇒「インクの状態を確認する」(P.51)</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> • PBK（ブラックインク）、Y/M/C（カラーインク）の場合： <p>インクなしを検知しました（インクランプが点減しています）。一旦印刷を中止し、その後インクタンクを交換してから再度印刷を開始してください。印刷を再開する前に必ずインクタンクを交換してください。</p> <p>⇒「インクタンクを交換する」(P.44)</p> <p>一度空になったインクタンクが取り付けられています。</p> <p>インク切れの状態でも印刷を続けると、インクが混ざるなどの印字不良や、本製品の故障の原因となるおそれがあります。</p> <p>印刷を続けるにはインク残量検知機能を無効にする必要があります。無効にする場合は、本製品のリセットボタンを5秒以上押してから離してください。</p> <p>この操作を行うと、インク残量検知機能を無効にしたことを履歴に残します。印刷の続行またはインクの補充が原因の故障についてはキャノンは責任を負いかねます。</p> <hr/> <p>参 考</p> <ul style="list-style-type: none"> • インク残量検知機能を無効にすると、プリンター状態の確認画面（Windows）またはCanon IJ Printer Utility（Macintosh）でインクの残量が正しく表示されません。 <p>⇒「インクの状態を確認する」(P.51)</p>

プリンターの電源ランプとエラーランプが交互に点滅している



プリンタートラブルが発生しました。

パソコンと接続しているケーブルを外し、本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、パーソナル機器修理受付センターまたはお近くの修理受付窓口にて修理をご依頼ください。

⇒「お問い合わせの前に」(P.119)

プリンタードライバーがインストールできない

重要

- LAN接続でプリンタードライバーがインストールできない場合は、『ネットワーク設置で困ったときには』も参照してください。


『セットアップCD-ROM』をDVD/CD-ROMドライブに入れてもセットアップが始まらないとき：

Windows

次の手順にしたがってインストールを開始してください。

1 [スタート] メニューから [コンピュータ] を開く

【Windows XP】 [スタート] メニューから [マイ コンピュータ] を開く

【Windows 2000】 デスクトップの  [マイ コンピュータ] アイコンをダブルクリックする

2 開いたウィンドウにある [CD-ROM] アイコンをダブルクリックする

CD-ROMの内容が表示された場合は、[MSETUP4.EXE] をダブルクリックしてください。

Macintosh

画面上に表示された  [CD-ROM] アイコンをダブルクリックする

参考

- CD-ROMのアイコンが表示されない場合は、次のことを試してください。
 - CD-ROMをパソコンから取り出して、再度セットする
 - パソコンを再起動する
- それでも [CD-ROM] アイコンが表示されない場合は、パソコンでほかのCD-ROMを表示できるか確認してください。ほかのCD-ROMが表示できる場合は、『セットアップCD-ROM』に異常があります。キヤノンお客様相談センターにお問い合わせください。
⇒「お問い合わせの前に」(P.119)

【プリンタの接続】画面で止まってしまうとき：



【プリンタの接続】画面から先に進めなくなった場合は、本製品のUSBケーブル接続部とパソコンがUSBケーブルでしっかり接続されていることを確認し、次の手順にしたがってインストールをやり直してください。

参考

- Windows Vistaをご使用の場合、ご使用のパソコンによっては、「プリンタを認識していません。接続を確認してください。」というメッセージが表示されることがあります。その場合は、しばらくお待ちください。しばらく待っても先に進めない場合は、次の操作にしたがってインストールをやり直してください。

- 1 【キャンセル】 ボタンをクリックする
- 2 【インストール失敗】 画面で 【もう一度】 ボタンをクリックする
- 3 表示された画面で 【戻る】 ボタンをクリックする
- 4 【PIXUS XXX】 画面（「XXX」は機種名）で 【終了】 ボタンをクリックし、『セットアップCD-ROM』を取り出す
- 5 本製品の電源を切る
- 6 パソコンを再起動する
- 7 ほかに起動しているアプリケーションソフトがあれば終了する
- 8 再度『セットアップCD-ROM』をセットして、【おまかせインストール】を選んでプリンタードライバーをインストールする

それ以外のとき：

『かんたんスタートガイド』に記載されている手順にしたがい、プリンタードライバーをインストールし直してください。

プリンタードライバーが正しくインストールされなかった場合は、プリンタードライバーを削除し、パソコンを再起動します。そのあとに、プリンタードライバーを再インストールしてください。

⇒ 『活用ガイド』（電子マニュアル）の「不要になったプリンタードライバーを削除する」

プリンタードライバーを再インストールする場合は、『セットアップCD-ROM』で【選んでインストール】から【IJプリンタドライバ】を選んでインストールしてください。

Windows

参考

- Windowsのエラーが原因でインストーラーが強制終了した場合は、Windowsが不安定になっている可能性があり、プリンタードライバーがインストールできなくなることがあります。パソコンを再起動して再インストールしてください。

印刷速度が遅い／Hi-Speed USBとして動作しない／ Windows「さらに高速で実行できるデバイス」などの警告文が画面に表示される

Hi-Speed USBに対応していない環境では、USB 1.1での接続となります。この場合、本製品は正常に動作しますが、通信速度の違いから印刷速度が遅くなることがあります。

チェック ご使用の環境がHi-Speed USBに対応しているか、次の点を確認してください

- パソコンのUSBポートは、Hi-Speed USBに対応していますか。
- USBケーブルとUSBハブは、Hi-Speed USBに対応していますか。
USBケーブルは、必ずHi-Speed USB認証ケーブルをご使用ください。また、長さ3 m以内のものをお勧めします。
- ご使用のパソコンは、Hi-Speed USBに対応した状態ですか。
最新のアップデートを入手して、インストールしてください。
- Hi-Speed USB対応のUSBドライバーが正しく動作していますか。
Hi-Speed USBに対応した最新のHi-Speed USBドライバーを入手して、再インストールしてください。

重要

- それぞれの操作については、ご使用のパソコン、USBケーブル、USBハブのメーカーにご確認ください。

本製品が振動している／本製品を使用していないのに動作音がある

チェック 振動が止まるまでお待ちください

電源ランプが緑色に点滅し、本製品が振動している場合は、内部でインクをかき混ぜています。本製品ではインクの濃度を均一に保つため、定期的に自動でインクをかき混ぜる自動インク品質保持機能が設定されています。インクがかき混ぜられている間、多少の振動や騒音が起こります。故障ではありませんので、電源ランプが点滅から点灯に変わり、振動が止まるまでお待ちください。本製品の動作中（電源ランプが緑色に点滅中）は、トップカバーを開けないでください。なお、深夜などで振動や騒音が気になる場合は、プリンタードライバーで自動インク品質保持機能をオフにすることもできます。

自動インク品質保持機能をオフにした場合は、必ずオンに戻してください。

⇒『活用ガイド』（電子マニュアル）の「本製品の設定を変更する」

重要

- 自動インク品質保持機能は通常オンにしてご使用ください。インク品質保持を週1回程度行わないと、印刷結果に影響が出る場合があります。
- 自動インク品質保持機能をオフにした場合は、週1回程度手動でインク品質保持を実行してください。
⇒「インクの品質を保持する」(P.65)

印刷結果に満足できない

白いすじが入る、罫線がずれる、色むらがあるなど、思ったような印刷結果が得られないときは、まず用紙や印刷品質の設定を確認してください。

チェック 1 セットされている用紙のサイズや種類が、設定と合っていますか

設定と異なるサイズや種類の用紙をセットしていると、正しい結果が得られません。写真やイラストを印刷したときにカラーの発色がよくないことがあります。また、設定と異なる種類の用紙をセットしていると、印刷面がこすれる場合があります。フチなし全面印刷を行う場合、セットした用紙と設定の組み合わせによっては、発色の差が発生する場合があります。用紙や印刷品質の設定を確認する方法は、ご使用の機器によって異なります。

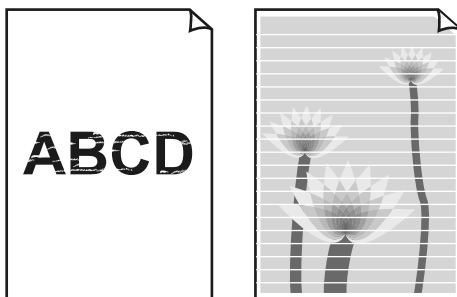
チェック 2 プリンタードライバーで適切な印刷品質が選ばれていることを確認してください

用紙の種類や印刷するデータに応じた印刷品質を選んでください。インクののにじみや色むらが気になる場合は、画質を優先する設定にして印刷してみてください。印刷品質の設定は、プリンタードライバーで確認できます。⇒『活用ガイド』（電子マニュアル）の「印刷品質の変更や画像データの補正」

チェック 3 それでも解決しない場合は、ほかの原因が考えられます

以下の項目もあわせて確認してください。
⇒「白紙のまま排紙される／印刷がかすれる／違う色になる／白いすじが入る」(P.90)
⇒「罫線がずれる」(P.91)
⇒「インクがにじむ／用紙が反る」(P.92)
⇒「印刷面が汚れる／こすれる」(P.92)
⇒「用紙の裏面が汚れる」(P.95)
⇒「色むらや色すじがある」(P.95)

白紙のまま排紙される／印刷がかすれる／違う色になる／白いすじが入る



チェック 1 用紙や印刷品質を確認しましたか

⇒ 「印刷結果に満足できない」 (P.89)

チェック 2 インクタンクの状態を確認し、インクがなくなっている場合は、インクタンクを交換してください

⇒ 「インクタンクを交換する」 (P.44)

チェック 3 ノズルチェックパターンを印刷し、必要に応じてプリントヘッドのクリーニングなどを行ってください

ノズルチェックパターンを印刷して、インクが正常に出ているか確認してください。ノズルチェックパターンの印刷、プリントヘッドのクリーニング、強力クリーニングについては「印刷にかすれやむらがあるときには」 (P.54) を参照してください。

チェック 4 片面にのみ印刷可能な用紙を使用している場合は、用紙の表と裏を間違えてセットしていないか確認してください

表と裏を間違えると、かすれたり、正しく印刷されないことがあるので注意してください。用紙の印刷面については、ご使用の用紙に付属の取扱説明書を参照してください。

チェック 5 自動インク品質保持の設定がオフになっていませんか

自動インク品質保持機能がオフになっていると、インクタンクの中のインクが分離して、インクの濃度にむらが発生する場合があります。プリンタードライバーで自動インク品質保持機能をオンにしてください。

⇒ 『活用ガイド』 (電子マニュアル) の「本製品の設定を変更する」

重 要

- ・ 自動インク品質保持機能は通常オンにしてご使用ください。インク品質保持を週1回程度行わないと、印刷結果に影響が出る場合があります。
- ・ 自動インク品質保持機能をオフにした場合は、週1回程度手動でインク品質保持を実行してください。
⇒ 「インクの品質を保持する」 (P.65)

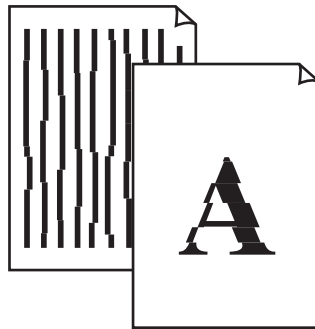
Windows

チェック 6 プリンタードライバーの入力プロファイルが正しく設定されていますか

Adobe RGBモードで撮影した写真などが思ったような色味で印刷されない場合、入力プロファイルを設定してから印刷すると、色味が改善されることがあります。

- 1 プリンタードライバーの設定画面を開く
⇒「プリンタードライバーの設定画面を表示する (Windows)」(P.74)
- 2 プリンタードライバーの【基本設定】シートの【色/濃度】で【マニュアル調整】を選び、【設定】ボタンをクリックする
- 3 【マッチング】シートの【色補正】で【ICM】を選ぶ
- 4 【入力プロファイル】から【Adobe RGB (1998)】を選ぶ
【Adobe RGB (1998)】が表示されない場合は、『セットアップCD-ROM』で【選んでインストール】から【Adobe RGB (1998)】を選んでインストールしてください。

罫線がずれる



チェック 1 用紙や印刷品質を確認しましたか

⇒「印刷結果に満足できない」(P.89)

チェック 2 プリントヘッドの位置調整を行ってください

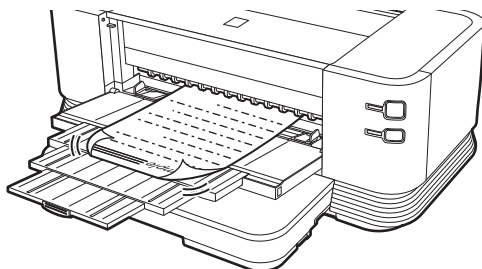
プリントヘッドの取り付け位置がずれていると、罫線がずれて印刷される場合があります。プリントヘッドを取り付けたあとは、必ず位置調整を行ってください。

⇒「プリントヘッド位置を調整する」(P.63)

参考

- ヘッド位置調整を行ってもなお、印刷結果が思わしくない場合は、『活用ガイド』（電子マニュアル）の「手でプリントヘッド位置を調整する」を参照して、手動ヘッド位置調整を行ってください。

インクがにじむ／用紙が反る



チェック 1 用紙や印刷品質を確認しましたか

⇒ 「印刷結果に満足できない」 (P.89)

チェック 2 複数枚の普通紙に印刷したときは、前トレイから1枚ずつ取り除いて、乾燥させることをお勧めします

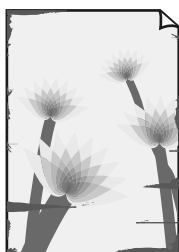
複数枚の普通紙に印刷したあと、重ねたまま乾燥させると、用紙が反ってしまう場合があります。印刷したあとは、前トレイから1枚ずつ取り除いて、乾燥させることをお勧めします。

チェック 3 写真を印刷するとき、写真専用紙を使用していますか

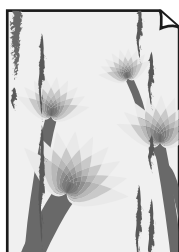
写真や色の濃い絵など、インクを大量に使用する印刷には、キヤノン写真用紙・光沢 ゴールドなどの写真専用紙を使用することをお勧めします。

⇒ 「使用できる用紙について」 (P.38)

印刷面が汚れる／こすれる



用紙の端が汚れる



用紙の端以外が汚れる

チェック 1 用紙や印刷品質を確認しましたか

⇒ 「印刷結果に満足できない」 (P.89)

チェック 2 適切な用紙を使用していますか、次のことを確認してください

- ご使用の用紙が目的の印刷に適した用紙か確認してください。
⇒ 「使用できる用紙について」 (P.38)
- フチなし全面印刷を行っている場合は、ご使用の用紙がフチなし全面印刷に適した用紙か確認してください。

フチなし全面印刷に適さない用紙を使用すると、用紙の上端および下端の印刷品質が低下する場合があります。

⇒ 『活用ガイド』(電子マニュアル)の「印刷できる範囲」

チェック 3 反りのある用紙は、反りを直してから使用してください**普通紙の場合**

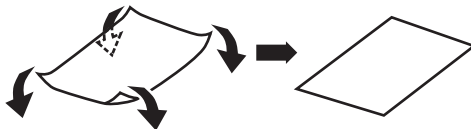
用紙の裏表を逆にしてセットしてください。

後トレイに用紙を長期間セットしたままにしていると、若干反りがついてしまうことがあります。この場合、裏表を逆にしてセットすると、改善されることがあります。

なお、長期間で使用にならない用紙は、用紙が入っていたパッケージに入れて水平に保管することをお勧めします。

その他の用紙の場合

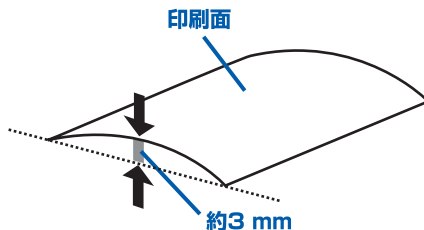
用紙の四隅が3 mm以上反っている場合、用紙が汚れたり、うまく送られなかったりするおそれがあります。以下の手順で反りを修正してから使用してください。

**1 下の図のように、対角線上の端を、反りと逆方向に丸める****2 印刷する用紙が、平らになっていることを確認する**

反りを修正した用紙は、1枚ずつセットして印刷することをお勧めします。

参考

- ご使用の用紙によっては、反りのない用紙を使用していても、用紙が汚れたり、うまく送られなかったりすることがあります。その場合は、印刷する前にあらかじめ3 mm程度反りをつけてから印刷してみてください。印刷の結果が改善される場合があります。



反りをつけた用紙は、1枚ずつセットして印刷することをお勧めします。

チェック 4 厚めの用紙を使用している場合は、用紙のこすれを改善する設定にしてください

用紙のこすれを改善する設定にすると、プリントヘッドと紙の間隔が広がります。用紙の種類を正しく設定していても印刷面がこすれる場合は、プリンタードライバーで用紙のこすれを改善する設定にしてください。

用紙のこすれを改善する設定にすると、印刷速度が遅くなる場合があります。

* 印刷後は用紙のこすれを改善する設定を解除してください。設定を解除しないと、次回以降の印刷でもこの設定が有効になります。

Windows

プリンタードライバーの設定画面を開き、[ユーティリティ] シートの [特殊設定] で [用紙のこすれを改善する] にチェックマークを付け、[送信] ボタンをクリックしてください。

プリンタードライバーの設定画面の開きかたについては「プリンタードライバーの設定画面を表示する (Windows)」(P.74) を参照してください。

Macintosh

Canon IJ Printer Utility (キヤノン・アイジェイ・プリンター・ユーティリティ) のポップアップメニューから [特殊設定] を選び、[用紙のこすれを改善する] にチェックマークを付け、[送信] ボタンをクリックしてください。

Canon IJ Printer Utilityの開きかたについては「Canon IJ Printer Utility画面を表示する (Macintosh)」(P.74) を参照してください。

チェック 5 印刷推奨領域を超えて印刷していませんか

印刷推奨領域を超えて印刷すると、用紙の下端でインクがこすれることがあります。

アプリケーションソフトで原稿を作成し直してください。

⇒『活用ガイド』(電子マニュアル) の「印刷できる範囲」

チェック 6 給紙ローラーが汚れていませんか

給紙ローラークリーニングを行ってください。

⇒「給紙ローラーをクリーニングする」(P.66)

参考

- 給紙ローラークリーニングは給紙ローラーが磨耗しますので、必要なときのみ行ってください。

チェック 7 本製品内部が汚れていませんか

両面印刷などを行うと、本製品の内部にインクが付いて用紙が汚れる場合があります。

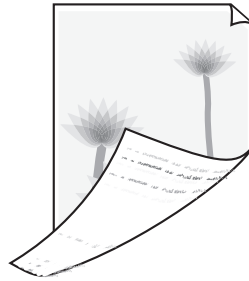
インクふき取りクリーニングを行って、本製品内部をお手入れしてください。

⇒『活用ガイド』(電子マニュアル) の「本製品内部をクリーニングする」

参考

- 内部の汚れを防ぐために、用紙サイズを正しく設定してください。

用紙の裏面が汚れる



チェック 1 用紙や印刷品質を確認しましたか

⇒ 「印刷結果に満足できない」 (P.89)

チェック 2 インクふき取りクリーニングを行って、本製品の内部を清掃してください

⇒ 『活用ガイド』 (電子マニュアル) の「本製品内部をクリーニングする」

参考

- フチなし全面印刷や両面印刷、多量に印刷を行うと、本製品の内部が汚れることがあります。

色むらや色すじがある



チェック 1 用紙や印刷品質を確認しましたか

⇒ 「印刷結果に満足できない」 (P.89)

チェック 2 ノズルチェックパターンを印刷し、必要に応じてプリントヘッドのクリーニングなどを行ってください

ノズルチェックパターンを印刷して、インクが正常に出ているか確認してください。
ノズルチェックパターンの印刷、プリントヘッドのクリーニング、強力クリーニングについては「印刷にかすれやむらがあるときには」 (P.54) を参照してください。

チェック 3 プリントヘッドの位置調整を行ってください

⇒ 「プリントヘッド位置を調整する」 (P.63)

参考

- ヘッド位置調整を行ってもなお、印刷結果が思わしくない場合は、『活用ガイド』 (電子マニュアル) の「手でプリントヘッド位置を調整する」を参照して、手動ヘッド位置調整を行ってください。

チェック 4 自動インク品質保持の設定がオフになっていませんか

自動インク品質保持機能がオフになっていると、インクタンクの中のインクが分離して、インクの濃度にむらが発生する場合があります。プリンタードライバーで自動インク品質保持機能をオンにしてください。

⇒『活用ガイド』（電子マニュアル）の「本製品の設定を変更する」

参考

- 自動インク品質保持機能は通常オンにしてご使用ください。インク品質保持を週1回程度行わないと、印刷結果に影響が出る場合があります。
- 自動インク品質保持機能をオフにした場合は、週1回程度手動でインク品質保持を実行してください。
⇒「インクの品質を保持する」(P.65)

印刷が始まらない

チェック 1 電源プラグがしっかりと差し込まれていることを確認し、電源ボタンを押してください

電源ランプが点滅している間は、本製品が準備動作中です。点滅から点灯に変わるまでお待ちください。

参考

- 写真やグラフィックなど大容量のデータを印刷するときは、印刷が始まるまでに通常よりも時間がかかります。電源ランプが緑色に点滅している間、パソコンはデータを処理して本製品に転送しています。印刷が始まるまで、しばらくお待ちください。

チェック 2 インクタンクの状態を確認し、インクがなくなっている場合はインクタンクを交換してください

チェック 3 トップカバーを開け、インクランプが赤く点滅していないか確認してください

インクが十分あるのにインクランプが赤く点滅している場合は、正しい位置にセットされていないインクタンクがあります。

⇒「インクタンクを交換する」(P.44)

チェック 4 トップカバーを開け、インクランプが赤く点灯していることを確認してください

インクランプが消えている場合は、インクタンクのラベル上の **PUSH** 部分を「カチッ」という音がするまでしっかり押して、インクタンクをセットしてください。

チェック 5 しばらく本製品の電源を入れていなかったときは、印刷が始まるまでに時間がかかる場合があります

印刷が始まるまで、しばらくお待ちください。

電源を入れたあと本製品が振動している場合は、内部でインクをかき混ぜています。振動が止まるまでお待ちください。

⇒「本製品が振動している／本製品を使用していないのに動作音がする」(P.88)

チェック 6 本製品とパソコンが通信できる状態か確認してください

USB接続で本製品をご使用の場合は、本製品のUSBケーブル接続部とパソコンがUSBケーブルでしっかり接続されていることを確認してください。USBケーブルでしっかり接続されている場合は、次のことを確認してください。

- USBハブなどの中継器を使用している場合は、それらを外して本製品とパソコンを直接接続してから印刷してみてください。正常に印刷される場合は、USBハブなどの中継器に問題があります。取り外した機器の販売元にお問い合わせください。
- USBケーブルに不具合があることも考えられます。別のUSBケーブルに交換し、再度印刷してみてください。

LAN接続で本製品をご使用の場合は、LANケーブルでネットワーク接続がされているか、またはネットワークの設定が正しくされているか確認してください。

⇒『かんたんスタートガイド』

チェック 7 パソコンを再起動してみてください

不要な印刷ジョブが残っている場合は、削除してください。

⇒『活用ガイド』（電子マニュアル）の「不要になった印刷ジョブを削除する」

チェック 8 プリンタードライバーの【用紙サイズ】の設定が、本製品にセットした用紙のサイズに合っていますか

本製品のリセットボタンを押してエラーを解除してください。次に、プリンタードライバーの【ページ設定】シート（Windows）またはページ設定ダイアログ（Macintosh）で【用紙サイズ】の設定を確認し、設定と同じサイズの用紙をセットしてから、印刷し直してください。

設定と同じサイズの用紙をセットしていても、印刷が始まらない場合は、プリンタードライバーで用紙の幅を検知しない設定にしてください。

* 印刷後は【用紙の幅を検知する】のチェックマークを付け、【送信】ボタンをクリックしてください。

Windows

【ユーティリティ】シートの【特殊設定】で【用紙の幅を検知する】のチェックマークを外し、【送信】ボタンをクリックしてください。

Macintosh

Canon IJ Printer Utility（キヤノン・アイジェイ・プリンター・ユーティリティ）の【特殊設定】で【用紙の幅を検知する】のチェックマークを外し、【送信】ボタンをクリックしてください。

チェック 9 プリンタードライバーの【用紙の種類】と【用紙サイズ】が正しく選ばれていますか

ファインアートペーパー・“Photo Rag”およびキヤノン純正紙以外の特殊な用紙を使用する場合は、【用紙の種類】でそれぞれの用紙の種類を選び、【用紙サイズ】でアート紙専用の用紙サイズを選ぶ必要があります。

以下の手順で設定を確認してから、印刷し直してください。

- 1 アプリケーションソフトの【用紙サイズ】で、【ファインアート A3ノビ】または、【ファインアート A3】、【ファインアート A4】、【ファインアート レター】が選ばれていることを確認する
使用したい用紙サイズが表示されない場合は、アプリケーションソフトの【ファイル】メニューから【印刷】(Windows)、または【プリント】(Macintosh)を選び、ご使用の機種が選ばれていることを確認してください。
- 2 プリンタードライバーの【基本設定】シート (Windows)、またはプリントダイアログの【品位と用紙の種類】(Macintosh)の【用紙の種類】が正しく設定されていることを確認する
- 3 プリンタードライバーの【ページ設定】シート (Windows)、またはページ設定ダイアログ (Macintosh)の【用紙サイズ】で、手順1で設定したサイズと同じ用紙サイズを選んでいるか確認する

チェック 10 プリントダイアログの【プリンタ】で、ご使用の機種名が選ばれていることを確認してください

異なる機種のプリンタードライバーを使用していると、正常に印刷できません。

Windowsをご使用の場合は、【印刷】ダイアログで【Canon XXX】(「XXX」は機種名)が選ばれていることを確認してください。

Macintoshをご使用の場合は、プリントダイアログの【プリンタ】でご使用の機種名が選ばれていることを確認してください。

参 考

- 本製品を【通常使うプリンタに設定】(Windows)、【デフォルトのプリンタ】または【デフォルトにする】(Macintosh)にすることで、常に本製品が選ばれているように設定することもできます。

Windows**チェック 11 プリンターポートを正しく設定してください**

プリンターポートの設定を確認してください。

- 1 管理者 (Administratorsグループのメンバー)としてWindowsにログオンする
- 2 【コントロール パネル】から【ハードウェアとサウンド】の【プリンタ】を選ぶ
Windows XPをご使用の場合は、【コントロール パネル】から【プリンタとその他のハードウェア】、【プリンタとFAX】の順に選びます。
Windows 2000をご使用の場合は、【コントロール パネル】から【プリンタ】をダブルクリックします。
- 3 【Canon XXX】アイコン(「XXX」は機種名)を右クリックし、【プロパティ】を選ぶ
- 4 【ポート】タブをクリックし、【印刷するポート】で【プリンタ】の欄に【Canon XXX】と表示されている【USBnnn】(“n”は数字)が選ばれているか確認する
設定が誤っている場合は、プリンタードライバーを再インストールするか、印刷先のポートを正しいものに変更してください。

参考

- LAN接続で本製品をご使用の場合は、ポート名は“CNBJNPxxxxxxxx”と表示されます。xx は、MACアドレスから生成される文字列、または、ネットワークのセットアップ時にユーザーが設定した任意の文字列です。

印刷が中止されて印刷途中の用紙や白紙が排出される

パソコンからの印刷時にデータ処理に時間がかかりすぎると、印刷が中止されて白紙が排出される場合があります。以下のことを確認して印刷をやり直してください。

チェック 1 プリンタードライバーで印刷品質の設定を【きれい】に変更して印刷してみてください

Windows

チェック 2 プリンタードライバーで【印刷データの処理単位】の設定を変更して印刷してみてください

プリンタードライバーの【ページ設定】シートの【印刷オプション】ボタンをクリックします。表示されるダイアログで【印刷データの処理単位】から【大】を選んで、【OK】ボタンをクリックしてください。

動作はするがインクが出ない

チェック 1 プリントヘッドが目づまりしていませんか

ノズルチェックパターンを印刷して、インクが正常に出ているか確認してください。ノズルチェックパターンの印刷、プリントヘッドのクリーニング、強クリーニングについては「印刷にかすれやむらがあるときには」(P.54)を参照してください。

チェック 2 インクがなくなっていないですか

トップカバーを開け、インクランプの状態を確認してください。
⇒「インクの状態を確認する」(P.51)

プリントヘッドホルダーが交換位置に移動しない

チェック 1 電源ランプが消えていませんか

電源ランプが緑色に点灯していることを確認してください。
電源が入っていないとプリントヘッドホルダーは移動しません。電源ランプが消灯している場合は、トップカバーを閉じて電源を入れてください。
電源ランプが緑色に点滅している間は、本製品が初期動作中です。点滅から点灯に変わってから、もう一度トップカバーを開けてください。

チェック 2 エラーランプが点滅していませんか

トップカバーをいったん閉じ、表示されたエラーランプの点滅回数を確認してエラーの対処をしてから、開いてください。対処方法については、「プリンターのエラーランプがオレンジ色に点滅している」(P.79)を参照してください。

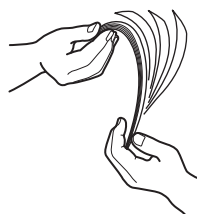
参 考

- 印刷の途中でトップカバーを開けてしまうと、プリントヘッドホルダーは右側へ移動してしまいます。トップカバーをいったん閉じ、印刷の動作が終了してから開けてください。

用紙がうまく送られない

チェック 1 次のことに注意して用紙をセットしてください

- 用紙を複数枚セットするときは、用紙をよくさばいてからセットしてください。



- 用紙を複数枚セットするときは、用紙の端をそろえてからセットしてください。
- 用紙を複数枚セットするときは、用紙ガイドの積載マークを超えないようにしてください。ただし用紙の種類やご使用の環境（高温・多湿や低温・低湿の場合）によっては、正常に紙送りできない場合があります。この場合は、セットする枚数を最大積載枚数の半分以下に減らしてください。
- 後トレイ、カセット、前トレイの手差し給紙口とも、印刷の向きに関わらず縦向きにセットしてください。
- 後トレイに用紙をセットするときは、印刷したい面を表にして、用紙ガイドを用紙の両端に軽く当ててください。
- 前トレイの手差し給紙口に用紙をセットするときは、印刷したい面を下にして、手差し用紙ガイドを用紙の両端に軽く当ててください。
- カセットに用紙をセットするときは、印刷したい面を下にして、用紙ガイドを用紙の両端と下端にぴったりと合わせてください。
⇒「用紙をセットする」(P.28)

チェック 2 厚い用紙や反りのある用紙などを使用していないか確認してください

- ⇒「使用できない用紙について」(P.41)

チェック 3 はがきや封筒をセットする場合は、次のことに注意してください

- はがき、往復はがきが反っていると積載マークを超えてセットしていても、うまく送られないことがあります。
はがき、往復はがきに印刷するときは、「はがきに印刷するときの注意」(P.33)を参照してください。
- 封筒に印刷するときは「封筒をセットする」(P.35)を参照し、印刷前に準備をしてください。
準備ができたなら、本製品に縦置きでセットしてください。横置きにすると、正しく送られません。

チェック 4 給紙位置設定が合っているか確認してください

普通紙はカセットから、普通紙以外の用紙は後トレイから給紙する設定になっています。前トレイの手差し給紙口から普通紙を給紙する場合など、給紙位置の設定については「文書を印刷する(Windows)」(P.10)、「文書を印刷する(Macintosh)」(P.13)を参照してください。

チェック 5 カセットや手差し給紙口に異物がある場合は取り除いてください**チェック 6 後トレイに異物が入っていないか確認してください**

紙片が入っている場合は、「用紙がつまった」(P.102)を参照してください。
後トレイに物が入っている場合は、必ず本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、落としたものを取り除いてください。

チェック 7 給紙ローラークリーニングを行ってください

⇒「給紙ローラーをクリーニングする」(P.66)

参 考

- 給紙ローラーのクリーニングは給紙ローラーが磨耗しますので、必要とときのみ行ってください。

チェック 8 背面カバーは正しく閉まっていますか

背面カバーが正しく閉まっていないと、用紙がつまることがあります。背面カバーをしっかりと閉じてください。

背面カバーの位置については、「各部の名称と役割」(P.4)を参照してください。

上記の対処を行っても解決しない場合は、パーソナル機器修理受付センターまたはお近くの修理受付窓口に修理をご依頼ください。

⇒「お問い合わせの前に」(P.119)

Windows プリンタードライバーで選んだ給紙箇所から用紙がうまく送られない**チェック アプリケーションソフトで、プリンタードライバーと異なる給紙位置を指定していませんか**

アプリケーションソフトの設定をプリンタードライバーの設定に合わせるか、プリンタードライバーの「ページ設定」シートにある「印刷オプション」で「アプリケーションソフトの給紙設定を無効にする」を選択してください。

アプリケーションソフトで、プリンタードライバーと異なる設定をした場合は、アプリケーションソフトの設定が優先されます。

用紙が詰まった

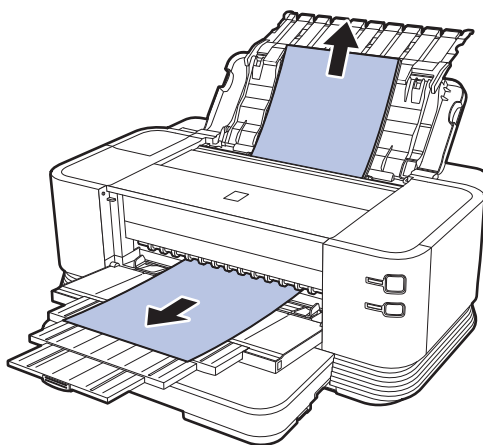
参考

- 印刷中につまった用紙を取り除くため本製品の電源を切る場合は、リセットボタンを押して、印刷を中止してから電源を切ってください。

排紙口／後トレイで用紙が詰まった

次の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

1. 排紙側または給紙側（引き出しやすい方）から用紙をゆっくり引っ張り、用紙を取り除く

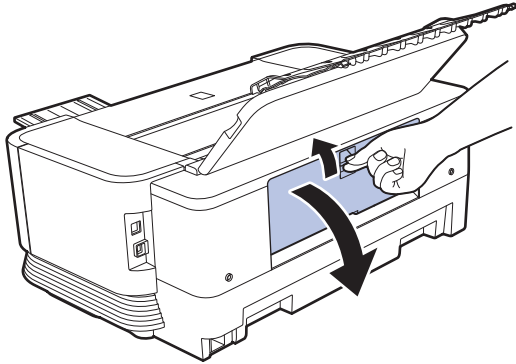


参考

- 用紙が破れて本製品の内部に残ってしまったときは、本製品の電源を切り、トップカバーを開けて取り除いてください。
このとき、本製品の内部の部品に触れないように注意してください。
用紙を取り除いたら、トップカバーを閉じて本製品の電源を入れ直してください。
- 用紙が引き抜けられない場合は、本製品の電源を入れ直してください。用紙が自動的に排出されることがあります。

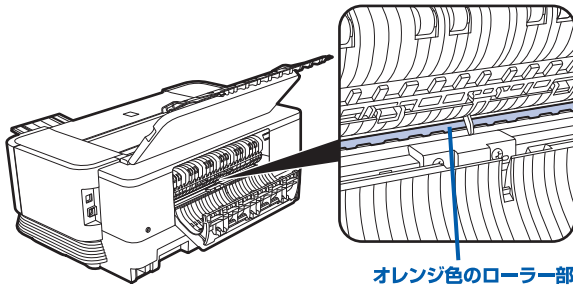
手順1で用紙を取り除けなかったとき：

2. 背面カバーを開く



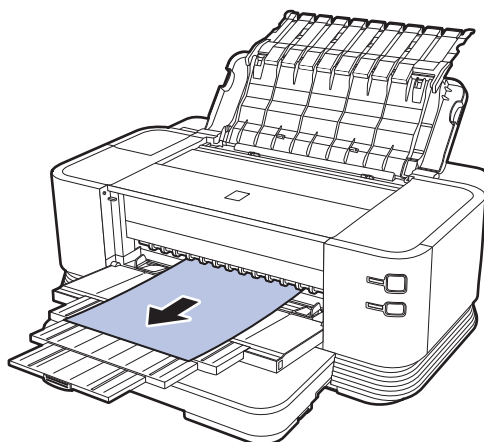
重要

- 背面カバーを開けた際は、搬送ローラーと本製品の内部の部品には触れないでください。

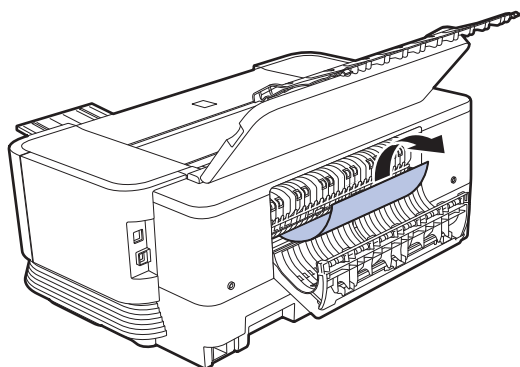


オレンジ色のローラー部分
(搬送ローラー)には触れない

3. 排紙口側から用紙をゆっくり引っ張る



用紙を取り除きにくいときは、背面カバー側からゆっくり取り除いてください。



4. 背面カバーを閉じる

5. 用紙をセットし直し、本製品のリセットボタンを押す

後トレイから印刷する場合は、用紙ガイドを正しい位置に合わせてください。用紙ガイドを正しい位置に合わせていないと、正しく給紙されないことがあります。

手順1で電源を入れ直した場合、本製品に送信されていた印刷データは消去されますので、もう一度印刷をやり直してください。

参考

- 用紙をセットし直すときは、用紙が印刷に適していること、用紙を正しくセットしていることを確認してください。
⇒「用紙をセットする」(P.28)
- 写真やグラフィックを含む原稿の印刷はA5サイズ以外の用紙に印刷することをお勧めします。A5サイズの用紙に印刷すると、用紙が反って排紙できない原因になることがあります。

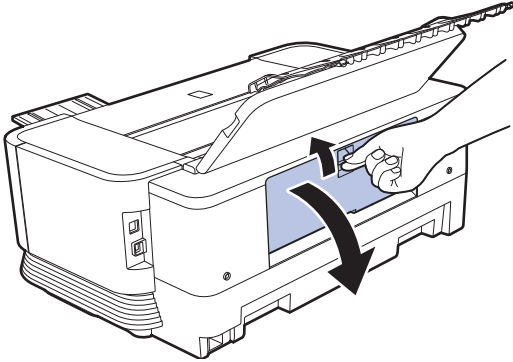
上記の対処を行っても解決しない場合は、パーソナル機器修理受付センターまたはお近くの修理受付窓口に修理をご依頼ください。

⇒「お問い合わせの前に」(P.119)

搬送ユニットで用紙がつまった

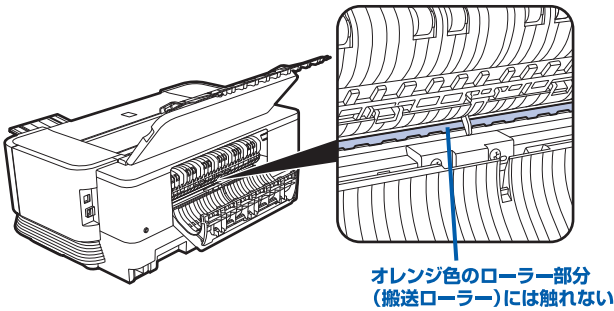
次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

1. 背面カバーを開く

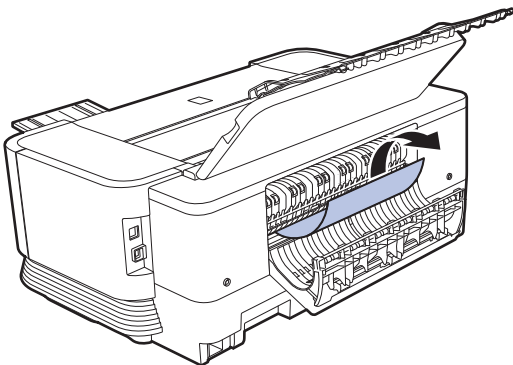


重要

- 背面カバーを開けた際は、搬送ローラーと本製品の内部の部品には触れないでください。



2. 用紙をゆっくり引っ張る



参考

- 用紙が引き抜けがない場合は、本製品の電源を切り、本製品の電源を入れ直してください。用紙が自動的に排紙されることがあります。

上記の対処を行っても解決しない場合は、パーソナル機器修理受付センターまたはお近くの修理受付窓口に修理をご依頼ください。

⇒「お問い合わせの前に」(P.119)

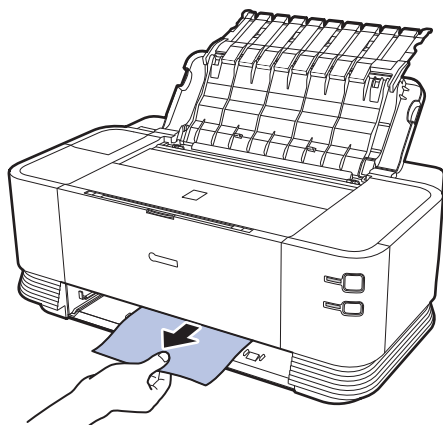
手順2で用紙を取り除けなかったとき：

3. 前トレイの手差し給紙口に用紙がある場合は、取り除く

4. 背面カバーを開けたままカセットを取り出す

両手でカセットを止まる位置までゆっくり引き出し、手前を少し持ち上げて引き出してください。

5. 用紙をゆっくり引っ張る



6. 背面カバーを閉じる

7. カセットから用紙がはみ出しているときは、用紙を取り除き用紙をそろえてからセットし直す

自動両面印刷をしていて、手順1～6でも用紙が見つからないときは、両面搬送部を確認してください。

⇒「自動両面印刷をしていて、用紙を取り除けなかった」(P.107)

参考

• 用紙をセットし直すときは、用紙が印刷に適していること、用紙を正しくセットしていることを確認してください。

⇒「用紙をセットする」(P.28)

8. カセットを本製品にセットし直し、本製品のリセットボタンを押す

手順2で電源を入れ直したときは、本製品に送信されていた印刷データは消去されますので、もう一度印刷をやり直してください。

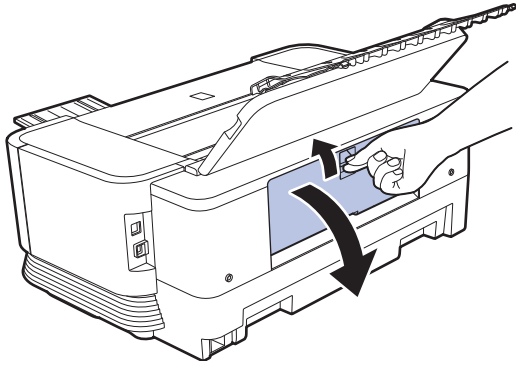
上記の対処を行っても解決しない場合は、パーソナル機器修理受付センターまたはお近くの修理受付窓口に修理をご依頼ください。

⇒「お問い合わせの前に」(P.119)

自動両面印刷をしていて、用紙を取り除けなかった

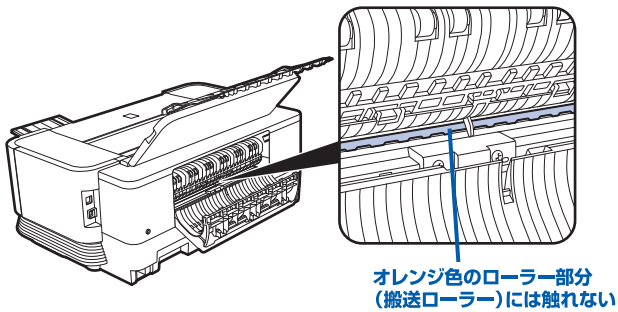
操作を行う前に、「搬送ユニットで用紙がつまった」(P.105)を確認してください。それでも解決しない場合は、以下の手順でつまった用紙を取り除いてください。

1. 背面カバーを開く

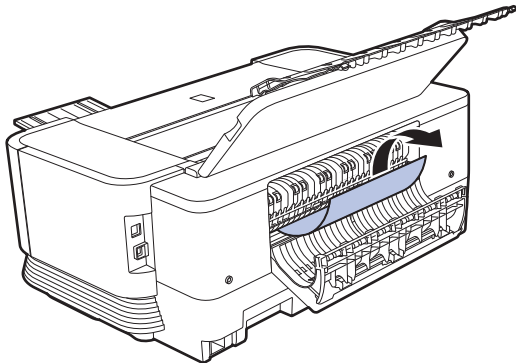


重要

- 背面カバーを開けた際は、搬送ローラーと本製品の内部の部品には触れないでください。



2. 用紙をゆっくり引っ張る

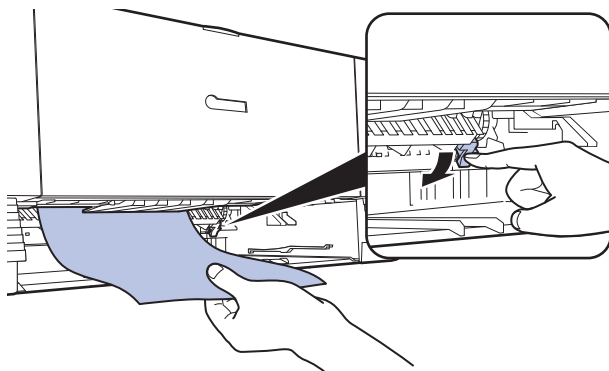


参考

- 用紙が引き抜けない場合は、本製品の電源を切り、本製品の電源を入れ直してください。用紙が自動的に排紙されることがあります。

手順2で用紙を取り除けなかったとき：

3. 前トレイの手差し給紙口に用紙がある場合は、取り除く
4. 背面カバーを開けたままカセットを取り出す
両手でカセットを止まる位置までゆっくり引き出し、手前を少し持ち上げて引き出してください。
5. 本製品内部の緑色の紙づまり解除レバーを押しながら、用紙をゆっくり引っ張る



6. 背面カバーを閉じる
7. カセットを本製品にセットし直し、本製品のリセットボタンを押す
手順2で電源を入れ直したときは、本製品に送信されていた印刷データは消去されますので、もう一度印刷をやり直してください。

上記の対処を行っても解決しない場合は、パーソナル機器修理受付センターまたはお近くの修理受付窓口に修理をご依頼ください。

⇒「お問い合わせの前に」(P.119)

名刺サイズの内紙が詰まった

次の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

重要

- ・ 名刺サイズの用紙は、横向きにセットできません。

1. 後トレイに同じ用紙を1枚縦向きにセットする
横向きにセットしないでください。
2. 本製品の電源を切る
3. 本製品の電源を入れる
用紙が給紙され、詰まった用紙を押し出しながら排紙されます。
本製品に送信されていた印刷データは消去されますので、もう一度印刷をやり直してください。

用紙が引き抜けない場合や、紙片が取り除けない場合、また取り除いても用紙づまりエラーが解除されない場合には、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。

⇒「お問い合わせの前に」(P.119)

それ以外するとき

次のことを確認してください。

チェック 1 排紙口付近に異物はありませんか

チェック 2 後トレイに異物が入っていませんか

チェック 3 背面カバーが正しく閉まっていますか

チェック 4 反りのある用紙を使用していませんか

⇒「印刷面が汚れる／こすれる」の「**チェック 3** 反りのある用紙は、反りを直してから使用してください」(P.93)

チェック 5 A3サイズの普通紙に印刷していませんか

⇒『活用ガイド』（電子マニュアル）の「用紙がうまく送られない」の「**チェック 10** A3サイズの普通紙が排紙口付近でよくつまる、または丸まってしまう場合は、用紙のつまりを改善する設定にしてください」

パソコンの画面にメッセージが表示されている

「エラー番号：B200 プリンタートラブルが発生しました。プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、修理受付窓口へ修理をご依頼ください」が表示されている

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。
パーソナル機器修理受付センターまたはお近くの修理受付窓口へ修理をご依頼ください。
⇒「お問い合わせの前に」(P.119)

「エラー番号：**** プリンタートラブルが発生しました。プリンターの電源を切り、もう一度電源を入れてください。エラーが解除されないときは、プリンターの取扱説明書を参照してください」が表示されている

「****」部分は半角英数字で表示され、表示が異なります。

- ・「5100」または「5110」と表示された場合
プリントヘッドホルダーの動きが妨げられていないか確認してください。
パソコンで印刷を中止して、本製品の電源を切ってください。それから、プリントヘッドホルダーの保護材やつまった用紙など、プリントヘッドホルダーの動きを妨げているものを取り除き、本製品の電源を入れ直してください。

重要

- ・このとき内部の部品には触れないよう、十分注意してください。印刷結果不具合などの原因となります。
- ・それでも回復しない場合は、パーソナル機器修理受付センターまたはお近くの修理受付窓口へ修理をご依頼ください。
⇒「お問い合わせの前に」(P.119)
- ・「6000」と表示された場合
本製品の手前にもものがある場合は取り除いてください。
前トレイをゆっくり手前に開いてから、本製品の電源を入れ直してみてください。
- ・4桁の英数字と「プリンタートラブルが発生しました」が表示された場合
本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。
本製品の電源を入れ直してみてください。
それでも回復しない場合は、パーソナル機器修理受付センターまたはお近くの修理受付窓口へ修理をご依頼ください。
⇒「お問い合わせの前に」(P.119)

自動両面印刷に関するエラーメッセージが表示されている

チェック

『活用ガイド』(電子マニュアル)の「自動両面印刷でうまく印刷できない」を参照し、対処してください

用紙の幅に関するエラーが表示されている

チェック プリンタードライバーの【用紙サイズ】の設定が、本製品にセットした用紙サイズに合っているか確認してください

本製品のリセットボタンを押してエラーを解除してください。次に、プリンタードライバーの【ページ設定】シート（Windows）またはページ設定ダイアログ（Macintosh）で【用紙サイズ】の設定を確認し、設定と同じサイズの用紙をセットしてから、印刷し直してください。

設定と同じサイズの用紙をセットしていても、印刷が始まらない場合は、プリンタードライバーで用紙の幅を検知しない設定にしてください。

* 印刷後は【用紙の幅を検知する】のチェックマークを付け、【送信】ボタンをクリックしてください。

Windows

【ユーティリティ】シートの【特殊設定】で【用紙の幅を検知する】のチェックマークを外し、【送信】ボタンをクリックしてください。

Macintosh

Canon IJ Printer Utility（キヤノン・アイジェイ・プリンター・ユーティリティ）の【特殊設定】で【用紙の幅を検知する】のチェックマークを外し、【送信】ボタンをクリックしてください。

自動ヘッド位置調整に関するエラーメッセージが表示されている

チェック 「プリンターのエラーランプがオレンジ色に点滅している」の「11回」(P.82)を参照し、対処してください

Windows 「書き込みエラー／出力エラー」または「通信エラー」

チェック 1 電源ランプが消えている場合は、電源コードが接続されていることを確認し、電源ボタンを押してください

電源ランプが緑色に点滅している間は、本製品が初期動作中です。点滅から点灯に変わるまでお待ちください。

チェック 2 プリンタードライバーのプロパティで、プリンターポートが正しく設定されていることを確認してください

⇒ 「印刷が始まらない」の「**チェック 11** プリンターポートを正しく設定してください」(P.98)

チェック 3 本製品とパソコンが通信できる状態か確認してください

USB 接続で本製品をご使用の場合は、本製品の USB ケーブル接続部とパソコンが USB ケーブルでしっかり接続されていることを確認してください。USB ケーブルでしっかり接続されている場合は、次のことを確認してください。

- USB ハブなどの中継器を使用している場合は、それらを外して本製品とパソコンを直接接続してから印刷してみてください。正常に印刷される場合は、USB ハブなどの中継器に問題があります。取り外した機器の販売元にお問い合わせください。
- USB ケーブルに不具合があることも考えられます。別の USB ケーブルに交換し、もう一度印刷してみてください。

LAN 接続で本製品をご使用の場合は、LAN ケーブルでネットワーク接続がされているか、またはネットワークの設定が正しくされているか確認してください。

⇒『かんたんスタートガイド』

チェック 4 プリンタードライバーが正しくインストールされていることを確認してください

『活用ガイド』（電子マニュアル）の「不要になったプリンタードライバーを削除する」に記載されている手順にしたがってプリンタードライバーを削除したあと、『セットアップ CD-ROM』で「選んでインストール」から「IJ プリンタードライバ」を選んで再インストールしてください。

チェック 5 USB 接続で本製品をご使用の場合は、パソコンでデバイスの状態を確認してください

以下の手順にしたがって、パソコンでデバイスの状態を確認してください。

- 1 **【コントロール パネル】** から **【ハードウェアとサウンド】**、**【デバイス マネージャ】** の順に選ぶ
[ユーザー アカウント制御] 画面が表示された場合は、画面の指示にしたがって操作してください。Windows XP をご使用の場合は、[コントロール パネル] から [パフォーマンスとメンテナンス]、[システム] を順にクリックし、[ハードウェア] タブの [デバイス マネージャ] ボタンをクリックします。
Windows 2000 をご使用の場合は、[コントロール パネル] の [システム] をダブルクリックし、[ハードウェア] タブの [デバイス マネージャ] ボタンをクリックします。
- 2 **【ユニバーサル シリアル バス コントローラ】** (Windows Vista 以外をご使用の場合は **【USB (Universal Serial Bus) コントローラ】**)、**【USB 印刷サポート】** の順にダブルクリックする
[USB 印刷サポート] が表示されない場合は、本製品とパソコンが接続されていることを確認してください。
⇒「**チェック 3** 本製品とパソコンが通信できる状態か確認してください」(P.112)
- 3 **【全般】** タブをクリックして、**【デバイスの異常が表示されているか確認する】**
デバイスの異常が表示されている場合は、Windows のヘルプを参照してトラブルを解決してください。

Macintosh 「エラー番号：300」が表示されている

チェック 1 電源ランプが消えている場合は、電源コードが接続されていることを確認し、電源ボタンを押してください

電源ランプが緑色に点滅している間は、本製品が準備動作中です。点滅から点灯に変わるまでお待ちください。

チェック 2 本製品とパソコンが通信できる状態が確認してください

USB接続で本製品をご使用の場合は、本製品のUSBケーブル接続部とパソコンがUSBケーブルでしっかり接続されていることを確認してください。USBケーブルでしっかり接続されている場合は、次のことを確認してください。

- USBハブなどの中継器を使用している場合は、それらを外して本製品とパソコンを直接接続してから印刷してみてください。正常に印刷される場合は、USBハブなどの中継器に問題があります。取り外した機器の販売元にお問い合わせください。
- USBケーブルに不具合があることも考えられます。別のUSBケーブルに交換し、もう一度印刷してみてください。

LAN接続で本製品をご使用の場合は、LANケーブルでネットワーク接続がされているか、またはネットワークの設定が正しくされているか確認してください。

⇒『かんたんスタートガイド』

チェック 3 プリントダイアログの【プリンタ】で、ご使用の機種名が選ばれていることを確認してください

⇒「文書を印刷する (Macintosh)」(P.13)

Macintosh 「メッセージ：1350」が表示されている

チェック 「プリンターのエラーランプがオレンジ色に点滅している」の「12回」(P.83)を参照し、対処してください

Macintosh 「エラー番号：1701」が表示されている

チェック 「プリンターのエラーランプがオレンジ色に点滅している」の「8回」(P.81)を参照し、対処してください

Macintosh 「インク情報番号：1600」が表示されている

チェック 「プリンターのエラーランプがオレンジ色に点滅している」の「4回」(P.80)を参照し、対処してください

Macintosh 「インク情報番号：1688」が表示されている

チェック 「プリンターのエラーランプがオレンジ色に点滅している」の「17回」(P.84)を参照し、対処してください

Macintosh 「インク情報番号：1689」が表示されている

チェック 「プリンターのエラーランプがオレンジ色に点滅している」の「18回」(P.85)を参照し、対処してください

Macintosh 「インク情報番号：1692」が表示されている

チェック 「プリンターのエラーランプがオレンジ色に点滅している」の「4回」(P.80)を参照し、対処してください

Macintosh 「インク情報番号：1693」が表示されている

チェック 「プリンターのエラーランプがオレンジ色に点滅している」の「16回」(P.83)を参照し、対処してください

Macintosh 「インク情報番号：1698」が表示されている

チェック 「プリンターのエラーランプがオレンジ色に点滅している」の「17回」(P.84)を参照し、対処してください

Macintosh 「インク情報番号：1699」が表示されている

チェック 「プリンターのエラーランプがオレンジ色に点滅している」の「18回」(P.85)を参照し、対処してください

Macintosh 「エラー番号：2500」が表示されている

チェック 「プリンターのエラーランプがオレンジ色に点滅している」の「11回」(P.82)を参照し、対処してください

Macintosh 「エラー番号：2600」が表示されている

チェック 「プリンターのエラーランプがオレンジ色に点滅している」の「11回」(P.82)を参照し、対処してください

Windows そのほかのメッセージ

チェック プリンター状態の確認画面以外でエラーメッセージが表示された場合は、次の点を確認してください

- ディスク容量不足のため、正常にスプールできませんでした。
不要なファイルを削除してディスクの空き容量を増やしてください。
- メモリー不足のため、正常にスプールできませんでした。
起動中のほかのアプリケーションソフトを終了して空きメモリーを増やしてください。
それでも印刷できない場合は、パソコンを再起動してもう一度印刷してみてください。
- プリンタードライバーが読み込めませんでした。
『活用ガイド』（電子マニュアル）の「不要になったプリンタードライバーを削除する」に記載されている手順にしたがってプリンタードライバーを削除し、再インストールしてください。
- 「アプリケーションソフト名」－「文書名」を印刷できませんでした。
現在印刷中の文書の印刷が終わったら、もう一度印刷してみてください。

付録

仕様P.116

原稿を印刷するときの注意事項P.118

お問い合わせの前にP.119

使用済みインクカートリッジ回収のお願いP.120

ヒント集P.121

仕様

装置の概要	
印刷解像度 (dpi)	4800 (横) * × 1200 (縦) * 最小 1/4800 インチのドット (インク滴) 間隔で印刷します。
インターフェース	プリンター接続部： High-Speed USB * LAN接続部： 有線 LAN 100BASE-TX/10BASE-T * Hi-Speed USB でのご使用は、パソコン側が Hi-Speed USB に対応している必要があります。 また、Hi-Speed USB インターフェースは USB 1.1 の完全上位互換ですので、パソコン側のインターフェースが USB 1.1 でも接続してご使用いただけます。
印字幅	[カセット] 最長 290.2mm フチなし時：最長 297mm (A3) [後トレイ] 最長 322.2mm フチなし時：最長 329mm (A3+)
動作環境	温度：5 ~ 35 °C 湿度：10 ~ 90 % RH (結露しないこと)
保存環境	温度：0 ~ 40 °C 湿度：5 ~ 95 % RH (結露しないこと)
電源	AC 100 V 50/60 Hz (付属の電源コードは AC 100V 用です)
消費電力	印刷時：約 22 W 待機時 (スリープ時)：約 1.7 W * 電源 OFF 時：約 0.7 W * * USB 接続時 ※電源を切った状態でも若干の電力が消費されています。電力消費をなくすためには、電源プラグをコンセントから抜いてください。
外形寸法	約 647 mm (横) × 519 mm (奥行き) × 260 mm (高さ) ※用紙サポート、前トレイ、および補助トレイを格納した状態
質量	本体 約 19.8 kg ※プリントヘッド/インクタンクを取り付けた状態
プリントヘッド/インク	3584 ノズル (BK/Y/PBK 各 512 ノズル、C/M 各 512 × 2 ノズル)

ネットワーク仕様	
通信プロトコル	TCP/IP
有線 LAN 部	準拠規格：IEEE802.3u (100BASE-TX) / IEEE802.3 (10BASE-T) 伝送速度：10M/100 Mbps (自動切替)

動作条件

参考 OSの動作条件が高い場合はそれに準じます。

	Windows	Macintosh
OS CPU メモリー	Windows Vista、Vista SP1 1 GHz以上のプロセッサ 512 MB Windows XP SP2、SP3 300 MHz以上のプロセッサ 128 MB Windows 2000 Professional SP4 300 MHz以上のプロセッサ 128 MB	Mac OS X v.10.5 Intelプロセッサ、PowerPC G5 PowerPC G4 (867 MHz以上) 以上 512 MB Mac OS X v.10.4 Intelプロセッサ、PowerPC G5、 PowerPC G4、PowerPC G3 256 MB Mac OS X v.10.3.9 PowerPC G5、PowerPC G4、 PowerPC G3 128 MB
ブラウザ	Internet Explorer 6以上	Safari
ハードディスク空き容量	450 MB以上 注) 付属のソフトウェアのインストールに必要な容量	600 MB以上 注) 付属のソフトウェアのインストールに必要な容量
CD-ROMドライブ	必要	
表示環境	SVGA 800 x 600 以上	XGA 1024 x 768以上

- Windows Vista、XP、2000のいずれかがブレイインストールされているコンピューター
- Windows XPからWindows Vistaにアップグレードして本製品をお使いになる場合は、キヤノン製インクジェットプリンターに付属のソフトウェアをアンインストールしてからWindows Vistaにアップグレードしてください。アップグレード後、ソフトウェアをインストールしてください。
- Mac OS拡張（ジャーナリング）またはMac OS拡張でフォーマットされたハードディスクが必要です。
- Easy-WebPrint EXをご使用になる場合は、Internet Explorer 7 以上が必要です。

電子マニュアル（取扱説明書）の動作環境

Windows	Macintosh
ブラウザー：Easy Guide Viewer ※ Internet Explorer 6以上がインストールされている必要があります。 ご使用のOSやInternet Explorerのバージョンによっては、マニュアルが正しく表示されないことがあるため、Windows Updateで最新の状態に更新することをお勧めします。	ブラウザー：Easy Guide Viewer ※ご使用のOSやSafariのバージョンによっては、マニュアルが正しく表示されないことがあるため、ソフトウェアアップデートで最新のバージョンに更新することをお勧めします。

環境および化学安全情報

製品の環境情報および化学安全情報（MSDS）につきましては、キヤノンホームページにてご覧いただけます。
canon.jp/ecology

原稿を印刷するときの注意事項

以下を原稿として複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合をのぞき違法となります。また、人物の写真などを複製などする場合には肖像権が問題になることがあります。

通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしい物を作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 郵便為替証書
- 株券、社債券
- 定期券、回数券、乗車券
- 国債証券、地方債証券
- 郵便切手、印紙
- 手形、小切手
- その他の有価証券

公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許書、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

[関係法律]

- 刑法
- 著作権法
- 通貨及証券模造取締法
- 外国に於て流通する貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造に関する法律
- 郵便法
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙犯罪処罰法
- 印紙等模造取締法

お問い合わせの前に

本書または『活用ガイド』（電子マニュアル）の「困ったときには」の章を読んでもトラブルの原因がはっきりしない、また解決しない場合には、次の要領でお問い合わせください。

パソコンなどのシステムの問題は？

本製品が正常に動作し、プリンタードライバーのインストールも問題なければ、接続ケーブルやパソコンシステム（OS、メモリー、ハードディスク、インタフェースなど）に原因があると考えられます。



パソコンを購入された販売店もしくは、パソコンメーカーにご相談ください。

特定のアプリケーションソフトで起こる場合は？

特定のアプリケーションソフトで起きるトラブルは、プリンタードライバーを最新のバージョンにバージョンアップすると問題が解決する場合があります。また、アプリケーションソフト固有の問題が考えられます。



アプリケーションソフトメーカーの相談窓口にご相談ください。

プリンタードライバーのバージョンアップの方法は、別紙の『サポートガイド』をご覧ください。

本製品の故障の場合は？

どのような対処をしても本製品が動かなかったり、深刻なエラーが発生して回復しない場合は、本製品の故障と判断されます。パーソナル機器修理受付センターに修理を依頼してください。



パーソナル機器修理受付センター

050-555-99088

【受付時間】<平日/土>9:00~18:00(日祝、年末年始を除く)

その他のお困り事は？

どこに問題があるか判断できない場合やその他のお困り事は、キヤノンお客様相談センターまでご相談ください。もしくは、キヤノンサポートホームページをご利用ください。



キヤノンお客様相談センター
050-555-90011

【受付時間】<平日>9:00~20:00
<土日祝>10:00~17:00(1/1~1/3を除く)

キヤノンサポートホームページ canon.jp/support

デジタルカメラや携帯電話の操作については、各機器の説明書をご覧ください。説明書に記載されている相談窓口へお問い合わせ下さい。

●弊社修理受付窓口につきましては、別紙の『サポートガイド』をご覧ください。

※本製品を修理にお出しいただく場合

- ・プリントヘッドとインクタンクは、取り付けた状態で本製品の電源ボタンを押して電源をお切りください。プリントヘッドの乾燥を防ぐため自動的にキャップをして保護します。
- ・本製品が輸送中の振動で損傷しないように、なるべくご購入いただいたときの梱包材をご利用ください。

重要・本機の重さは約19.8 kg あります。本機を輸送する際は、2人で持ち運ぶことをお勧めします。
・梱包時/輸送時には本製品を傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態にしてください。
他の箱をご利用になるときは、丈夫な箱にクッションを入れて、本製品がガタつかないようにしっかりと梱包してください。

お願い： 保証期間中の保証書は、記入漏れのないことをご確認のうえ、必ず商品に添付、または商品と一緒にお持ちください。保守サービスのために必要な補修用性能部品および消耗品（インク）の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後5年間です。なお、弊社の判断により保守サービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の際には、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけない場合、またご使用可能なパソコンのOSが変更される場合もあります。

使用済みインクカートリッジ回収のお願い



キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みインクカートリッジの回収を推進しています。この回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。

つきましては、“キヤノンによる環境保全と資源の有効活用”の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、ご使用済みとなったインクカートリッジを、お近くの回収窓口までお持ちくださいますようお願いいたします。

キヤノンマーケティングジャパンではご販売店の協力の下、全国に回収窓口をご用意いたしております。

また回収窓口到店頭用カートリッジ回収スタンドの設置を順次進めております。

回収窓口につきましては、下記のキヤノンのホームページ上で確認いただけます。

キヤノンサポートホームページ canon.jp/support

事情により、回収窓口にお持ちになれない場合は、使用済みインクカートリッジをビニール袋などに入れ、地域の条例に従い処分してください。

■使用済みカートリッジ回収によるベルマーク運動

キヤノンでは、使用済みカートリッジ回収を通じてベルマーク運動に参加しています。

ベルマーク参加校単位で使用済みカートリッジを回収していただき、その回収数量に応じた点数をキヤノンより提供するシステムです。

この活動を通じ、環境保全と資源の有効活用、さらに教育支援を行うものです。詳細につきましては、下記のキヤノンホームページ上でご案内しています。

環境への取り組み canon.jp/ecology



お問い合わせのシート

ご相談の際にはすみやかにお答えするために予め下記の内容をご確認のうえ、お問い合わせくださいますようお願いいたします。また、おかけまちがいのないよう電話番号はよくご確認ください。

[プリンターの接続環境について]

プリンターと接続しているパソコンの機種 ()

内蔵メモリー容量 (MB) / ハードディスク容量 (GB)

使用している OS : Windows Vista XP 2000 (Ver.)

Mac OS (Ver.) その他 ()

パソコン上で選択しているプリンタードライバーの名称 ()

ご使用のアプリケーションソフト名およびバージョン ()

接続方法 : 直結 ネットワーク (種類 :) その他 ()

接続ケーブルメーカー () / 品名 ()

[プリンターの設定について]

プリンタードライバーのバージョン ()

パソコン上のプリンター設定でバージョン情報が確認できます。

■カメラとダイレクト接続している場合

カメラメーカー名 () モデル名 ()

[エラー表示]

エラーメッセージ (できるだけ正確に) ()

エラー表示の場所 : パソコン プリンター

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

ヒント集

お使いの製品についての豆知識、きれいに印刷するためのヒントを紹介しています。

インクはこんなふうに使われています

印刷以外にもインクが使われる？

意外かもしれませんが、インクは印刷以外にも使われることがあります。それは、きれいな印刷を保つために行うクリーニングのとき。

本製品には、インクがふき出されるノズルを自動的にクリーニングし、目づまりを防ぐ機能が付いています。クリーニングでは、ノズルからインクを吸い出すため、わずかな量のインクが使用されます。

重要

- 吸い出されたインクは、製品内部の「インク吸収体」に吸収されます。インク吸収体は満杯になると交換が必要です。お客様ご自身での交換はできませんので、お早めにお近くの修理受付窓口へ交換をご依頼ください。満杯になる前に、エラーランプが8回点滅して交換をお知らせします。
⇒「プリンターのエラーランプがオレンジ色に点滅している」(P.79)

モノクロ印刷でもカラーインクが使われる？

モノクロ印刷でも、印刷する用紙の種類やプリンタードライバーの設定によってブラック以外のインクが使われることがあります。モノクロでしか印刷していなくてもカラーインクが減るのはそのためです。

ブラックインクが2つあるのはなぜ？

本製品のブラックインクには、BK (PGI-1BK) とPBK (PGI-2PBK) の2種類あります。BKは文字などの印刷に使われ、PBKはおもに写真やイラストなどの印刷に使われます。それぞれの用途が異なるため、どちらかのインクがなくなっても、もう一方のインクが代わりに使われることはありません。どちらか一方でもインクがなくなった場合には、インクタンクの交換が必要になります。また、2つのブラックインクは、印刷する用紙の種類やプリンタードライバーの設定に応じて自動的に使い分けられます。お客様によるインクの使い分けはできません。

そんなインクたちを、少なくなったらランプでお知らせ

インクランプの点滅でインクが少なくなったことをお知らせします。
⇒「インクタンクを交換する」(P.44)

参考

印刷後のご注意

- 本製品は、顔料インクを使用して印刷します。顔料インクの特性上、印刷した面をこすったり、引っかいたりすると、インクがはがれる場合がありますので、ご注意ください。

クリアインクはなにをするインク？

クリアインクは、普通紙に印刷するためだけに使用される透明なインクです。

にじみを防いで普通紙への印刷がキレイ（発色/鮮明度がアップ）

一般の普通紙はインクがしみ込みやすく、印刷した文字や写真などの画像がにじむことがあります。本製品では、印刷を開始すると、まずクリアインクが普通紙の表面に塗布され、カラーインクやブラックインクのしみ込みを防ぎます。

クリアインクの上に各色のインクが載ることで、くっきりと鮮明で発色のよい印刷が行えます。

裏写りや用紙の反りも軽減

クリアインクは発色性を高めるだけではありません。

インクのしみ込みを防ぐため、両面に印刷したときに裏写りが少なくきれいに仕上がります。

また、普通紙でよく見られる印刷後の用紙の反りも軽減されます。

参考

- クリアインクは印刷した普通紙の全面に使用されています。印刷後の用紙の余白に鉛筆などで加筆し、その内容を消しゴムで消す場合、消えにくいことがあります。
- はがき/封筒には、クリアインクが塗布されません。このため、印字が薄くなる場合があります。

特別な用紙に印刷……失敗しないためのポイントは!?

印刷前に本製品の状態を確認する

●プリントヘッドの状態は大丈夫？

印刷がかすれてはせっかくの用紙が無駄に……。ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの状態を確認しておきましょう。

⇒「印刷にかすれやむらがあるときには」(P.54)

●本製品の内部がインクで汚れていませんか？

大量に印刷したあとやフチなし印刷をしたあとは、用紙の通過した部分がインクで汚れていることがあります。インクふき取りクリーニングで内部のそうじをしましょう。

⇒『活用ガイド』（電子マニュアル）

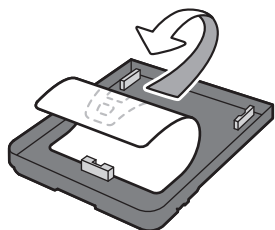
用紙のセット方法を確認する

●用紙の向きは大丈夫？

給紙方法によって、セットする用紙の向きが違います。

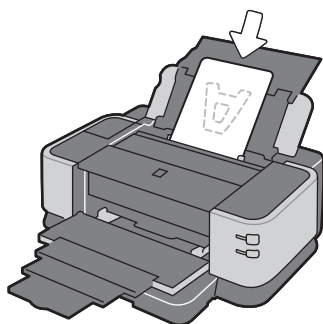


と印刷するとき



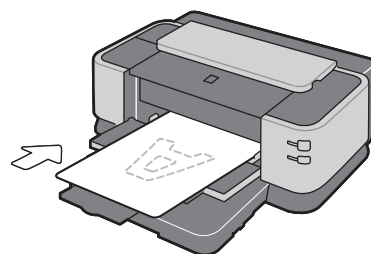
カセット

印刷したい面を下にして
セットする



後トレイ

印刷したい面を表にして
セットする

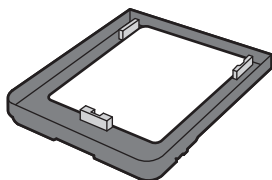


手差し給紙口

印刷したい面を下にして
セットする

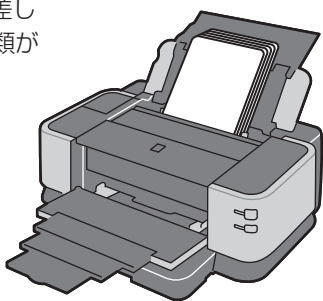
●用紙に合った給紙箇所を選んでいる？

カセットと後トレイ、前トレイの手差し給紙口では、セットできる用紙の種類が違います。



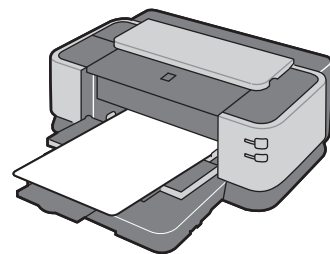
カセット

よく使う普通紙をセットする



後トレイ

普通紙以外の用紙を
セットする



手差し給紙口

普通紙を必要に応じて
セットする

●はがきはどちらの面を先に印刷？

はがきの両面に印刷するときは、通信面から先に印刷すると、よりキレイに仕上がります。

⇒「はがきに印刷するときの注意」(P.33)

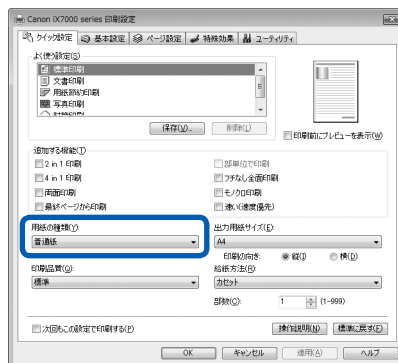
●その用紙、反っていませんか？

反った用紙は紙づまりの原因に。用紙は平らにしてからセットしてください。

⇒「印刷面が汚れる／こすれる」の「反りのある用紙は、反りを直してから使用してください」(P.93)

用紙をセットしたあとは、用紙の設定を忘れずに！

- STEP 1** 用紙をセットしたら
↓
STEP 2 用紙の種類を選ぶ



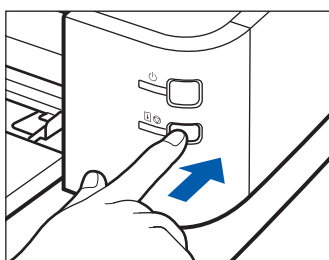
プリンタードライバー

用紙のセットが済んだら、プリンタードライバーの「用紙の種類」で、必ずセットした用紙を選んでください。用紙の種類を設定しないと、せっかく正しく用紙をセットしても満足な印刷結果が得られないことがあります。⇒P.9

用紙には、写真がきれいに印刷できるよう表面に特殊なコーティングが施されたものや、文書に適したものなどさまざまな種類があります。それぞれの用紙に最適な画質で印刷できるよう、「用紙の種類」にはあらかじめ用紙ごとに異なる設定（インクの使いかた、インクのふき出し方法、ノズルとの間隔など）がされています。そのため、セットした用紙を「用紙の種類」で選ぶことでそれぞれの用紙に適した印刷ができるのです。

印刷中止は、リセットボタンで

電源ボタンは押さないで！



印刷中に電源ボタンを押してしまうと、パソコンから送られた印刷データなどが本製品にたまって印刷できなくなることがあります。

印刷を中止したいときは、リセットボタンを押してください。

参考

- 印刷中に、リセットボタンを押しても印刷が中止されないときは、プリンタードライバーの設定画面を開き、プリンター状態の確認画面から不要となった印刷ジョブを削除してください。(Windows)

最新版のプリンタードライバーを手に入れよう

キヤノンのホームページでは、最新版のプリンタードライバーを提供しています。最新版のプリンタードライバーは、古いバージョンに改良を加えたり新機能に対応しているため、ドライバーを新しくする（アップデートする）ことによって、新しいOSに対応したり、印刷のトラブルを解決できることがあります。

STEP 1

まずは、キヤノンのホームページ（canon.jp/download）にアクセスして、最新版のプリンタードライバーをダウンロード



STEP 2

本製品の電源を切り、電源ランプの消灯を確認してから、本製品とパソコンを接続しているUSBケーブルを抜く



STEP 3

古いプリンタードライバーを削除する（Windowsの場合）
[スタート] → [すべてのプログラム] または [プログラム] → [Canon（ご使用の製品名）series] → [プリンタードライバー アンインストーラー] の順にクリックします。以降は画面の指示にしたがってください。



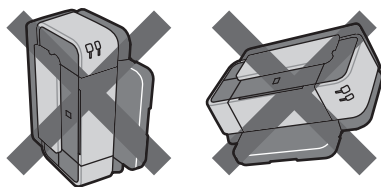
STEP 4

ダウンロードした最新のプリンタードライバーをインストールする

詳しい手順はキヤノンのホームページをご覧ください。

使用時や移動時に注意することは？

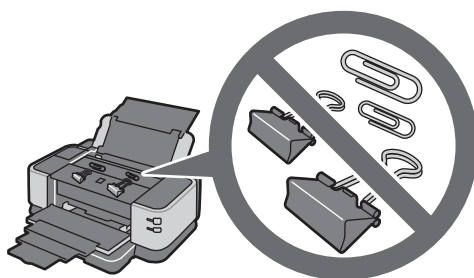
製品を立てたり傾けたりしないで！



製品を立てたり傾けたりすると、製品がダメージを受けたり、まれに本体からインクが漏れるおそれがあります。

使用時や移動時には本製品を傾けないようご注意ください。

トップカバーの上に物を置かないで！



トップカバー上には物を置かないでください。トップカバーを開けたときに後トレイに物が落ち、故障の原因になります。また、上から物が落ちる場所などには、本製品を置かないでください。

設置場所に気をつけて！

蛍光灯などの電気製品と本製品は約15cm以上離してください。近づけると蛍光灯のノイズが原因で本製品が誤動作することがあります。

いつもきれいな印刷を楽しむためには？

きれいな印刷を保つカギは、プリントヘッドの乾燥と目づまりを防ぐこと。そのために次のことを守って、いつもきれいな印刷を楽しんでください。

●電源プラグを抜くときは次の順番で



電源ボタンを押して電源を切ると、本製品は自動的にプリントヘッド（インクのふき出し口）にキャップをして乾燥を防ぐようになっています。ところが、電源ランプが消える前にコンセントから電源プラグを抜いたり、テーブルタップのスイッチを切ってしまうと、プリントヘッドが正しくキャップされずに乾燥や目づまりの原因となります。

電源プラグを抜くときは、必ずこの順番を守ってください。

●定期的に印刷しましょう

サインペンは長期間使われないと、キャップをしていてもペン先が乾いて書けなくなることがあります。同様に、プリントヘッドも印刷をしないと乾燥して目づまりを起こす場合があります。最低でも、月に1回程度は印刷することをお勧めします。

●インクは定期的にかき混ぜられています

本製品では、きれいな印刷を得るために、定期的に自動でインクをかき混ぜる設定になっています。そのため、印刷を定期的に行っていれば、インクをいつでもよい状態に保つことができます。

長期間お使いになっていないときなどは、電源を入れると自動的にインクがかき混ぜられます。

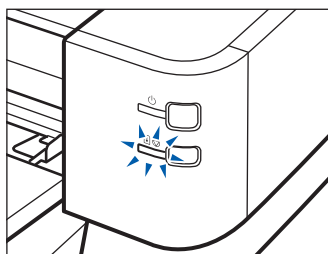
ただし、自動でインクをかき混ぜる設定をオフにした場合や、印刷結果を見て、インクの濃度にむらがある場合は、手動でインクをかき混ぜてください。

⇒「インクの品質を保持する」(P.65)

参考

- 用紙によっては、印刷した部分を蛍光ペンや水性ペンでなぞったり、水や汗が付着すると、インクがにじむことがあります。

プリンターのランプが点滅したときは…



●エラーランプ（オレンジ色）が点滅しているときは



エラーが発生しています。「プリンターのエラーランプがオレンジ色に点滅している」(P.79)を参照してトラブルを解決してください。

●電源ランプ（緑色）とエラーランプ（オレンジ色）が交互に点滅しているときは

修理が必要なエラーが発生しています。パーソナル機器修理受付センターまたはお近くの修理受付窓口へご連絡ください。⇒P.119

写真をフチなし印刷する簡単な方法は？

付属のアプリケーションソフトEasy-PhotoPrint EX（イージー・フォトプリント・イーエックス）を使うと、デジタルカメラで撮った写真を簡単な操作でフチなし印刷できます。

⇒「写真を印刷する（Easy-PhotoPrint EXを使う）」(P.18)



色がおかしい、かすれるときは

ノズルチェックパターンでノズルのつまりを確認しよう

プリントヘッドのノズル（インクのふき出し口）が目つまりすると、色味がおかしかったり、印刷がかすれることがあります。

この写真が

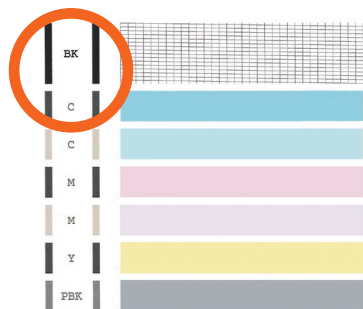


こんなことに

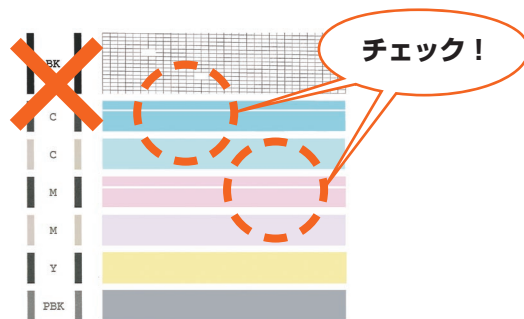


ノズルチェックパターンを印刷

印刷したチェックパターンを確認すると、ノズルが目つまりしているかどうかわかります。



ノズルに目づまりはありません。



こんなふうになっていたら、ノズルが目づまりしているサイン。今すぐお手入れして、写真を元どおりのきれいな色で印刷しましょう。

⇒「印刷にかすれやむらがあるときには」(P.54)

●キヤノン PIXUS ホームページ canon.jp/pixus

新製品情報、Q&A、各種ドライバーのバージョンアップなど製品に関する情報を提供しております。

※通信料はお客様のご負担になります。

●キヤノンお客様相談センター **050-555-90011**

PIXUS・インクジェットプリンタに関するご質問・ご相談は、上記の窓口をお願いいたします。

年賀状印刷に関するお問い合わせは、下記専用窓口をお願いいたします。

年賀状印刷専用窓口 050-555-90018 (受付期間：11/1～1/15)

【受付時間】〈平日〉9:00～20:00、〈土日祝日〉10:00～17:00

(1/1～1/3は休ませていただきます)

※上記番号をご利用いただけない方は **043-211-9330** をご利用ください。

※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。

※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

本製品で使用できるインクタンク番号は、以下のものです。



インクタンクについてのご注意

- ・インクタンクに穴を開けるなどの改造や分解をすると、インクが漏れ、本製品の故障の原因となることがあります。改造・分解はお勧めしません。
- ・インクの詰め替えなどによる非純正インクのご使用は、印刷品質の低下やプリントヘッドの故障の原因となることがあります。安全上問題はありますが、まれに、純正品にないインク成分によるとみられるプリントヘッド部分の発熱・発煙事例*も報告されています。キヤノン純正インクのご使用をお勧めします。
(*すべての非純正インクについて上記事例が報告されているものではありません。)
- ・非純正インクタンクまたは非純正インクのご使用に起因する不具合への対応については、保守契約期間内または保証期間内であっても有償となります。

※インクタンクの交換については、本書の「インクタンクを交換する」を参照してください。

紙幣、有価証券などを本製品で印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。
関連法律：刑法第148条、第149条、第162条／通貨及証券模造取締法第1条、第2条 等